
2023年度
武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
卒業時アンケート
結果報告書

2024年6月
武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
自己評価委員会

調査概要	3
調査結果のまとめ	5
調査結果のまとめ	6
アンケート結果 詳細内容【回答者のプロフィール】	14
回答者プロフィール	15
アンケート結果 詳細内容【教育目標達成度、ディプロマ・ポリシーの浸透度】	17
教育目標達成度	18
ディプロマ・ポリシーの浸透度	19
アンケート結果 詳細内容【満足度】	20
教育内容の満足度	21
卒業後の進路の満足度	24
総合満足度	27
アンケート結果 詳細内容【学科の教員評価】	30
教員評価	31
アンケート結果 詳細内容【ディプロマ・ポリシーの修得度】	40
修得した能力【大学】 10学部17学科	41
修得した能力【短期大学部】 7学科	58
巻末資料【調査票】	65
調査票	66

1. 調査の目的

卒業時のディプロマ・ポリシーの達成度と教育内容に対する評価を把握し、学修成果を測定。教育内容および教育方法の適切性を検証するための指標として活用する。

2. 調査対象

2024年3月に学校法人武庫川学院の大学、短期大学部のいずれかを卒業する卒業生(2023年度卒業生)

武庫川女子大学	1,601名
武庫川女子大学短期大学部	272名
計	1,873名

3. 調査実施時期

2024年3月16日(土)～4月1日(月)

4. 調査方法

Googleフォームで作成したアンケートによるWeb調査

5. 主な調査項目

- 教育目標達成度、ディプロマ・ポリシーの浸透度
- 教育内容の満足度
- 卒業後の進路の満足度
- 総合満足度
- 教員評価
- ディプロマ・ポリシーの修得度(学科別)

学科別の回収率

	卒業者数	有効回答数	有効回答率
大学・計	2,221	1,601	72.1%
文学部	559	427	76.4%
文学部 日本語日本文学科	183	112	61.2%
文学部 英語文化学科	198	151	76.3%
文学部 心理・社会福祉学科	178	164	92.1%
教育学部 教育学科	262	143	54.6%
健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科	210	171	81.4%
生活環境学部	310	197	63.5%
生活環境学部 生活環境学科	175	81	46.3%
生活環境学部 情報メディア学科	135	116	85.9%
食物栄養科学部	263	236	89.7%
食物栄養科学部 食物栄養学科	204	179	87.7%
食物栄養科学部 食創造科学科	59	57	96.6%
建築学部	85	85	100.0%
建築学部 建築学科	46	46	100.0%
建築学部 景観建築学科	39	39	100.0%
音楽学部	41	41	100.0%
音楽学部 演奏学科	22	22	100.0%
音楽学部 応用音楽学科	19	19	100.0%
薬学部	186	141	75.8%
薬学部 薬学科	140	117	83.6%
薬学部 健康生命薬科学科	46	24	52.2%
看護学部 看護学科	69	32	46.4%
経営学部 経営学科	236	128	54.2%
短期大学部・計	336	272	81.0%
短期大学部 日本語文化学科	34	33	97.1%
短期大学部 英語キャリア・コミュニケーション学科	23	20	87.0%
短期大学部 幼児教育学科	90	60	66.7%
短期大学部 心理・人間関係学科	41	31	75.6%
短期大学部 健康・スポーツ学科	41	33	80.5%
短期大学部 食生活学科	48	41	85.4%
短期大学部 生活造形学科	59	54	91.5%
総計	2,557	1,873	73.2%

調査結果のまとめ

調査結果の要点

※大学、短期大学部の課題を共有することを目的とし、以下の調査結果からポイントを抜粋。

(特に記載がない場合は、大学、短期大学部に共通した傾向を記載。)

- ・ 貴学に対する満足度
- ・ 貴学の教員評価
- ・ 貴学への評価、改善要望
- ・ 貴学のディプロマポリシー、立学の精神の認知度

< 貴学の教育の強み >

- ・ 教育満足度、進路満足度、総合満足度のいずれも、満足度は9割以上と、多くの学生が満足して卒業している。
- ・ 「学問分野の専門家として優れた教員が多い」ことが非常に高く評価されている。
- ・ 短期大学部では学びの中でも「実習」について評価する意見が多く挙がった。

< さらなる向上が必要だと考えられる要素 >

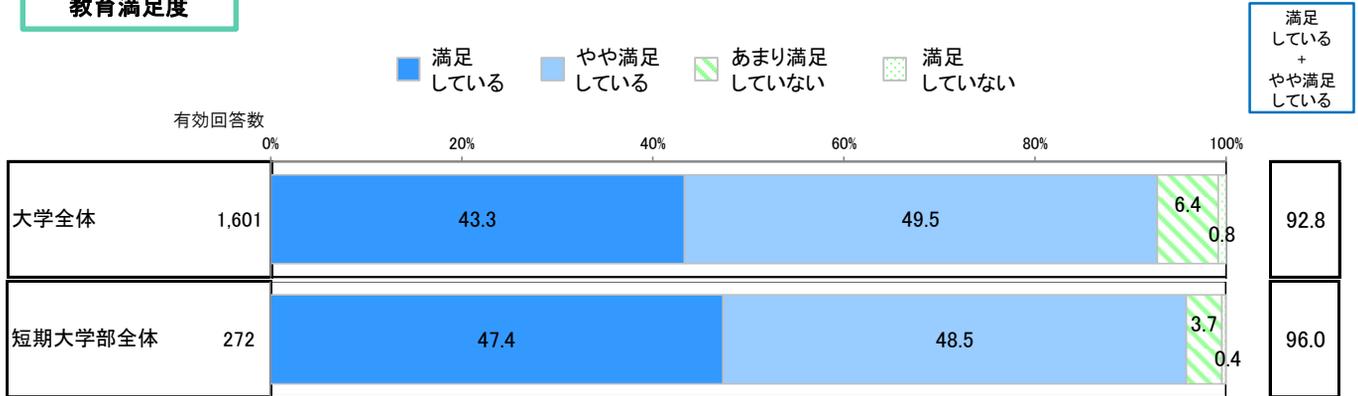
- ・ 「教育に対するサポートや個別対応が手厚い教員」「学習上の相談ができる教員」の多さは評価されている一方、「授業以外の学生生活について相談できる教員が多い」については3~4割があてはまらないと回答した。
- ・ ディプロマ・ポリシーの内容を理解している学生は少数に留まる。
- ・ 学びへの改善要望として、より専門的な学びや、課題解決型・実践的な学びを求める意見も複数挙がっており、学生の積極的に学ぶ姿勢が感じられる。また、コロナ禍に学生時代を過ごしたことを受けて学費をはじめとした費用についての声も多い。物価高等の経済的な情勢も背景にあると推測される。

調査結果のまとめ【満足度】

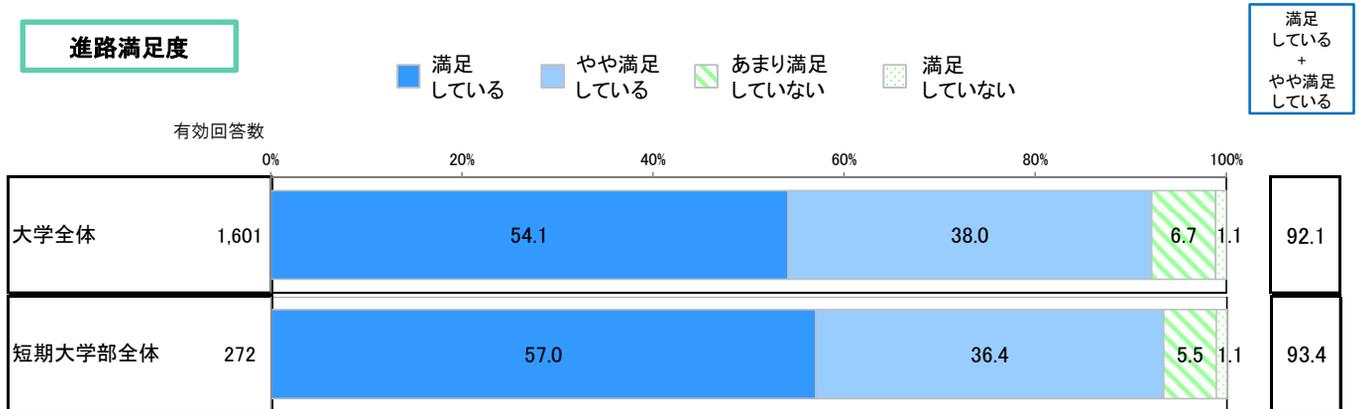
■ すべての満足度で、大学、短期大学部ともに9割を超え高い 教育満足度は「満足している」の割合が低く、教学面での取り組みは引き続き重要

- 貴学の教育満足度、進路満足度、総合満足度は、いずれも9割以上と高い。
- 大学、短期大学部ともに教育満足度において「満足している」学生の割合が、他2項目と比べて低い傾向。
- 大学では、短期大学部と比べてすべての満足度で教育満足度の「満足している」と総合満足度の「そう思う」の割合が低い。「満足している+やや満足している(そう思う+ややそう思う)」の合計割合でも同様の傾向。

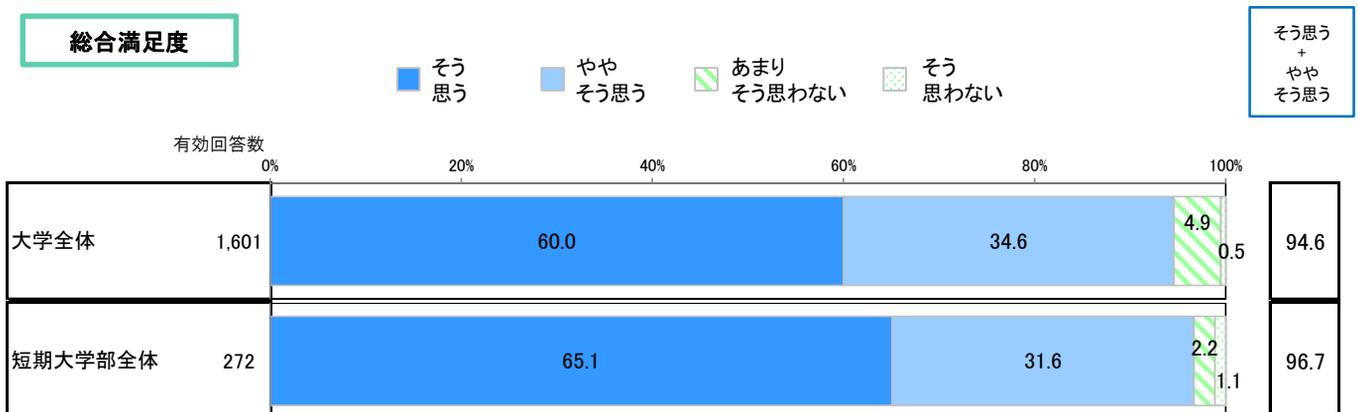
教育満足度



進路満足度



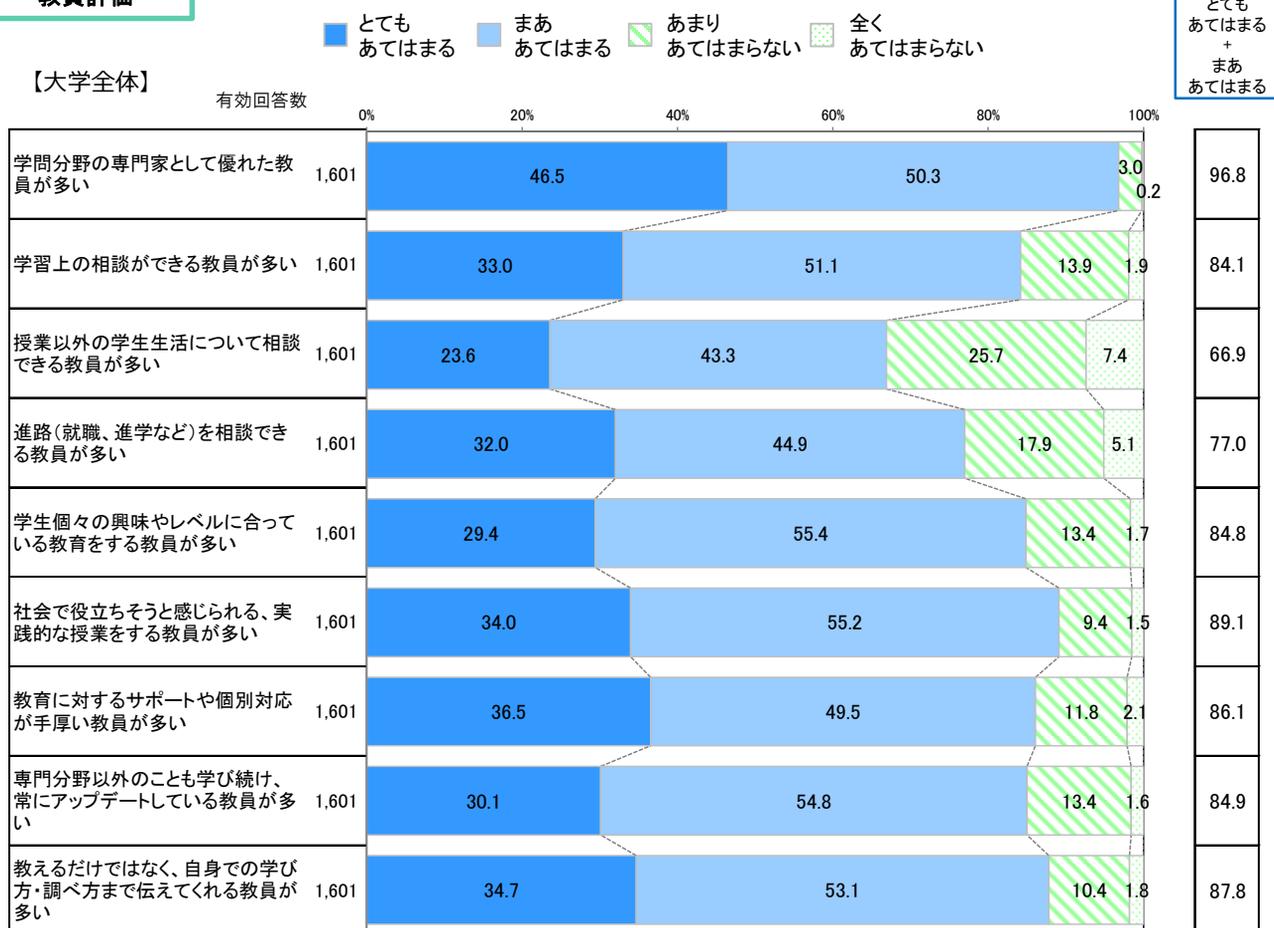
総合満足度



■ 学問分野の専門家として優れた教員が多いことが貴学の強み

- ・ 「学問分野の専門家として優れた教員が多い」ことを約97%と非常に多くの学生が評価している。次いで評価が高いのは「社会で役立ちそうと感じられる、実践的な授業をする教員が多い」「教えるだけでなく、自身での学び方・調べ方まで伝えてくれる教員が多い」。
- ・ 一方、「授業以外の学生生活について相談できる教員が多い」について「あてはまる」と回答した学生は7割を下回った。学習上の相談はできるが、それ以外の相談についてはハードルを感じていることがうかがえる。

教員評価



■ 学問分野の専門家として優れた教員が多いことが貴学の強み

- ・ 評価上位の「学問分野の専門家として優れた教員が多い」「社会で役立ちそうと感じられる、実践的な授業をする教員が多い」「教えるだけではなく、自身での学び方・調べ方まで伝えてくれる教員が多い」をあてはまると回答した学生は、大学での評価を上回り、9割を超える。
- ・ 「教育に対するサポートや個別対応が手厚い教員が多い」ことを9割近くが評価する一方、「授業以外の学生生活について相談できる教員が多い」については6～7割にとどまり、学習上以外の関わり方については課題があると考えられる。

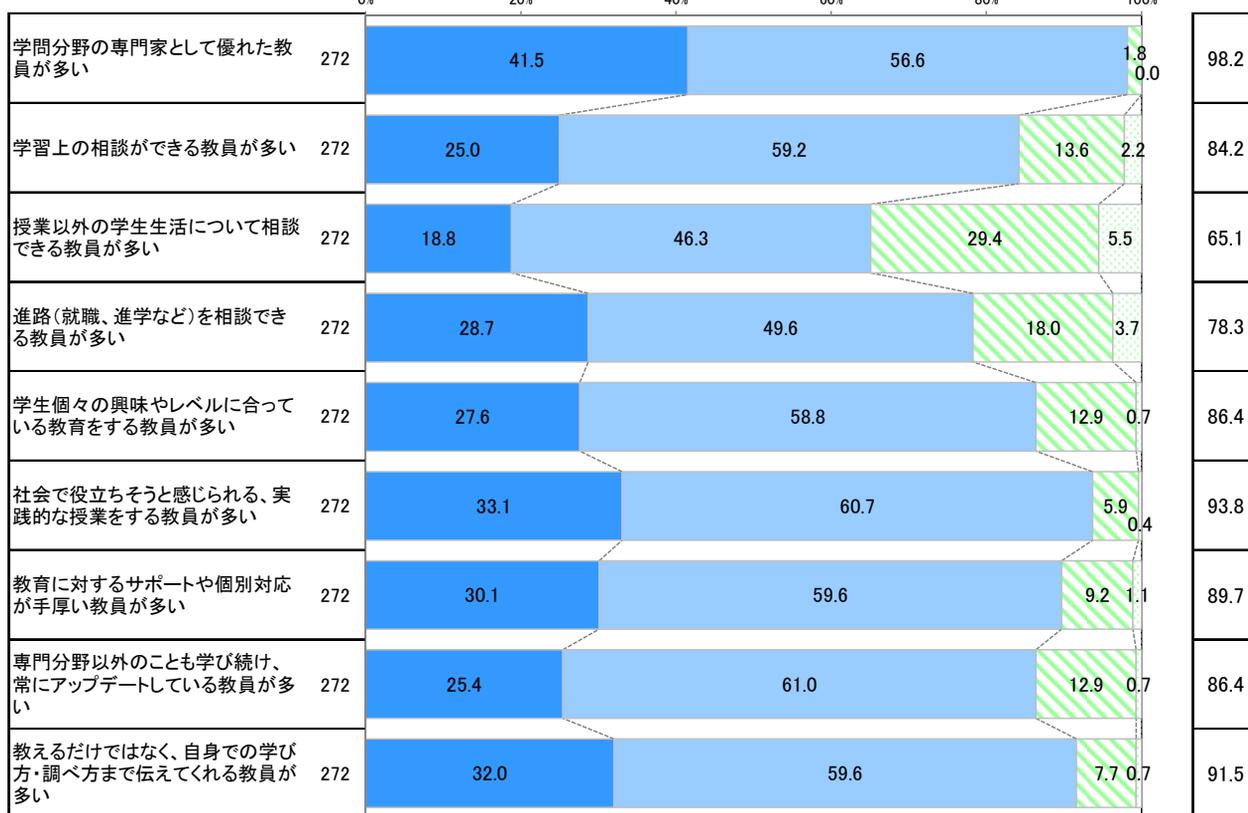
教員評価

【短期大学部全体】

有効回答数

■ とてもあてはまる ■ まああてはまる ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない

とてもあてはまる + まああてはまる



■ 大学では学びへの改善を求める意見のほか、依然としてコロナ関連の意見も挙がる

- ・ 学びについて評価する声が多い一方で、より良くするための要望として専門的・課題解決型などに該当する学びを求める意見や、個々人に寄り添った内容を希望する意見が挙げられた。
- ・ コロナの影響は依然として見受けられ、学習への影響や施設費に触れる意見が多い。

大学生からの主な改善要望

大項目	改善要望内容	学部学科
学び関連	もう少し学生個人個人に寄り添った授業内容がよかった。	生活環境学部 情報メディア学科
	グループワークが多事が良かった。研究室配属に関する悩みに対して、仕方ないと片付ける点があり生徒に向き合っていないのではないかと感じた。また、個々の課題に対するフィードバックが少ないため自分の課題がどうだったのかよく分からないことが多く感じた。	食物栄養科学部 食物栄養学科
	経営学のさまざまな分野を広く学ぶことができたのが良い点だが、反対に学科コースが分かれていないため一つの分野について深く学ぶことができなかつた点が不満であった。	経営学部 経営学科
	・知識を得るだけでなく、その知識を生かすようなPBL学習の機会が欲しかった。学びが学内で完結していた。 ・卒業論文のテーマを決めるにあたり、もう少し補助がほしかった。テーマ決めに至るためのステップがあるとよかった。	文学部 心理・ 社会福祉学科
コロナ関連	コロナ禍での学費の使われ方が乏しかった。	教育学部 教育学科
	コロナ禍のせいがあるが、もっと施設の利用をしたかった。先生によってわかりやすさが全然違った。本業は研究かもしれないが、学生に対する授業にも力を入れて欲しいと感じる先生もいた。頑張ってもらいたい。	食物栄養科学部 食物栄養学科
	コロナ禍の入学だったので仕方のない事だとは思いますが、もっと対面での授業を早く復活させて欲しかったです。ほとんどがオンラインやオンデマンドの授業だったので、あまり色々なことを学べた実感がありませんでした。	経営学部 経営学科
連絡関連	時間割や授業料などの情報が出るのが遅い、受験票などの郵便物が届くのが遅いことはで困ることが何度かあったので、改善されると嬉しいです。	文学部 心理・ 社会福祉学科
	連絡手段がバラバラ、遅い点が戸惑いを招きました。その点を改善して頂きたいです。	文学部 日本語 日本文学科
交流関連	改善点としては、教授と生徒の距離が遠いこと。担任制度は形としてあるが、クラスごとに集まることもなければ、4年間で担任と一度も話したことがなかった。学校生活や就職活動において、相談できる環境はなかった。身近な人との情報共有もできなかったことは、残念に思う。先生や周りの生徒たちとの関係性を広げることは本学では難しいと思った。	文学部 英語文化学科
	ゼミなどの少数のクラスでもう少し何か仲良くなる機会があればよかった。	文学部 心理・ 社会福祉学科

■ 短期大学部では、学びに関して特に「実習」への評価が高い

- 学びに関する意見の中には「実習」について評価するものが多く見受けられた。改善要望として挙げられていた内容もより専門的・実践的な学びを求めるものであり、学生の積極的に学ぶ姿勢が感じられる。
- その他には施設・環境への評価や要望、学費に関する意見が複数挙げられていた。

短期大学部生からの評価点や改善要望

大項目	評価点や改善要望内容	学部学科
学び関連	相談やフィードバックなど生徒とコミュニケーションを積極的に取ってくださる先生方が多いところは本当に本学の良い点であると思っています。	短期大学部 生活造形学科
	先生の講義が多く座学メインの授業では何も身につかない	短期大学部 幼児教育学科
	英語学科だけドネイティブの先生の授業が少なかったり、英語での授業なども少なかったため、より英語に特化したものがほしいなと感じた。	短期大学部 英語キャリア・コミュニケーション学科
	他学と違って実習が全4回で幼稚園実習が1か月間あったこと。1か月間実習に行くことで、より幼稚園教諭の立場に近い形で実習を行えたり、子どもとの信頼関係を築く過程を学べたりした。長期間の実習のため、身体的にも精神的にも大変だったので、もう少し実習中のサポートがあればさらに良かったと感じた。	短期大学部 幼児教育学科
	実習が多くたくさんの経験ができたこと。	短期大学部 生活造形学科
	実習前に課題を詰め込む傾向があるように感じるなのでその点は改善して欲しいと思います。 実習の準備をしたいのに課題に時間を取られて万全の状態の実習に取り組むことができません。	短期大学部 幼児教育学科
その他	校舎がきれいで学びやすい環境だと感じた。 対面の授業とオンデマンドの授業と両方があり、学びやすかった。	短期大学部 日本語文化学科
	環境はとても良いのですが、お昼ご飯を食べるスペースが教育館にとっても少なく困ったので増やして欲しかったです。	短期大学部 幼児教育学科
	準備物が実費で、一人暮らしには大変だった	短期大学部 幼児教育学科
	大量の教科書の購入指示がありましたが、講義で1度も使わない教科書や、1.2回ほどしか使わない教科書が多くあった。そのため購入のその他があるのかを再検討するシステムや、教科担当の講師本人の著書の購入指示の制限など、不必要な支出がないようにしていただきたいかったです。	短期大学部 幼児教育学科

■ 貴学において女子大ならではの学びが得られたとの意見が多い

- ・ 女子大ならではの学びについては、「ジェンダー」「多様性」といった言葉が多く挙がった。
- ・ カリキュラムに関わる内容だけでなく、女子学生のみでの環境であることから交流のしやすさや、自ら発言・発表するなどの積極性が身についたとする回答も複数見受けられる。

大学生・短期大学部生が挙げた女子大ならではの強み

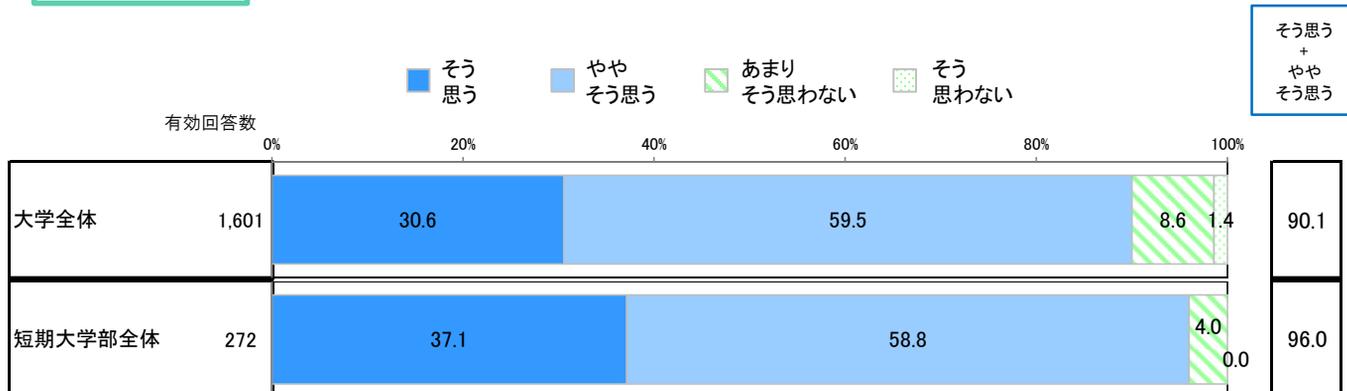
大項目	挙げた強み	学部学科
女性に必要な学びの充実	共通教育の授業では、女子大だからこそ学べるような内容(子供について、栄養について、女性に関する様々なこと)がたくさんあって、良かったと思う。	文学部 英語文化学科
	女子大だからこそ身についた力という正直少ないが、1年次に行われた、毎回違うゲストを呼んでの講義は、ライフイベントの多い女性ならではの働き方について学ぶことができたと思います。	経営学部 経営学科
	女子大だからと女性の権利や働き方について考える機会のある授業が多かったため、自分自身に当てはめて身近なものとして考える力や、ジェンダー問題などについて違和感を流さずにじっくり考える力が身についた。	文学部 心理・ 社会福祉学科
	特に実践学習や授業の内容で女子大の経営学部だからこそコスメやカフェなど、女子に興味がありそうな題材を取り上げてくださって、モチベーションが高まった	経営学部 経営学科
女性のキャリアへの理解	キャリアの授業や女性教員の経歴を聞く中で、女性ならではのライフイベントに伴うキャリアの変化を理解した上でキャリアプランや就職先の条件を検討する力が身についた。	経営学部 経営学科
	女性と男性でのキャリア面の評価の違いなどについては、共学の大学ではあまり学ばないのではないかなと思うので、それを知ることができたのでよかったです。	短期大学部 心理・人間関係 学科
交流のしやすさ／積極的に行動できる環境	同姓が多いからこそ、同じ目線で物事を見た上で、それぞれの意見や案、考え方を知ることが出来た。	看護学部 看護学科
	学生が同性ばかりだったため、交友関係の構築や相談がしやすい環境で、自分からコミュニケーションを取る力が身についた。	食物栄養科学部 食物栄養学科
	自分たちで積極的に発言を行う能力が身についた。男性がいない分、発言や発表なども女性だけで行うので、男性に任せるのではなく、自分で積極的に発言を行えるようになった。	短期大学部 心理・人間関係 学科
	演習の授業で発表をする機会や自分の意見を発言する機会が多く、人前に立って話す力がついた。また、代表者を選ぶ際にも、みんな同じ「女性」であることから、他の目を気にせず立候補しやすかった。	文学部 心理・ 社会福祉学科
その他	異性の目(好感度等)を気にすることなく、自分が興味を持ったものに対して、まっすぐと向き合うことが出来たと感じている。(大学での生活全般) また、女性だけという環境での生活だったので、一般的には男性が担いがちな事象(重い荷物を持つ、何かの修理等)を、全て自分たちで解決しようとする力が身についたと感じる。	生活環境学部 生活環境学科

調査結果のまとめ【教育目標達成度／ディプロマ・ポリシー理解度】

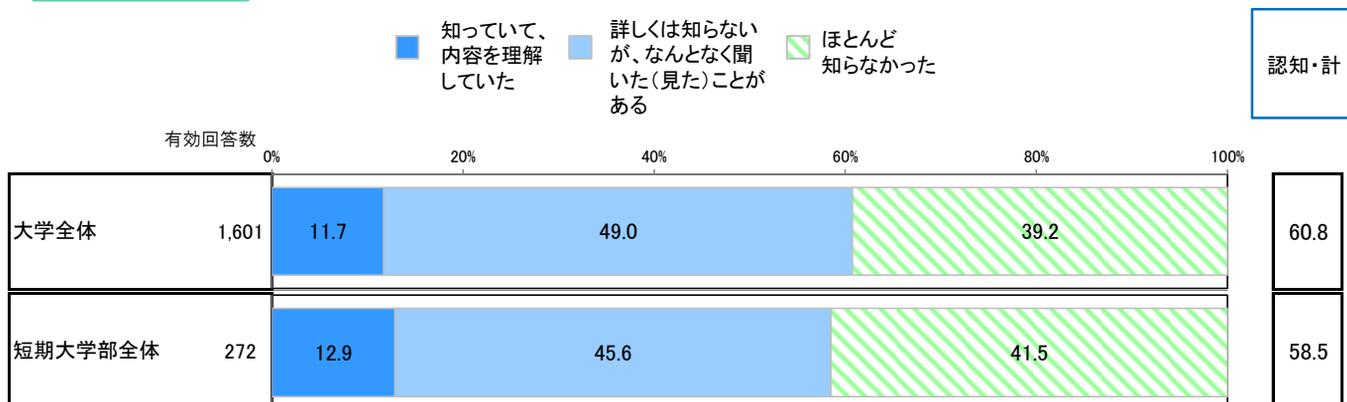
■ 過半数の学生がディプロマ・ポリシーを認知しているものの、理解している学生は1割前後

- ディプロマ・ポリシーの内容理解度をみると理解している学生は少数にとどまる。理解度の向上が引き続き課題といえる。
- 教育目標達成度については短期大学部が高くなっている一方、ディプロマ・ポリシーの内容理解度については大学と短期大学部とで同程度。「なんとなく聞いた(見た)ことがある」までを含めた認知度では大学の方が高く、6割に達した。

教育目標達成度



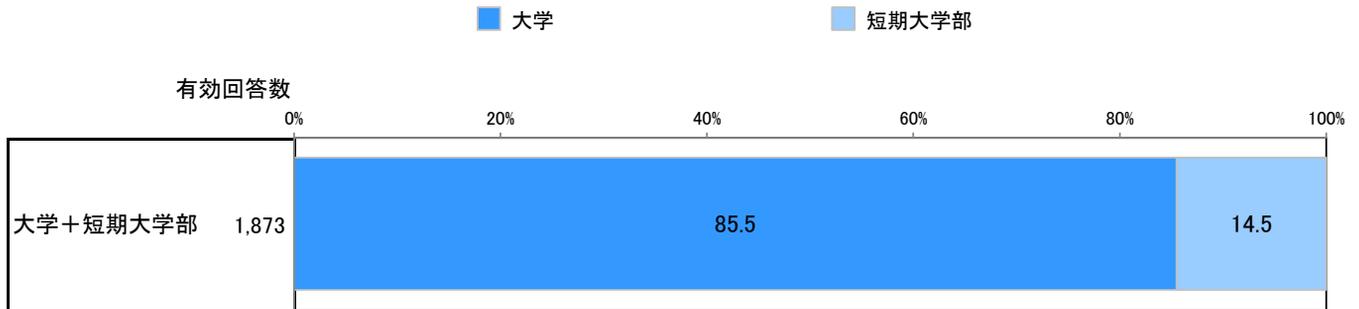
DP理解度



アンケート結果 詳細内容
【回答者のプロフィール】

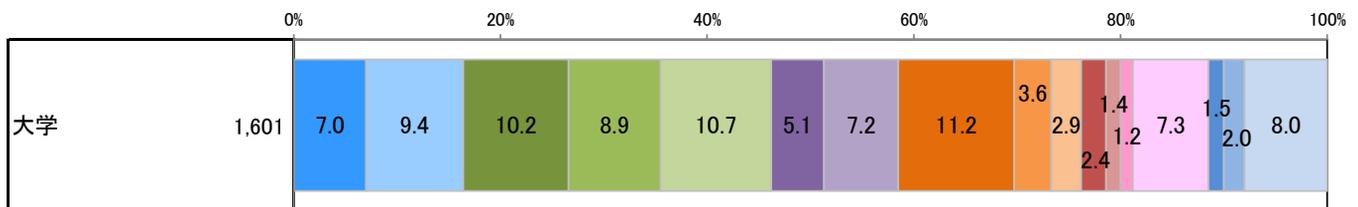
回答者プロフィール

■ 所属



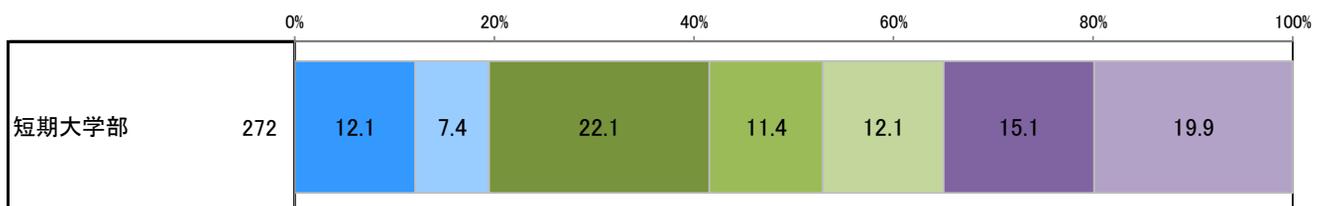
【大学 在籍学部・学科】

- 文学部 日本語日本文学科
- 文学部 英語文化学科
- 文学部 心理・社会福祉学科
- 教育学部 教育学科
- 健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科
- 生活環境学部 生活環境学科
- 生活環境学部 情報メディア学科
- 食物栄養科学部 食物栄養学科
- 食物栄養科学部 食創造科学科
- 建築学部 建築学科
- 建築学部 景観建築学科
- 音楽学部 演奏学科
- 薬学部 薬学科
- 音楽学部 応用音楽学科
- 看護学部 看護学科
- 薬学部 健康生命薬科学科
- 経営学部 経営学科



【短期大学部 在籍学科】

- 日本語文化学科
- 英語キャリア・コミュニケーション学科
- 幼児教育学科
- 心理・人間関係学科
- 健康・スポーツ学科
- 食生活学科
- 生活造形学科

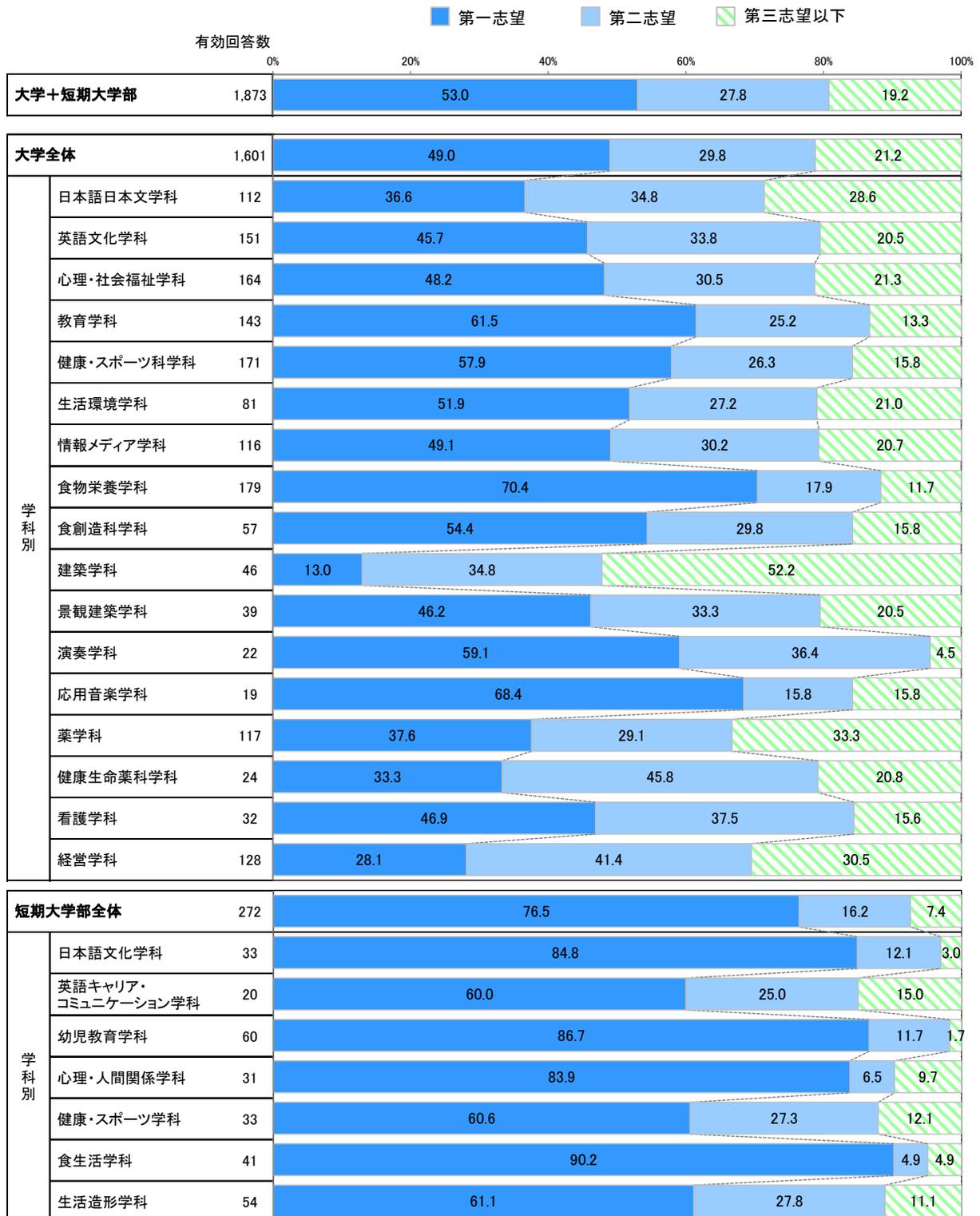


回答者プロフィール【学科別】

- 大学の「第一志望」の割合は約5割、短期大学部では7割台後半である。
- 大学の学科別で「第一志望」の割合が特に高いのは、教育学科、食物栄養学科、応用音楽学科で、約6割～約7割である。対して、建築学科、経営学科は、「第一志望」が1割強～約3割と低い。
- 短期大学部の学科別で「第一志望」の割合が最も高いのは食生活学科で、約9割である。対して、英語キャリア・コミュニケーション学科、健康・スポーツ学科、生活造形学科は、「第一志望」が約6割と低い。

Q1 本学はどの程度の志望順位でしたか。

■ 志望度



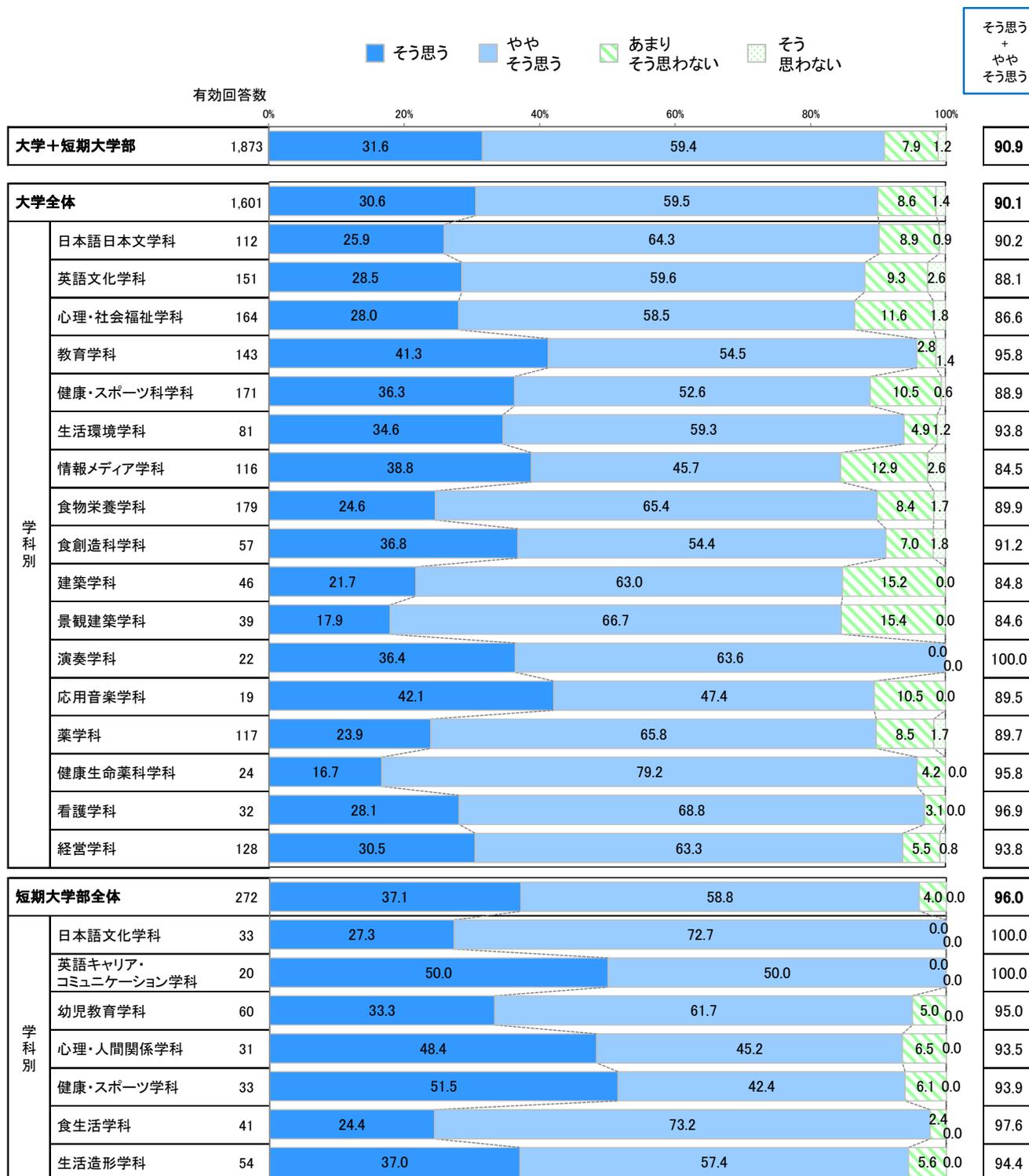
アンケート結果 詳細内容
【教育目標達成度、
ディプロマ・ポリシーの浸透度】

教育目標達成度【学科別】

- 「自ら考え、動く」人になれた「そう思う」「ややそう思う」を合わせた教育目標達成度は、大学では約9割、短期大学部では9割後半と高い。
- 大学の学科別で教育目標達成度が最も高いのは、演奏学科で100.0%。対して、情報メディア学科、建築学科、景観建築学科は、いずれも8割台半ばとやや低い。
- 短期大学部の学科別で教育目標達成度が特に高いのは、日本語文化学科、英語キャリア・コミュニケーション学科で、ともに100.0%。最も低い心理・人間関係学科でも、9割強と高い達成度である。

Q2 本学では、教育推進宣言において「主体性・論理性・実行力」を培う教育を目指しています。

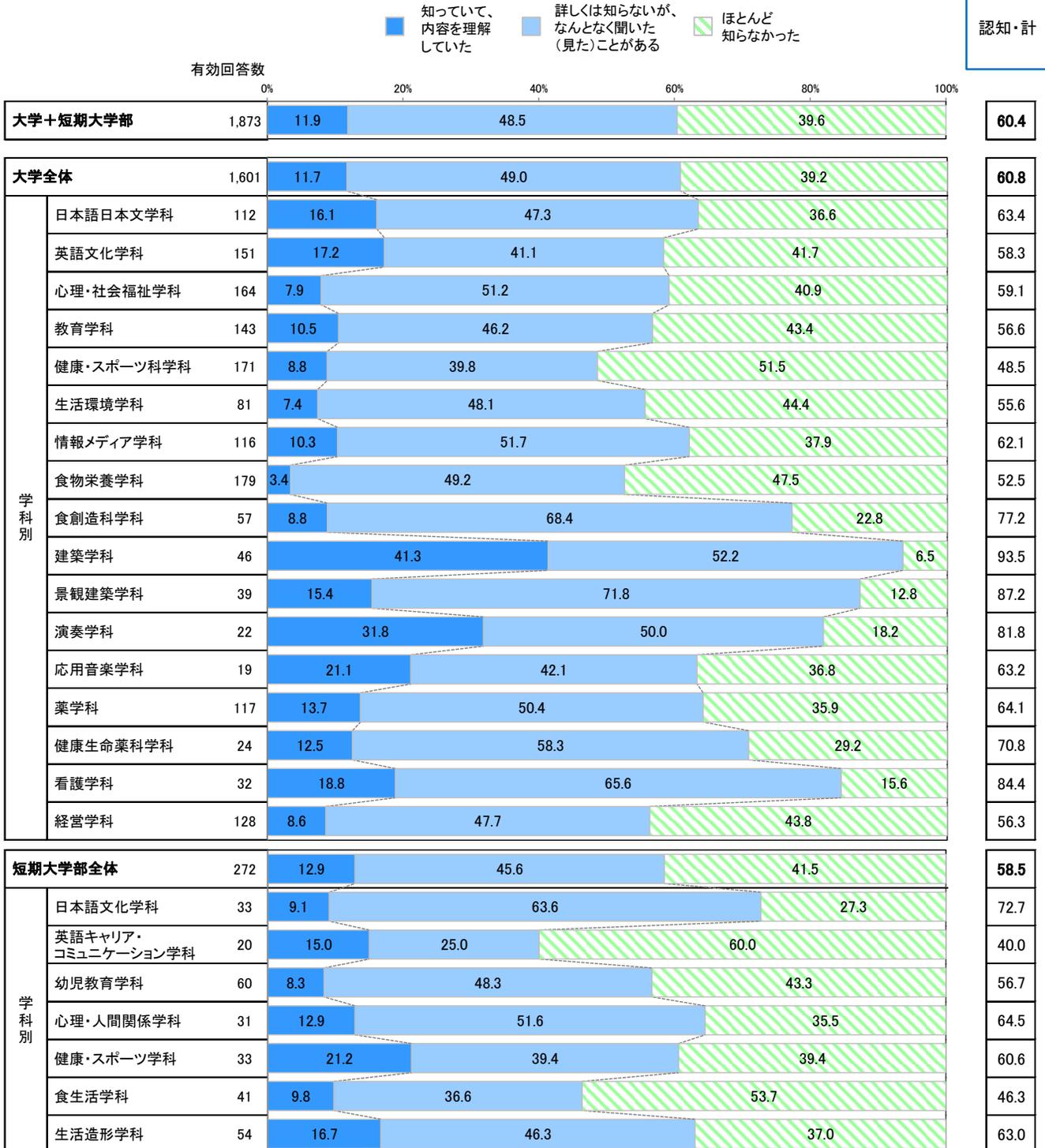
あなたは、在学中の経験を通して、「自ら考え、動く」人になれたと思いますか。



ディプロマ・ポリシーの浸透度【学科別】

- 「ディプロマ・ポリシー」を「知っていて、内容を理解していた」「詳しくは知らないが、なんとなく聞いた(見た)ことがある」を合わせた認知・計は、大学、短期大学部ともに約6割にとどまる。
- 大学の学科別で認知・計が最も高いのは建築学科であり、9割強の学生が「ディプロマ・ポリシー」を認知している。対して、健康・スポーツ科学科は、認知・計が約5割と低くなっている。
- 短期大学部の学科別で認知・計が最も高いのは日本語文化学科で、約7割の学生が「ディプロマ・ポリシー」を認知している。対して、英語キャリア・コミュニケーション学科、食生活学科は、ともに認知・計が半数に満たず低い。

Q5 本学では、学科ごとに卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を設定しています。
あなたは、所属学科のディプロマ・ポリシーの内容を知っていましたか。



アンケート結果 詳細内容
【満足度】

教育内容の満足度【学科別】

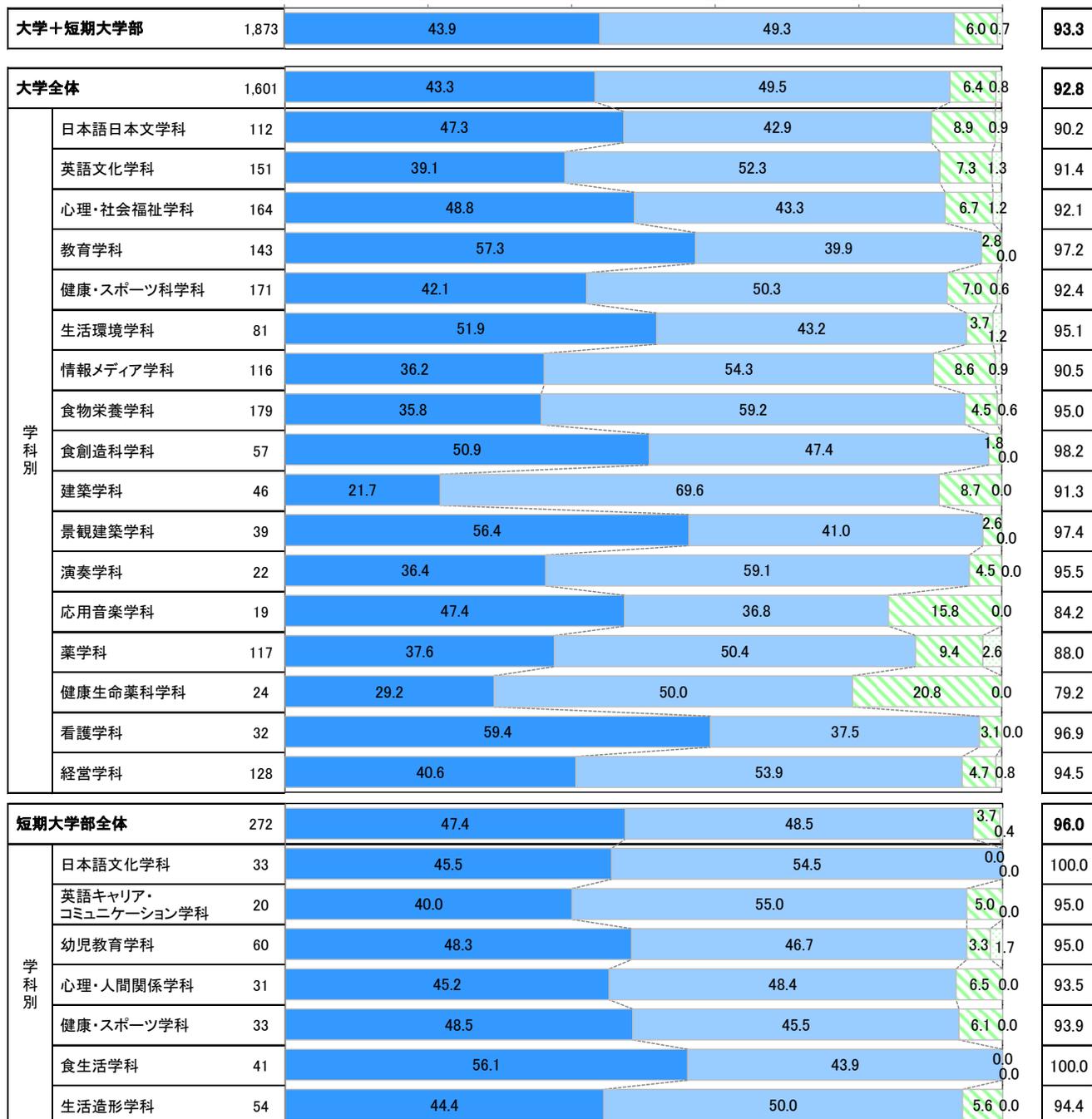
- 教育内容に「満足している」「やや満足している」を合わせた教育満足度は、大学では約9割、短期大学部でも9割台後半と高い。
- 大学の学科別で教育満足度が特に高いのは、教育学科、食創造科学科、景観建築学科で、いずれもほぼ全数。対して、健康生命薬科学科は、約8割と低い。
- 短期大学部の学科別で教育満足度が特に高いのは、日本語文化学科、食生活学科で、ともに100.0%。最も低い心理・人間関係学科でも、教育満足度は9割強と高い。

Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。

■ 満足している ■ やや満足している ■ あまり満足していない ■ 満足していない

有効回答数

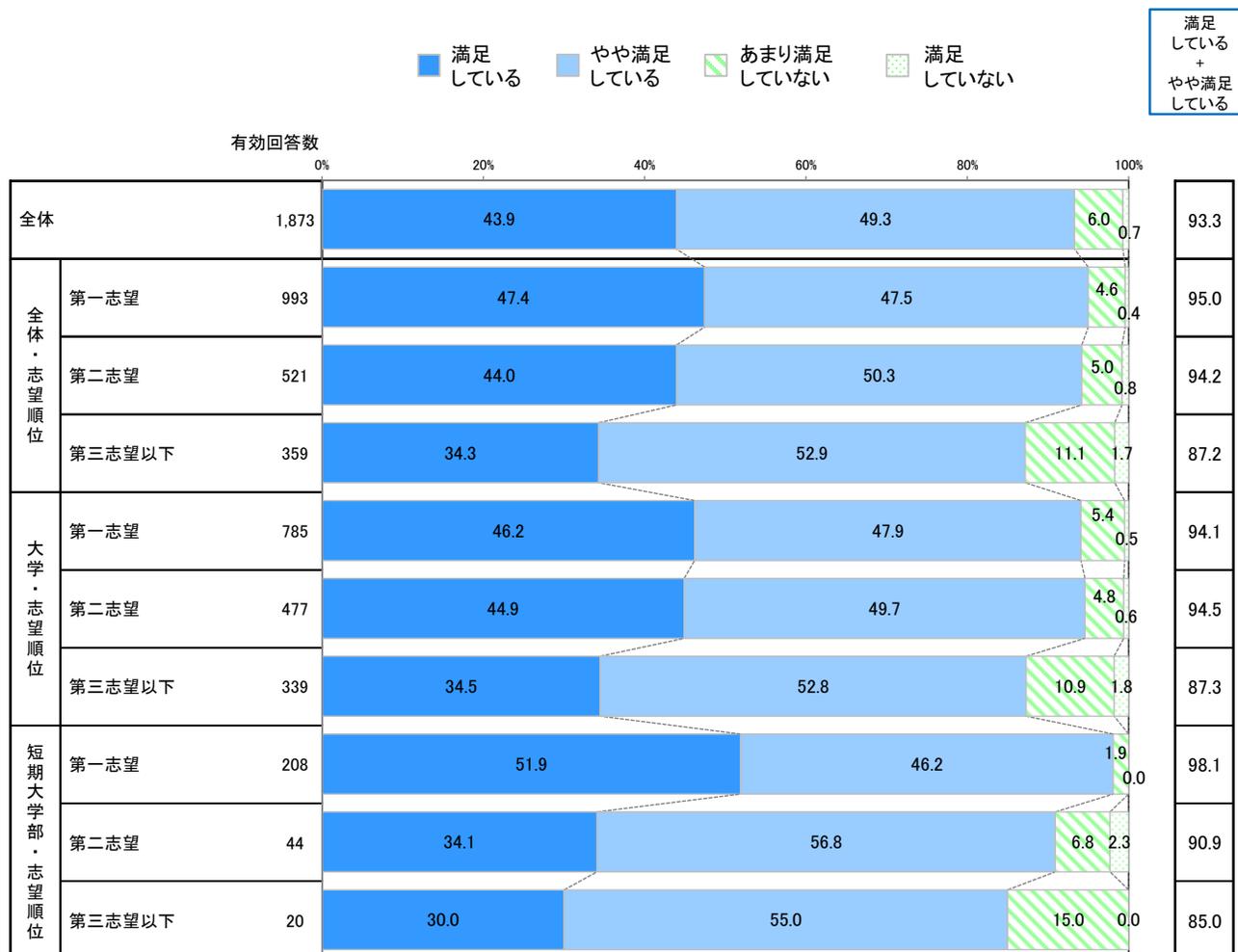
0% 20% 40% 60% 80% 100%



教育内容の満足度【志望度別】

- 大学、短期大学部ともに、第三志望以下でも8割以上の学生が、教育内容に満足している。
- ただし、「満足している」(TOP1)は、志望度が下がるにつれて低くなる傾向がみられる。

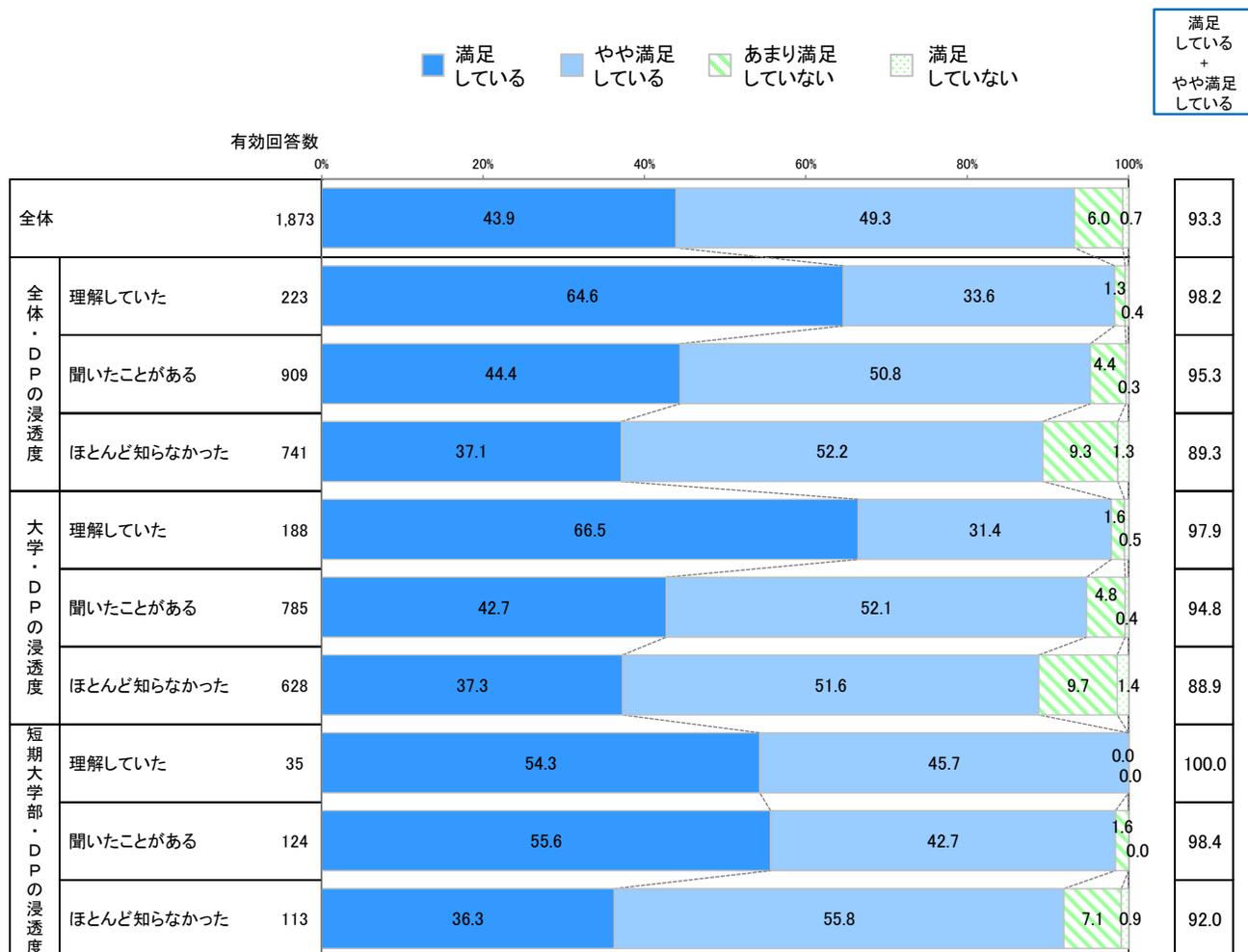
Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。



教育内容の満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

- 大学、短期大学部ともに、ディプロマ・ポリシーを理解している人は、半数以上が教育内容に「満足している」(TOP1)と回答している。
- ディプロマ・ポリシーの理解が明確なほど、教育満足度(「満足している」+「やや満足している」)は高くなっている。

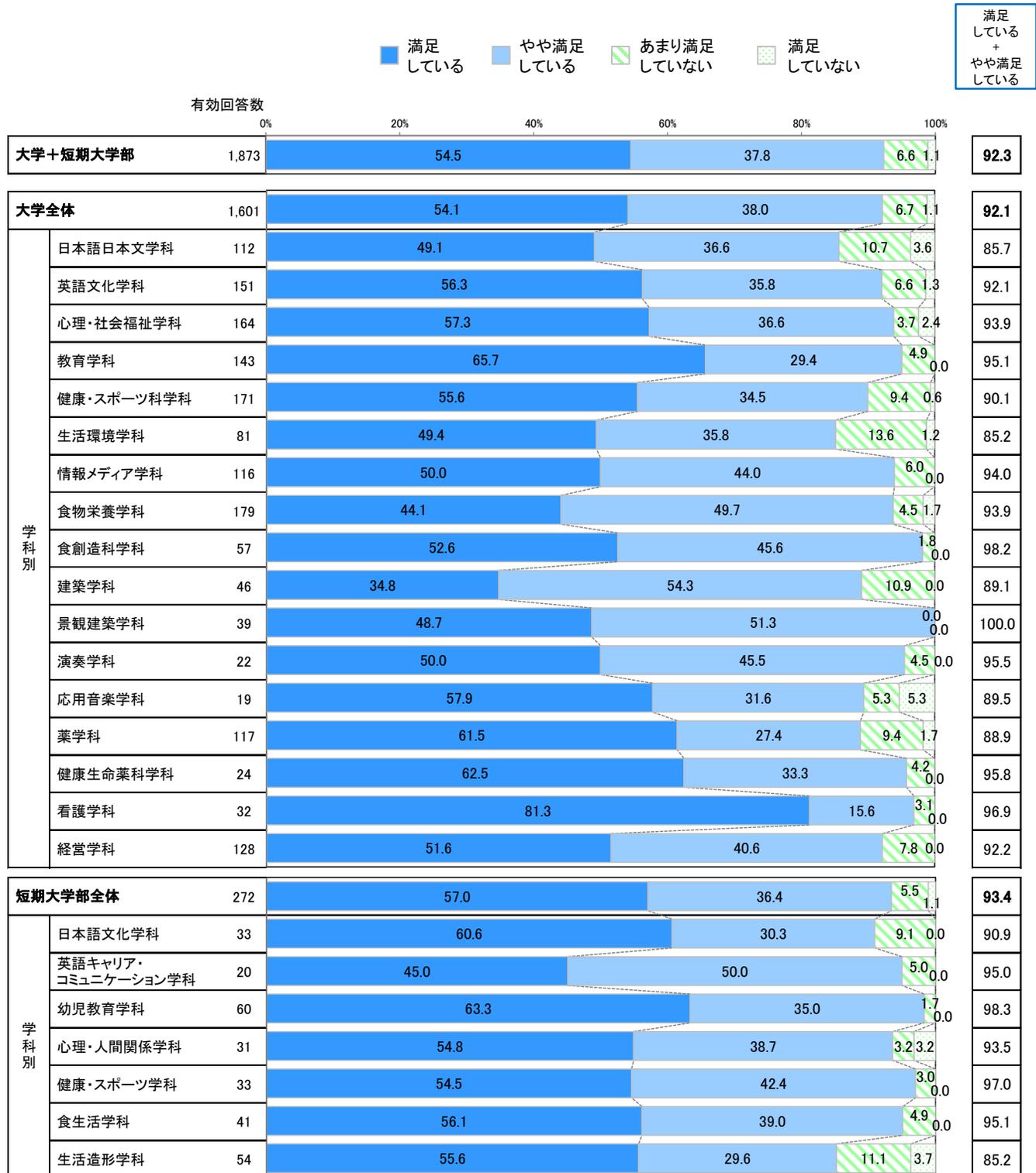
Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【学科別】

- 進路に「満足している」「やや満足している」を合わせた進路満足度は、大学では約9割、短期大学部でも9割強と高い。
- 大学の学科別で進路満足度が特に高いのは、食創造科学科、景観建築学科で、ともにほぼ全数～100.0%。対して、日本語日本文学科、生活環境学科、建築学科、応用音楽学科、薬学科は、満足度が9割未満でやや低い。
- 短期大学部の学科別で進路満足度が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科で、ともにほぼ全数。対して、生活造形学科は進路満足度が唯一9割に達していない。

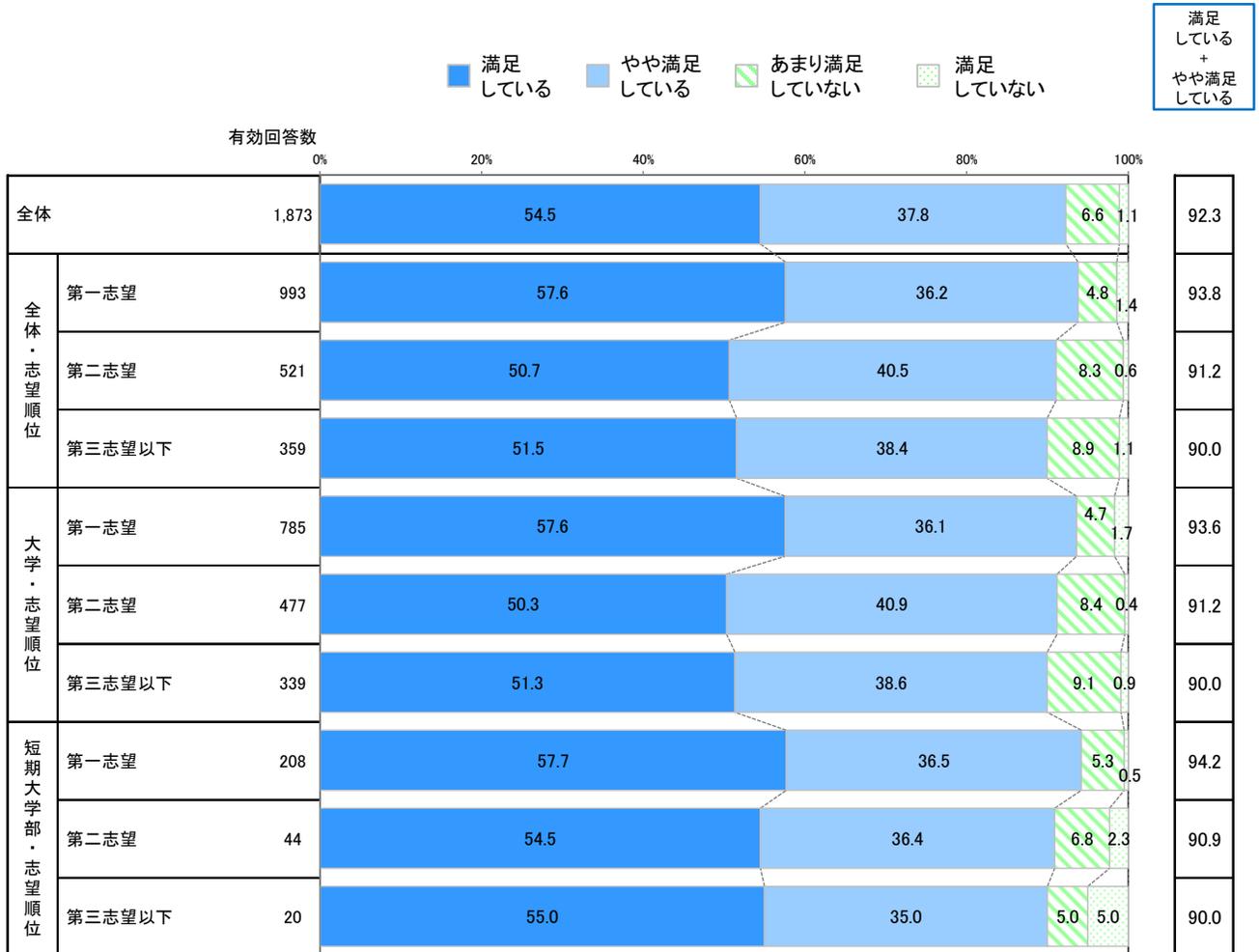
Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【志望度別】

■ 大学、短期大学部ともに、志望順位の高低で、「満足」「やや満足」を合わせた進路の満足度は大きく変わらないが、志望度が下がるにつれてやや低くなる傾向がみられる。

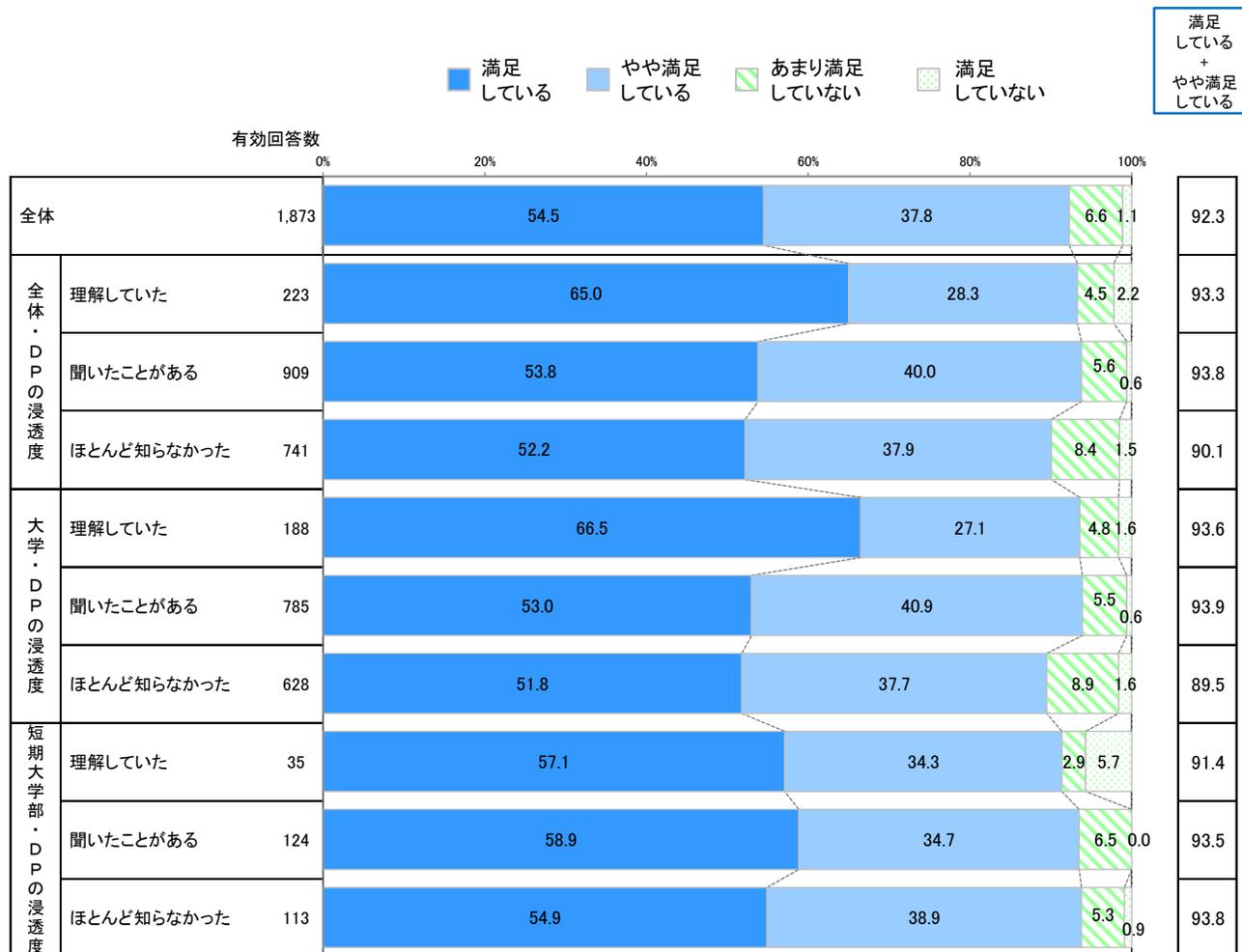
Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

■ 大学、短期大学部とも、「満足している」「やや満足している」を合わせた進路満足度では、ディプロマ・ポリシーの理解度による差はほぼみられない。しかし、「満足している」(TOP1)でみると、大学では、ディプロマ・ポリシーへの理解度が高いほど進路満足度が高くなっており、「理解していた」人は66.5%が進路に「満足している」と回答している。短期大学部では、TOP1でみても差はほぼみられない。

Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



総合満足度【学科別】

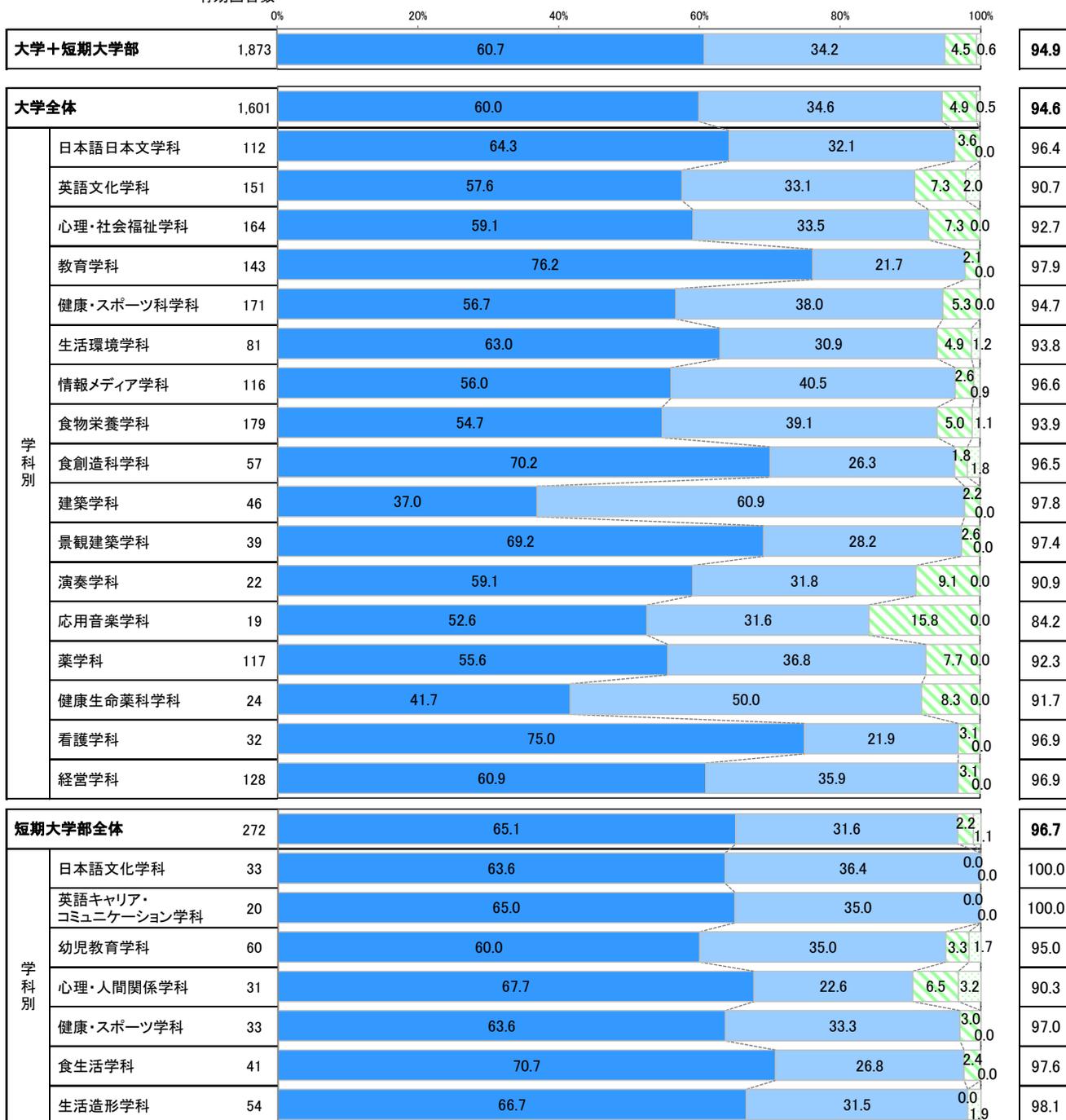
- 総合満足度(本学に入学してよかった「そう思う」+「ややそう思う」)は、大学では9割台半ば、短期大学部では9割台後半と高い。
- 大学の学科別で総合満足度が特に高いのは、教育学科、建築学科、景観建築学科で、いずれもほぼ全数。対して、応用音楽学科は、8割台半ばと低い。
- 短期大学部の学科別で総合満足度が特に高いのは、日本語文化学科、英語キャリア・コミュニケーション学科で、ともに100.0%に達している。最も低い心理・人間関係学科でも、総合満足度は約9割にのぼる。

Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

そう思う + ややそう思う

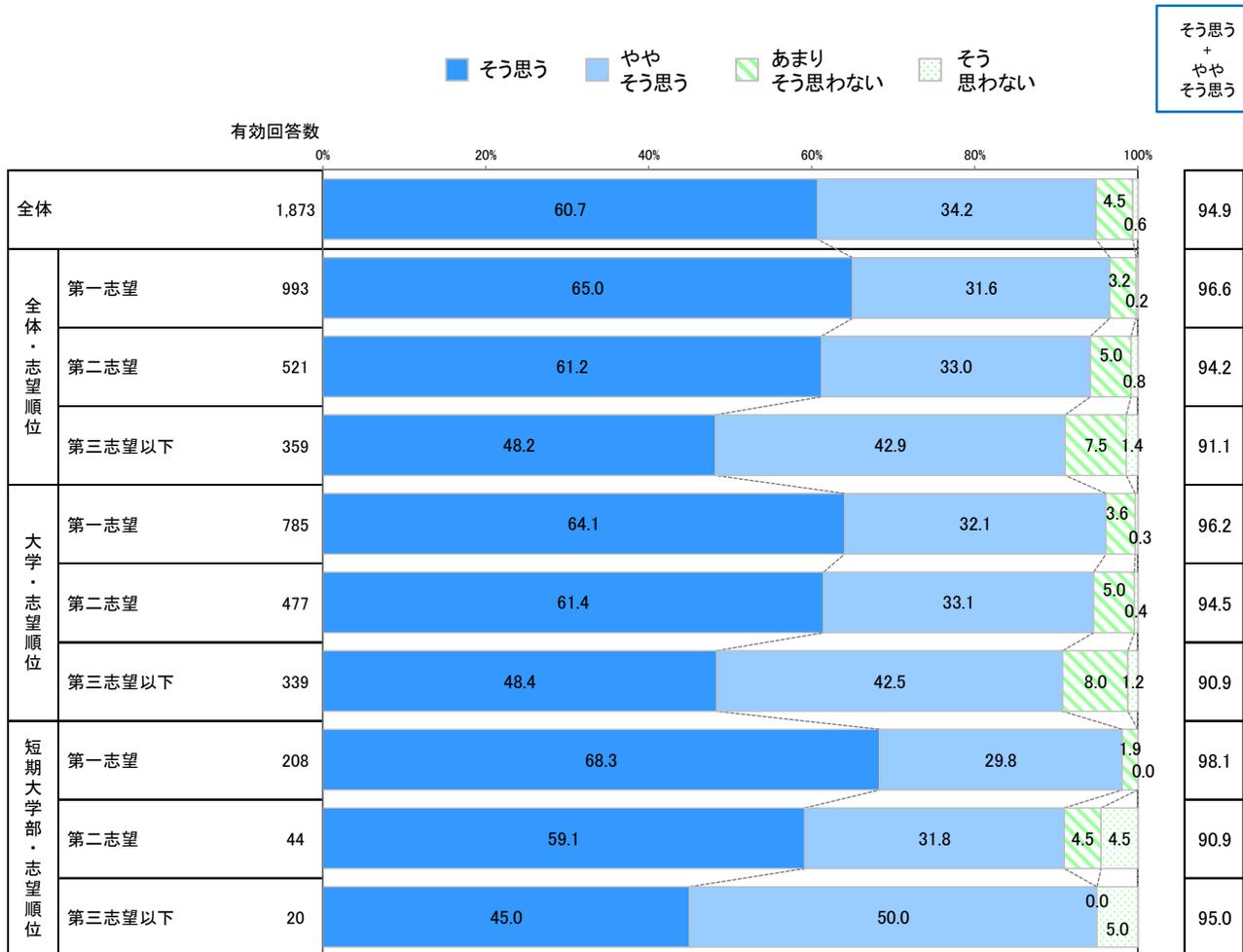
有効回答数



総合満足度【志望度別】

- 大学、短期大学部ともに、志望度の低い層でも、9割を超える学生が学生生活に満足している。
- しかし、「そう思う」(TOP1)の割合は、大学では第一志望と比べて、第三志望以下では16pt程度、短期大学部では23pt程度低くなっている。

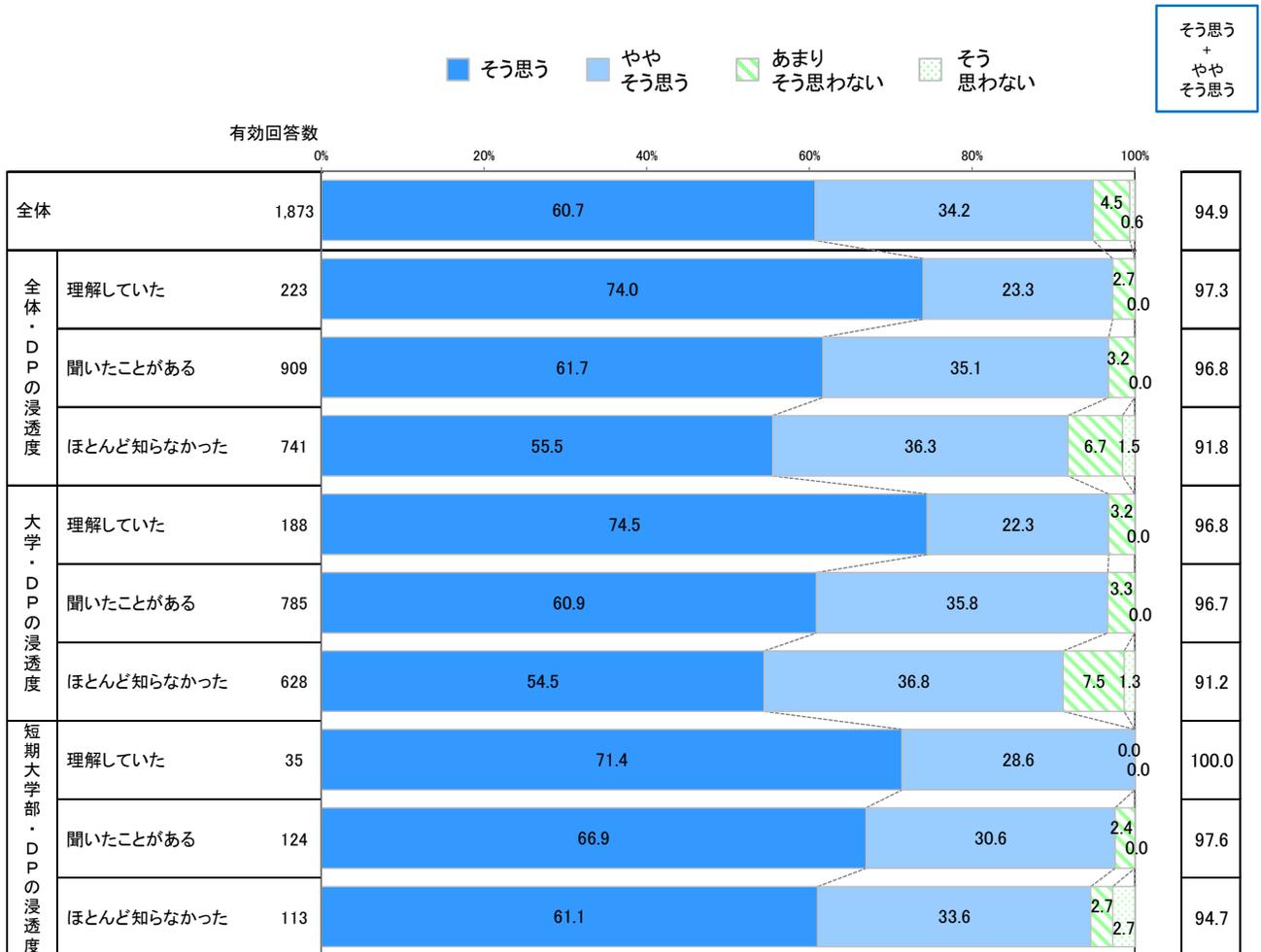
Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。



総合満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

- 大学では、ディプロマ・ポリシーを理解している人の「そう思う」「ややそう思う」を合わせた学生生活の満足度はほぼ全数にのぼる。短期大学部では、ディプロマ・ポリシーを理解している人における学生生活の満足度は100.0%に達する。
- ただし、「そう思う」(TOP1)は、大学・短期大学部とも理解度が下がるにつれて低くなっている。

Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。



アンケート結果 詳細内容
【学科の教員評価】

教員評価【学科別】

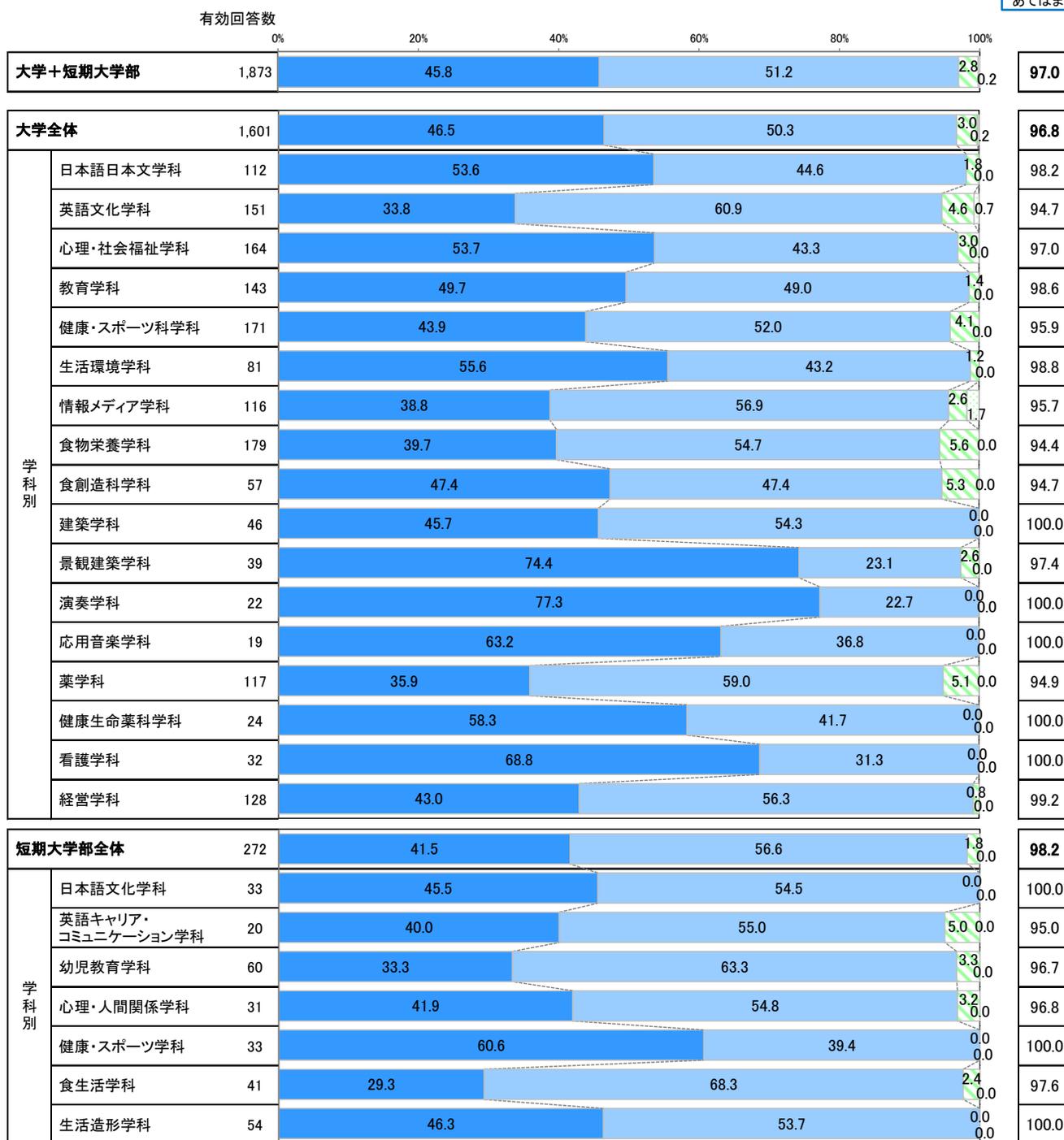
- 学問分野の専門家として優れた教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学で9割台後半、短期大学部ではほぼ全数と高い。
- 大学の学科別で教員評価が特に高いのは、建築学科、演奏学科、応用音楽学科、健康生命薬科学科、看護学科で、いずれも100.0%である。最も低い食物栄養学科でも、9割台半ばが評価している。
- 短期大学部の学科別で教員評価が特に高いのは、日本語文化学科、健康・スポーツ学科、生活造形学科で、いずれも100.0%。最も低い英語キャリア・コミュニケーション学科でも、9割台半ばと高い。

Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

<学問分野の専門家として優れた教員が多い>

■ とてもあてはまる
 ■ まああてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない

とてもあてはまる + まああてはまる



教員評価【学科別】

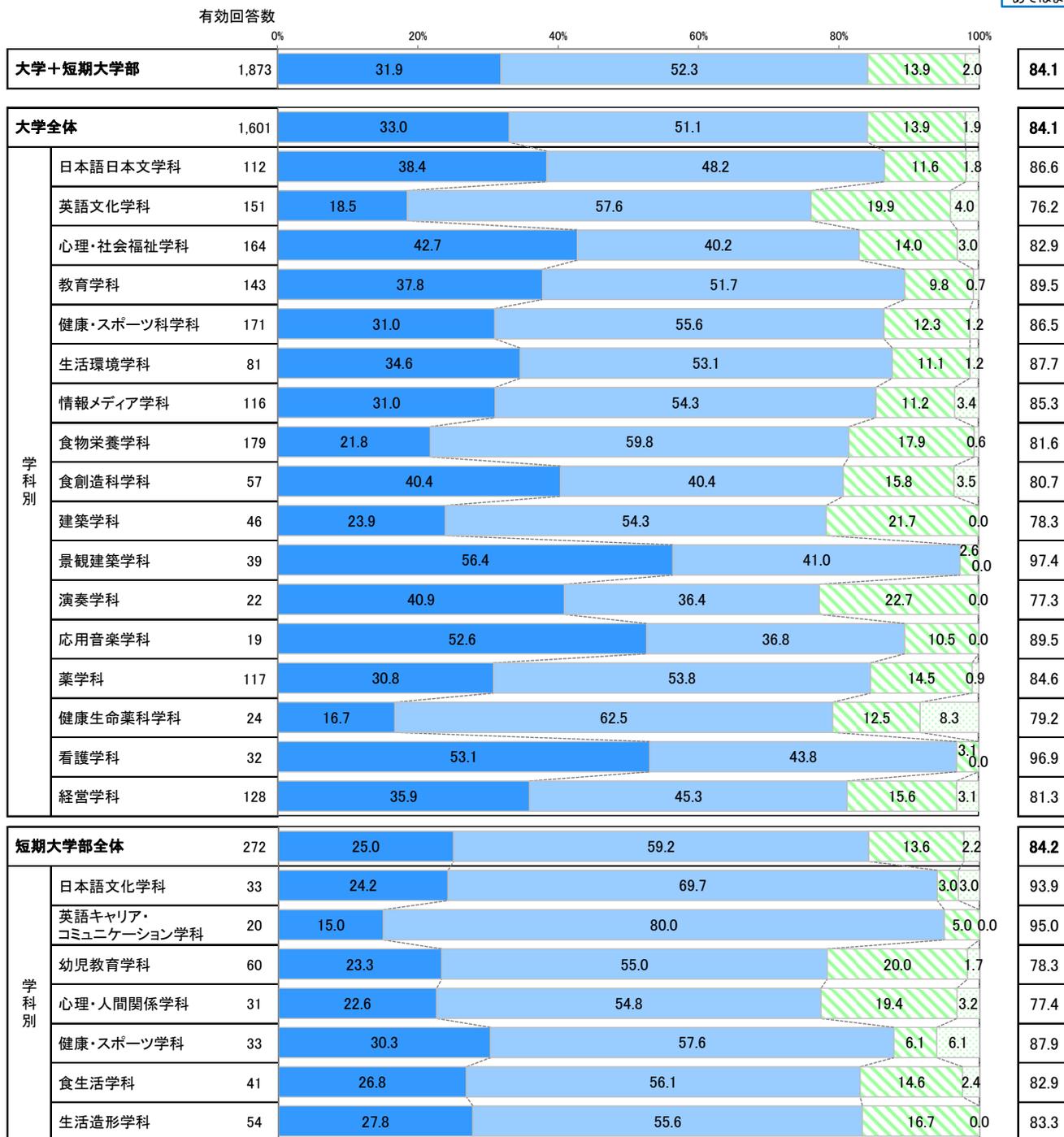
- 学習上の相談ができる教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学、短期大学部ともに8割台半ばである。
- 大学の学科別で教員評価が特に高いのは景観建築学科、看護学科で、9割台後半～ほぼ全数である。対して、英語文化学科、建築学科、演奏学科、健康生命薬科学科は、いずれも評価が8割に満たない。
- 短期大学部の学科別で教員評価が特に高いのは、日本語文化学科、英語キャリア・コミュニケーション学科で、9割強～9割台半ばである。対して、幼児教育学科、心理・人間関係学科は、評価が約8割とやや低い。

Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

<学習上の相談ができる教員が多い>

■ とてもあてはまる
 ■ まああてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない

とてもあてはまる + まああてはまる



教員評価【学科別】

- 授業以外の学生生活について相談できる教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学で7割弱、短期大学部では6割台半ばである。
- 大学の学科別で教員評価が特に高いのは、教育学科、看護学科で、約8割～8割台半ばである。対して、建築学科は、評価が4割に満たず低く、「とてもあてはまる」の割合も1割に満たない。
- 短期大学部の学科別で最も教員評価が高いのは、英語キャリア・コミュニケーション学科で8割台半ばである。対して、幼児教育学科は評価が半数と低くなっており、「あまりあてはまらない」の割合は4割以上にのぼる。

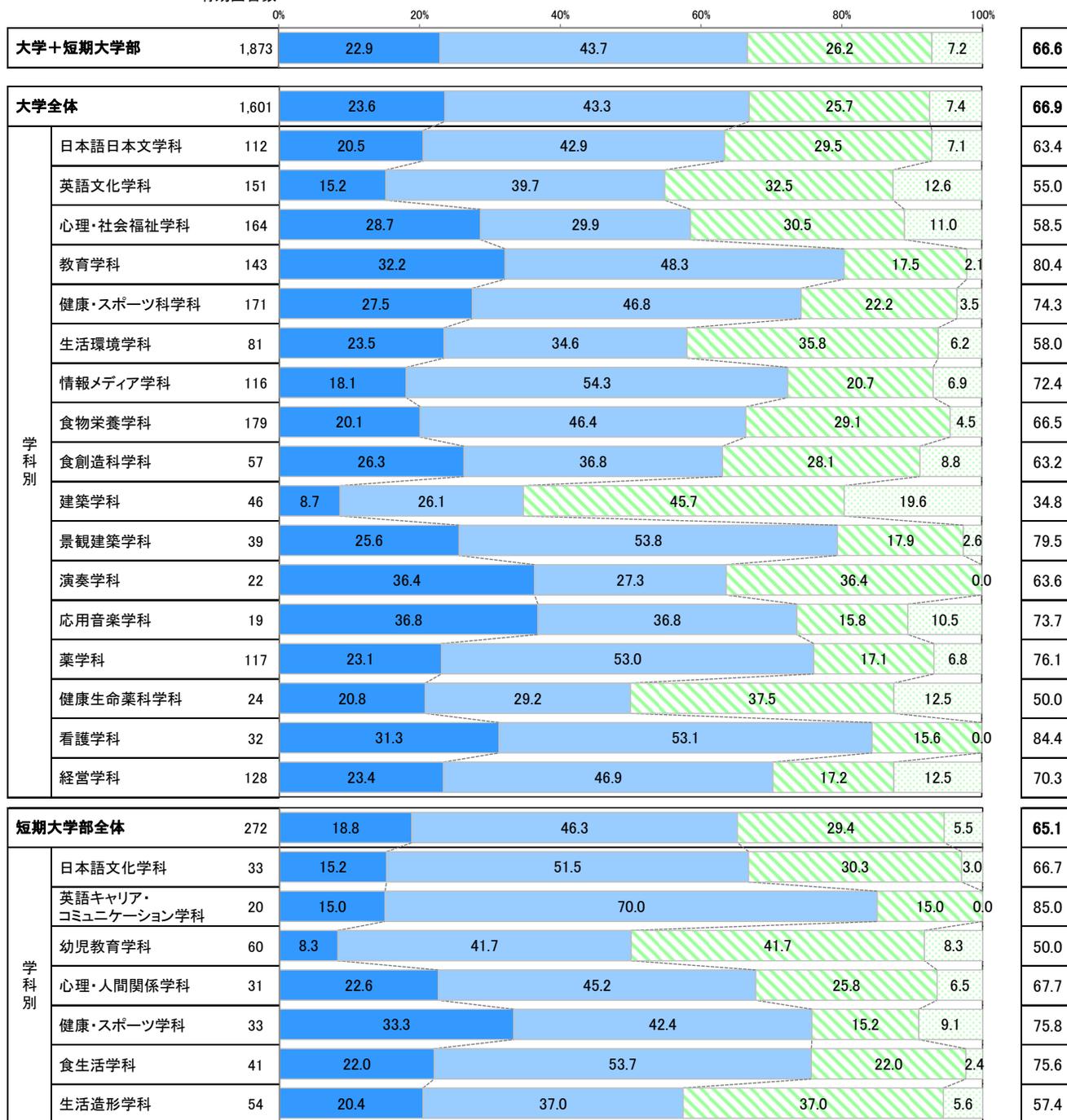
Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

<授業以外の学生生活について相談できる教員が多い>

■ とてもあてはまる
 ■ まああてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない

とてもあてはまる + まああてはまる

有効回答数

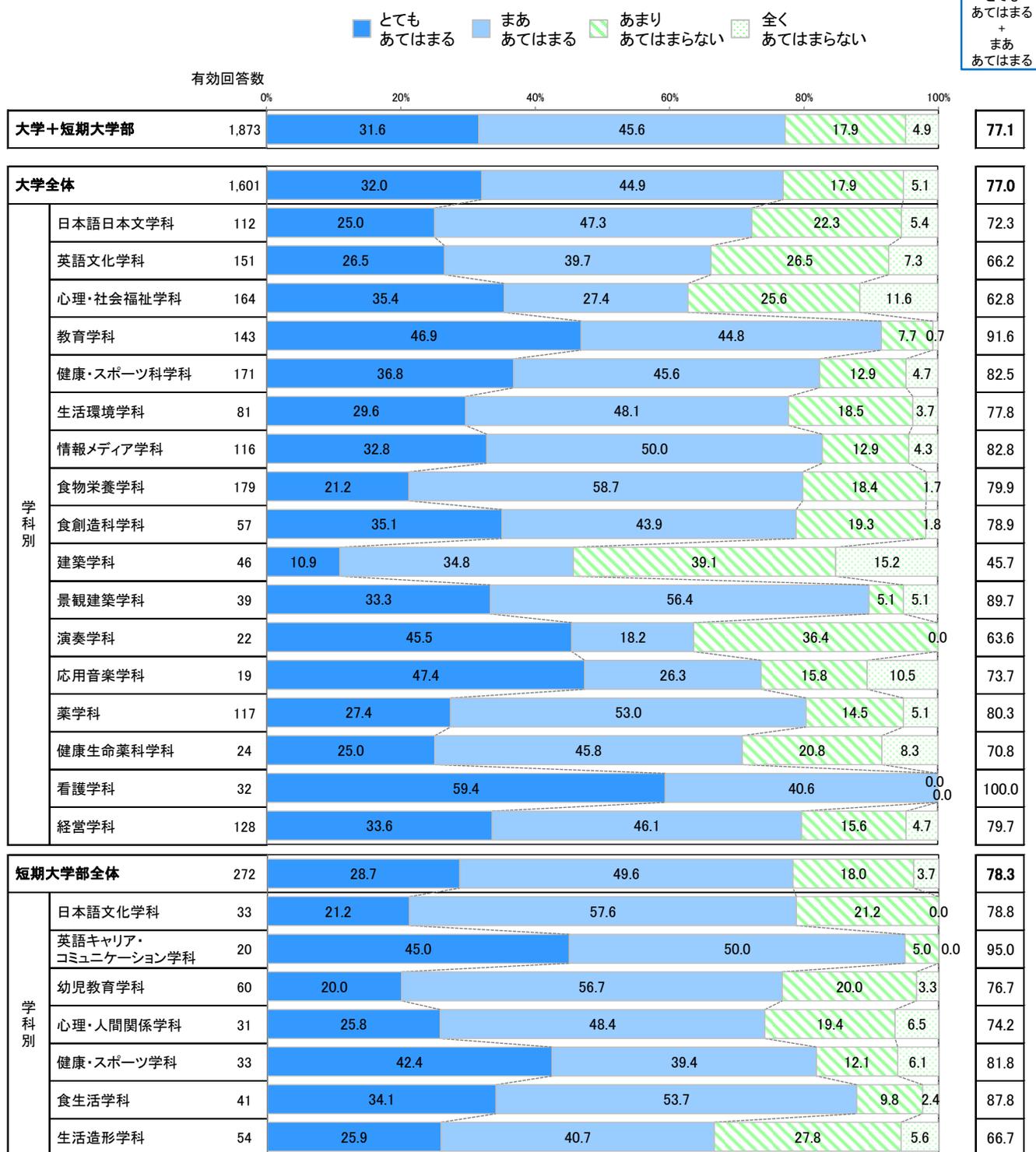


教員評価【学科別】

- 進路(就職、進学など)を相談できる教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学では8割弱、短期大学部では約8割である。
- 大学の学科別で教員評価が最も高いのは看護学科で100.0%。対して、建築学科は4割台半ばと低く、「とてもあてはまる」の割合も約1割と低い。
- 短期大学部の学科別で教員評価が最も高いのは英語キャリア・コミュニケーション学科で、9割台半ばと高い。対して、生活造形学科は評価が7割弱と低い。

Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

<進路(就職、進学など)を相談できる教員が多い>



教員評価【学科別】

- 学生個々の興味やレベルに合っている教育をする教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学では8割台半ば、短期大学部では9割弱である。
- 大学の学科別で教員評価が特に高いのは、健康・スポーツ科学科、生活環境学科、情報メディア学科、演奏学科で、いずれも約9割～100.0%と高い。対して、健康生命薬科学科は、評価が7割弱と低い。
- 短期大学部の学科別で教員評価が特に高いのは、英語キャリア・コミュニケーション学科、健康・スポーツ学科で、ともに9割台半ば～ほぼ全数である。対して、幼児教育学科は評価が8割に満たずやや低い。

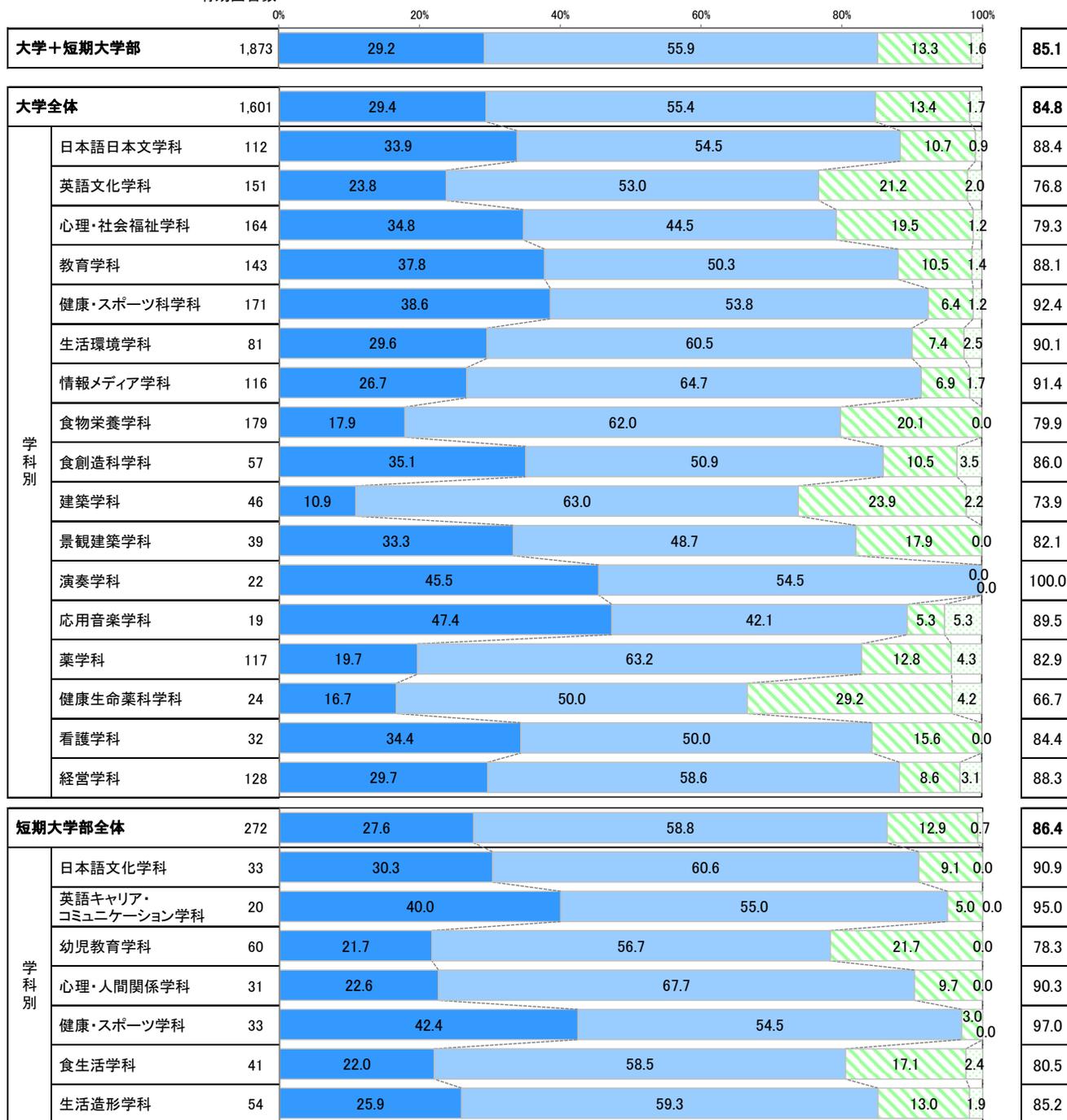
Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

<学生個々の興味やレベルに合っている教育をする教員が多い>

■ とてもあてはまる
 ■ まああてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない

とてもあてはまる + まああてはまる

有効回答数



教員評価【学科別】

- 社会で役立ちそうと感じられる、実践的な授業をする教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学で約9割、短期大学部では9割強である。
- 大学の学科別で教員評価が特に高いのは、景観建築学科、演奏学科、経営学科で、いずれも9割台半ば～100.0%である。
対して、応用音楽学科は約7割と低く、「まああてはまる」の割合も2割に満たない。
- 短期大学部の学科別で教員評価が特に高いのは、心理・人間関係学科、生活造形学科で、ともに9割台後半である。対して、食生活学科は、評価が9割に満たずやや低い。

Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

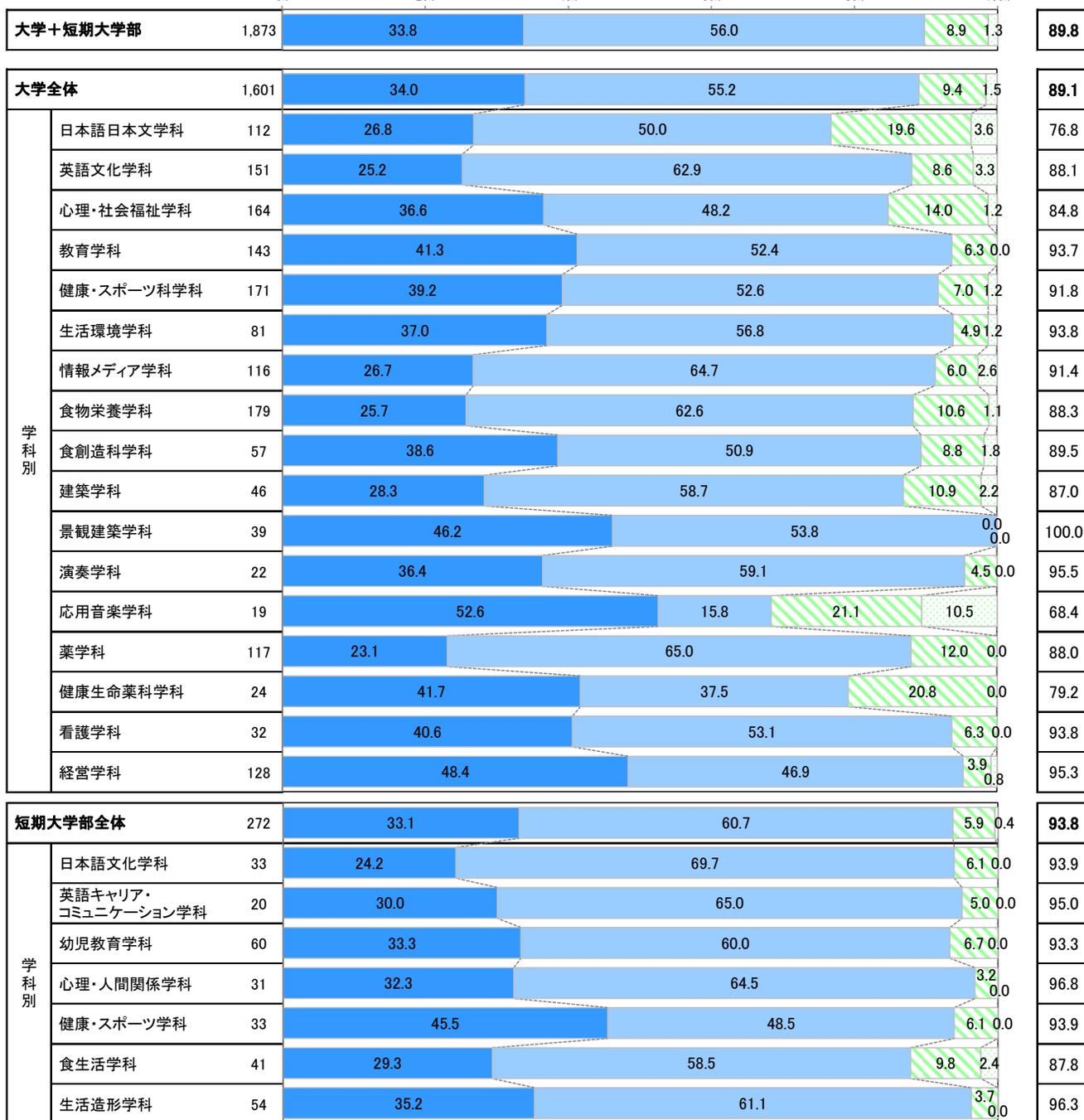
<社会で役立ちそうと感じられる、実践的な授業をする教員が多い>

■ とてもあてはまる
 ■ まああてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない

とてもあてはまる
+
まああてはまる

有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

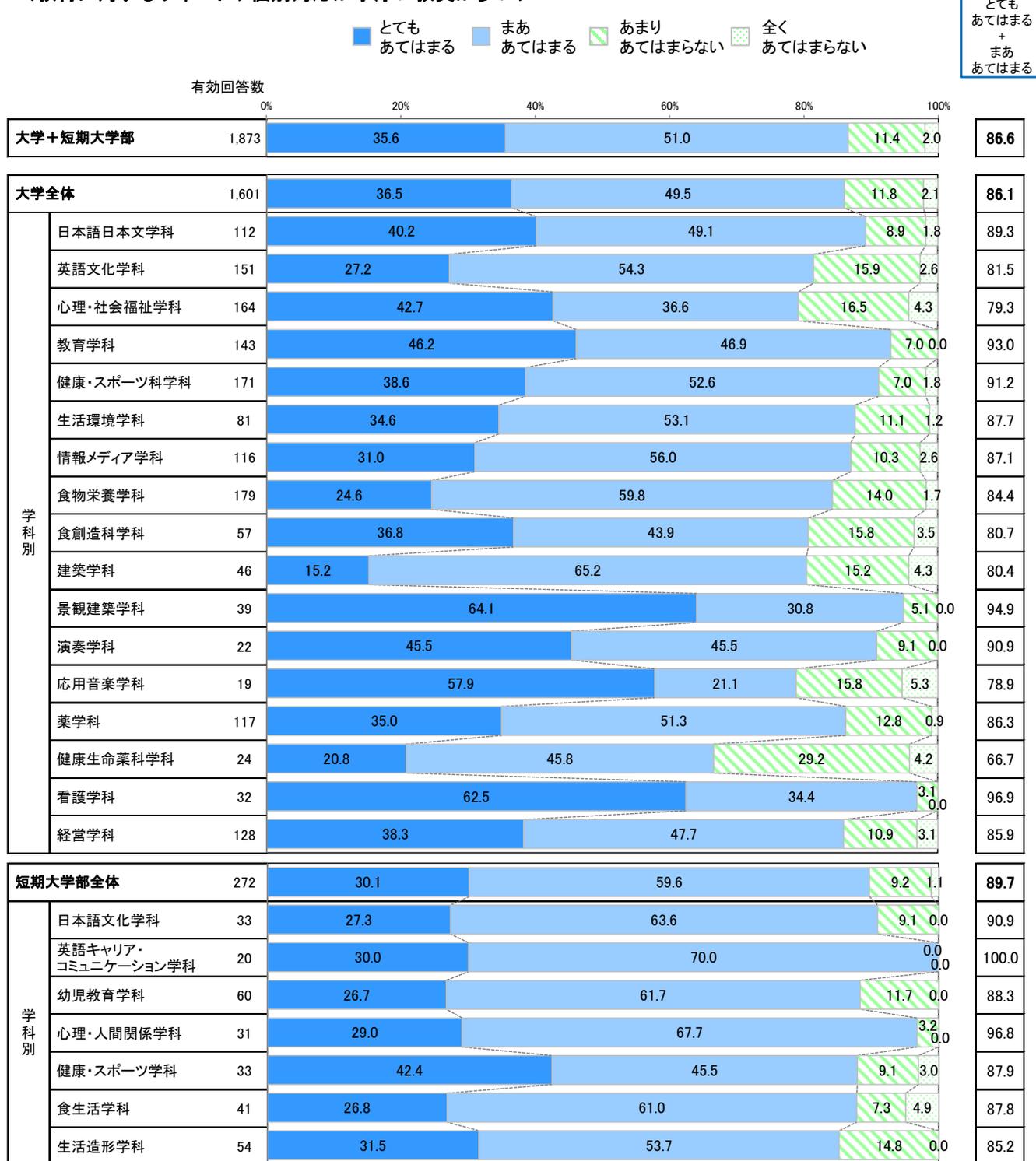


教員評価【学科別】

- 教育に対するサポートや個別対応が手厚い教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学は9割弱、短期大学部では約9割である。
- 大学の学科別で教員評価が特に高いのは、景観建築学科、看護学科で、9割台半ば～9割台後半である。対して、健康生命薬科学科は、評価が7割に満たず低い。
- 短期大学部の学科別で教員評価が最も高いのは、英語キャリア・コミュニケーション学科で100.0%である。対して、生活造形学科は評価が8割台半ばとやや低い。

Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

<教育に対するサポートや個別対応が手厚い教員が多い>



教員評価【学科別】

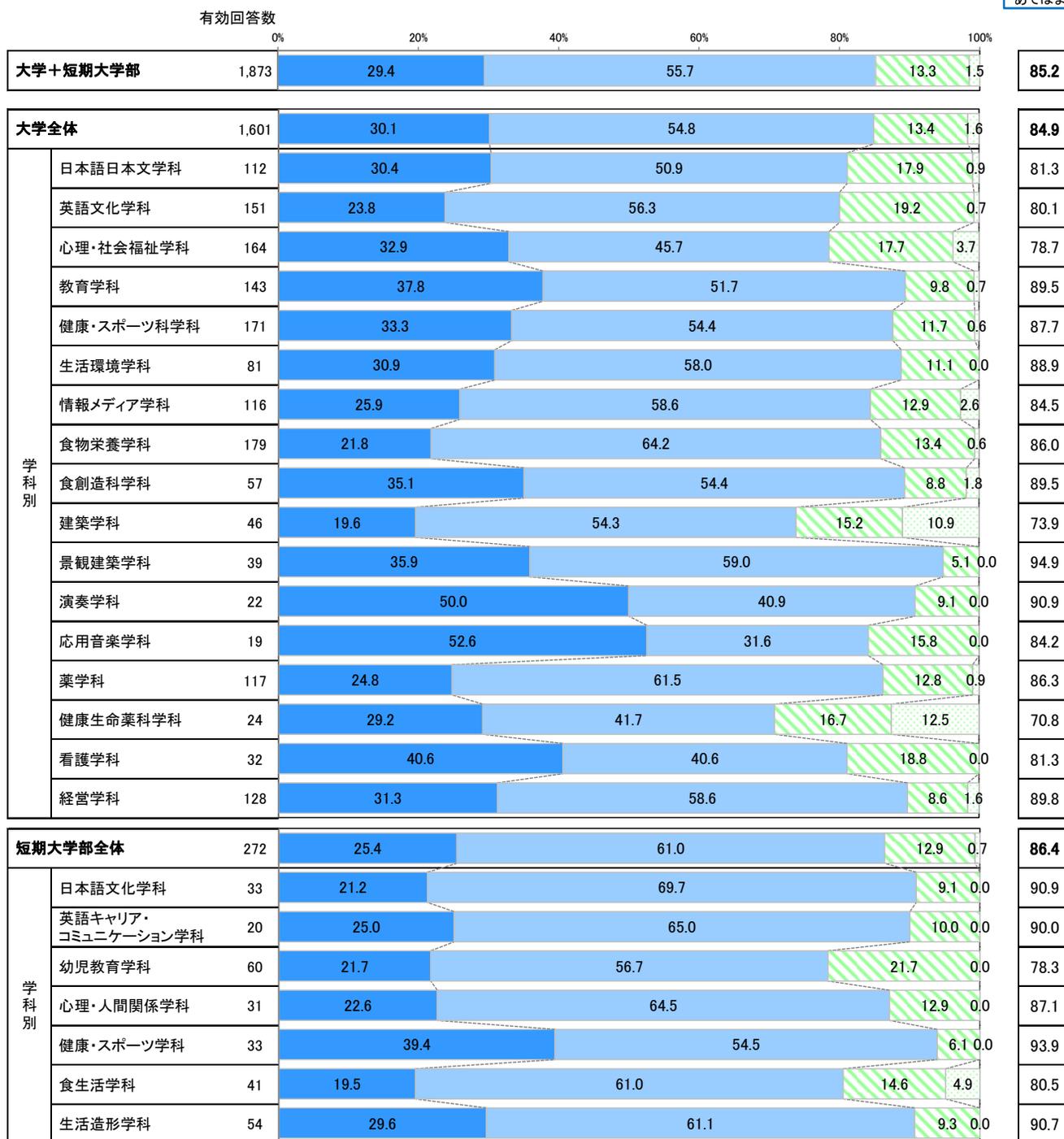
- 専門分野以外のことも学び続け、常にアップデートしている教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学は8割台半ば、短期大学部では9割弱である。
- 大学の学科別で教員評価が特に高いのは、景観建築学科、演奏学科で、約9割～9割台半ばである。対して、建築学科、健康生命薬科学科は、約7割～7割強と低い。
- 短期大学部の学科別で教員評価が最も高いのは、健康・スポーツ学科で9割強である。対して、幼児教育学科は評価が約8割と低い。

Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

<専門分野以外のことも学び続け、常にアップデートしている教員が多い>

■ とてもあてはまる
 ■ まああてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない

とてもあてはまる + まああてはまる



教員評価【学科別】

- 教えるだけではなく、自身での学び方・調べ方まで伝えてくれる教員が多いに対する評価(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」)は、大学、短期大学部ともに約9割である。
- 大学の学科別で教員評価が特に高いのは、演奏学科、看護学科で、9割台半ば～9割台後半である。対して、健康生命薬科学科は、評価が7割台半ばと低い。
- 短期大学部の学科別で教員評価が最も高いのは、英語キャリア・コミュニケーション学科で100.0%である。対して、幼児教育学科は、評価が8割台半ばとやや低い。

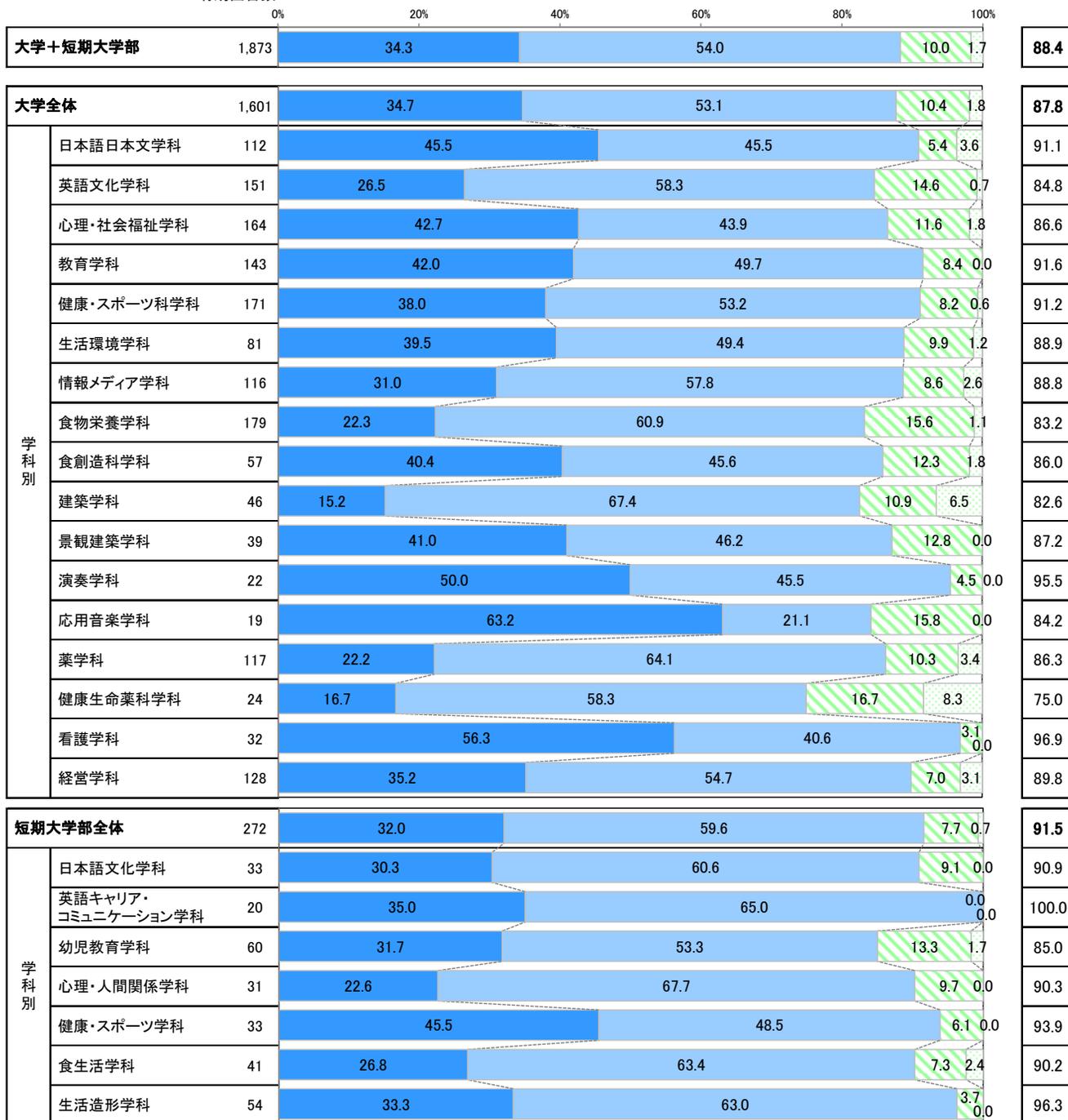
Q4 あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

<教えるだけではなく、自身での学び方・調べ方まで伝えてくれる教員が多い>

■ とてもあてはまる
 ■ まああてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ 全くあてはまらない

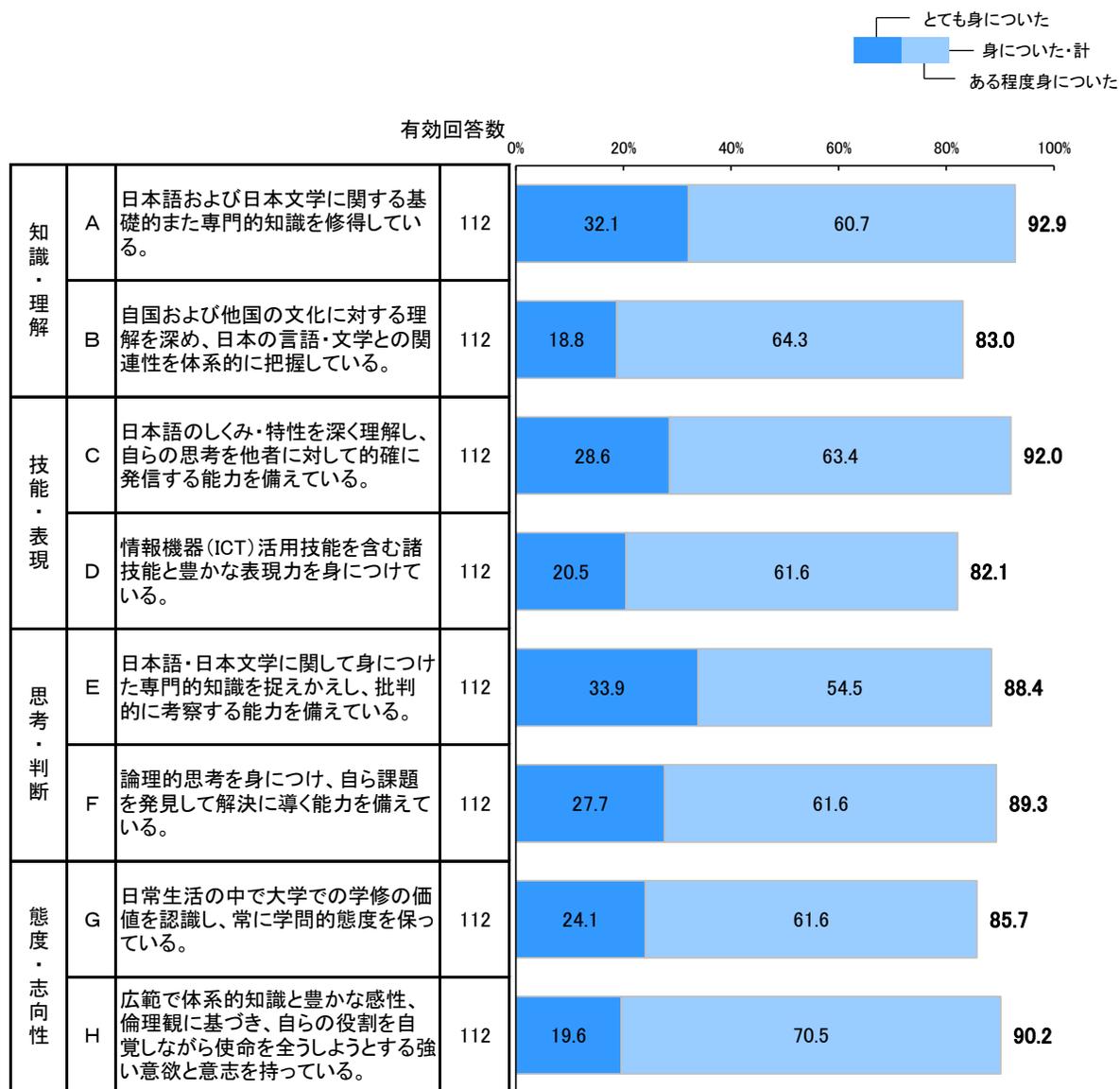
とてもあてはまる + まああてはまる

有効回答数

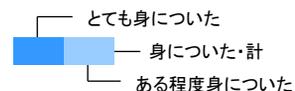


**アンケート結果 詳細内容
【ディプロマ・ポリシーの修得度】**

Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

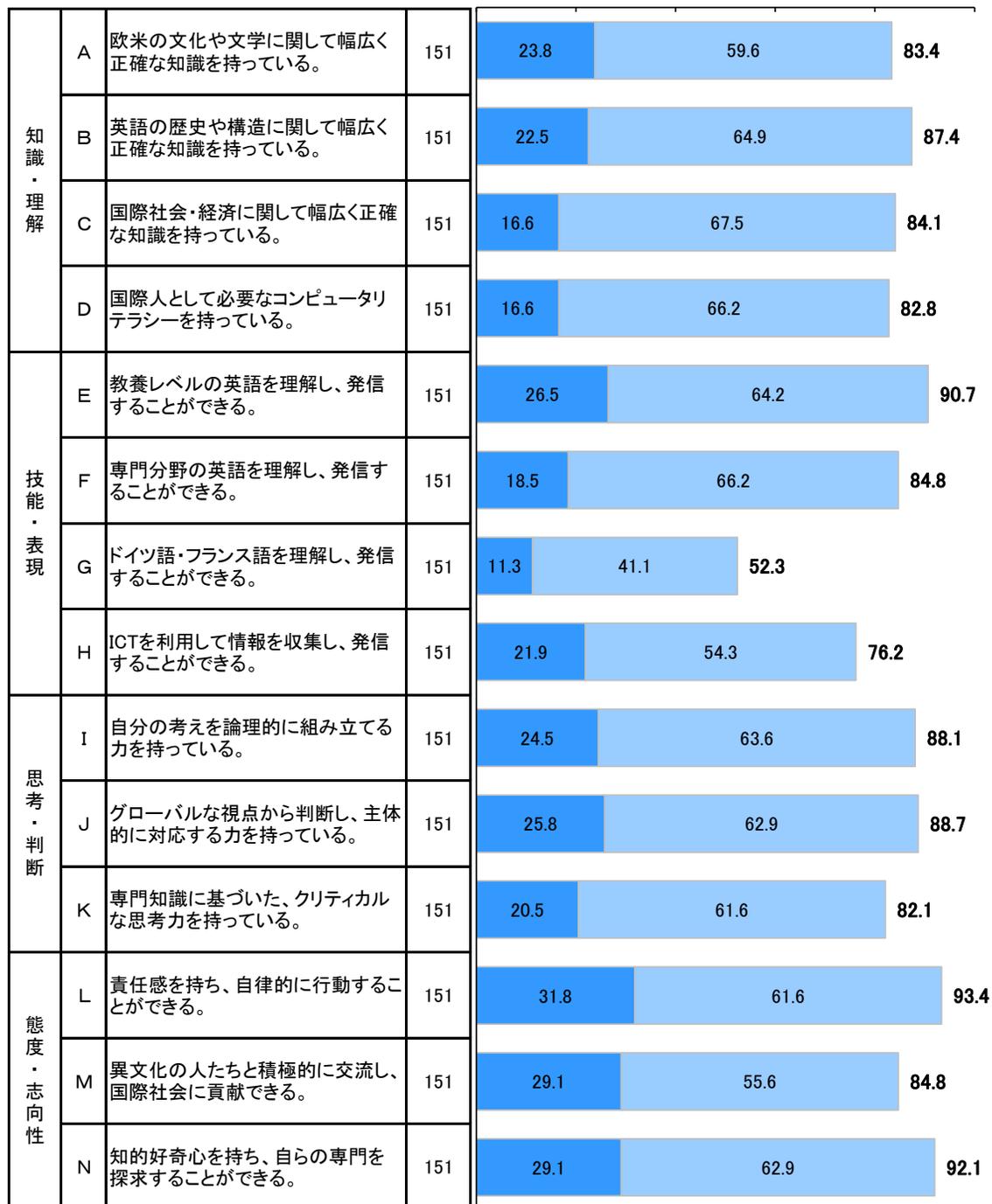


Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



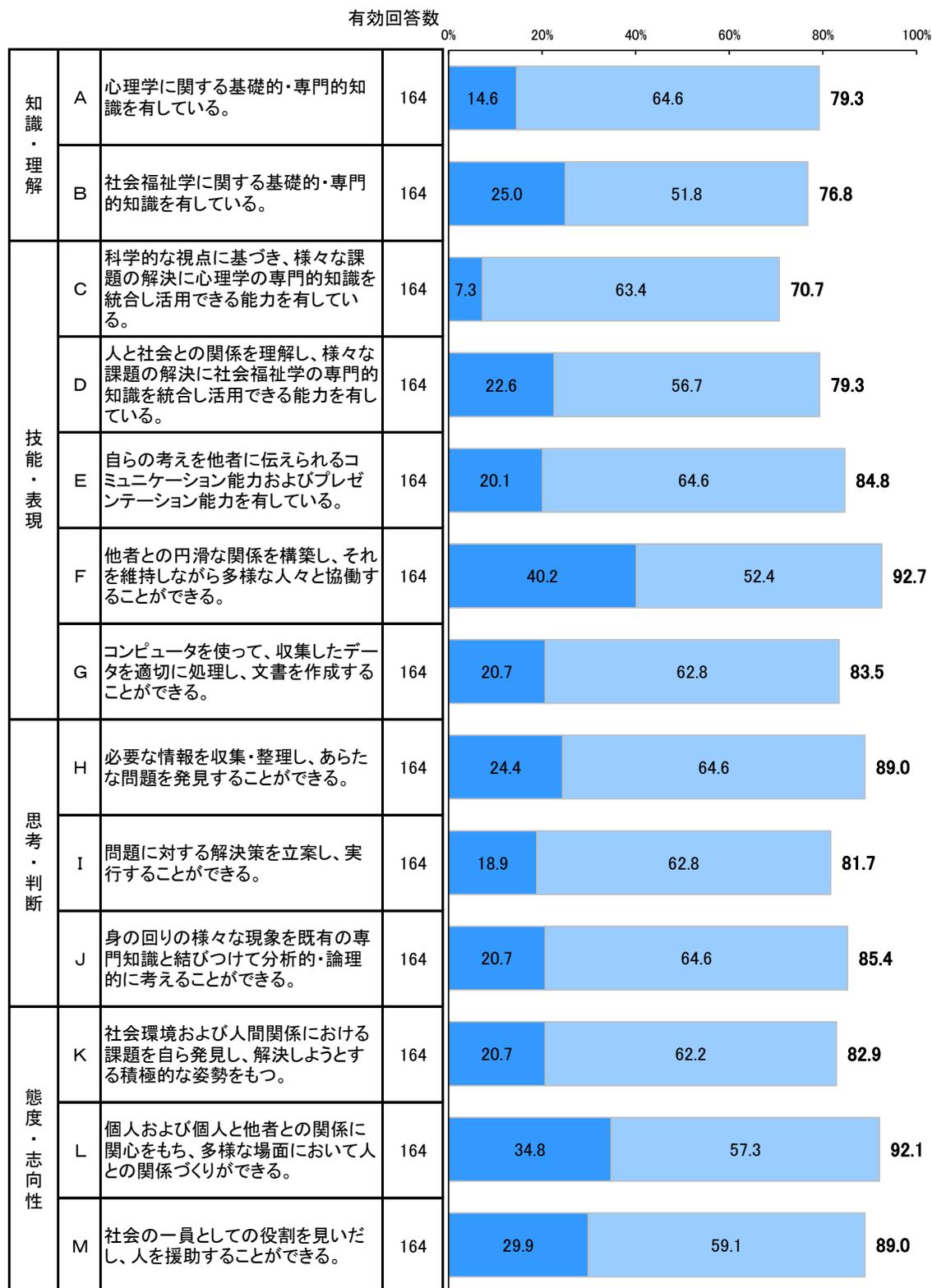
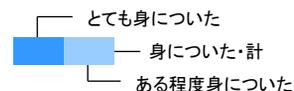
有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

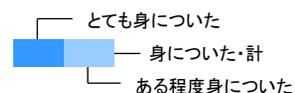


修得した能力【大学 文学部 心理・社会福祉学科】

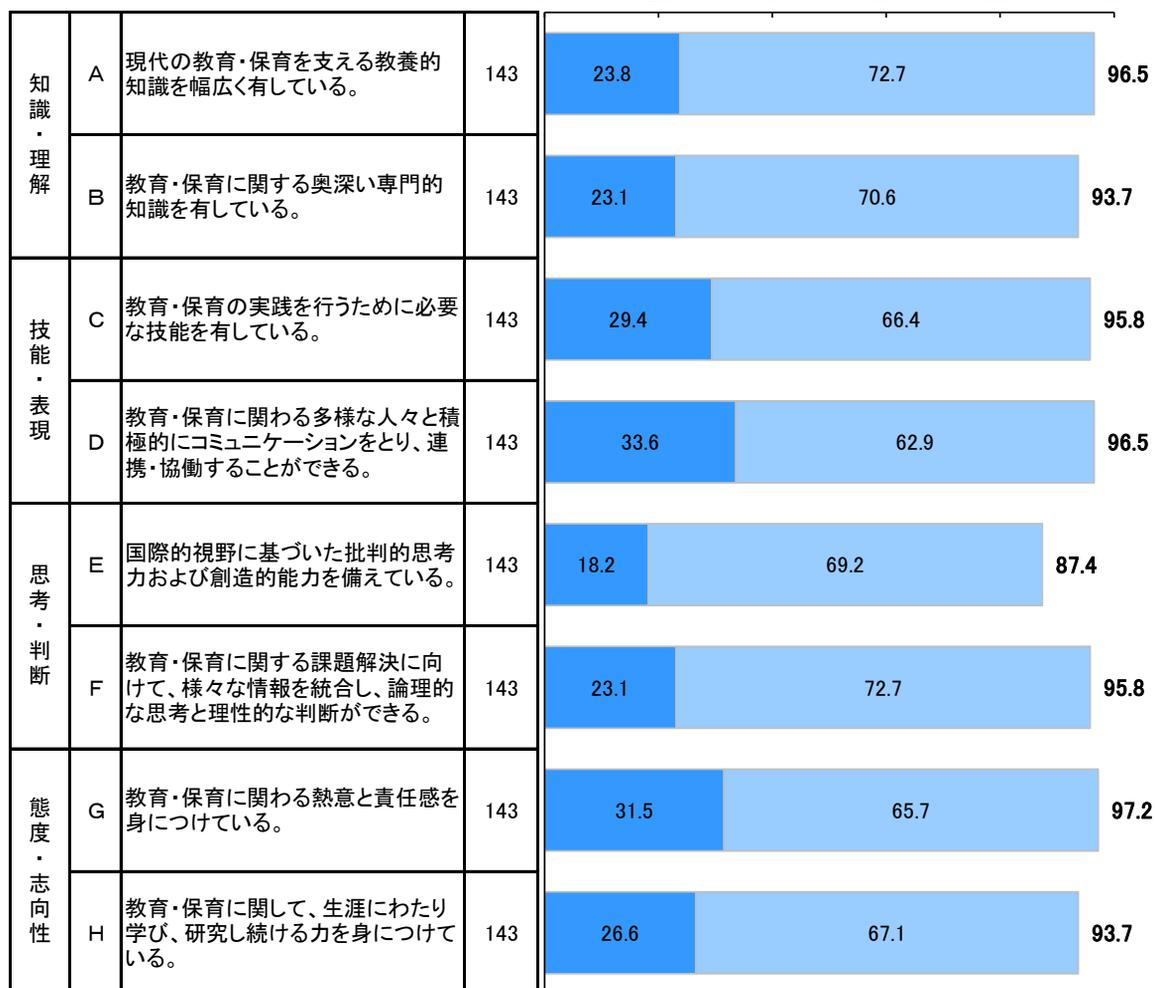
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



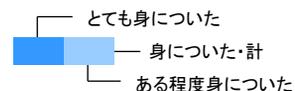
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



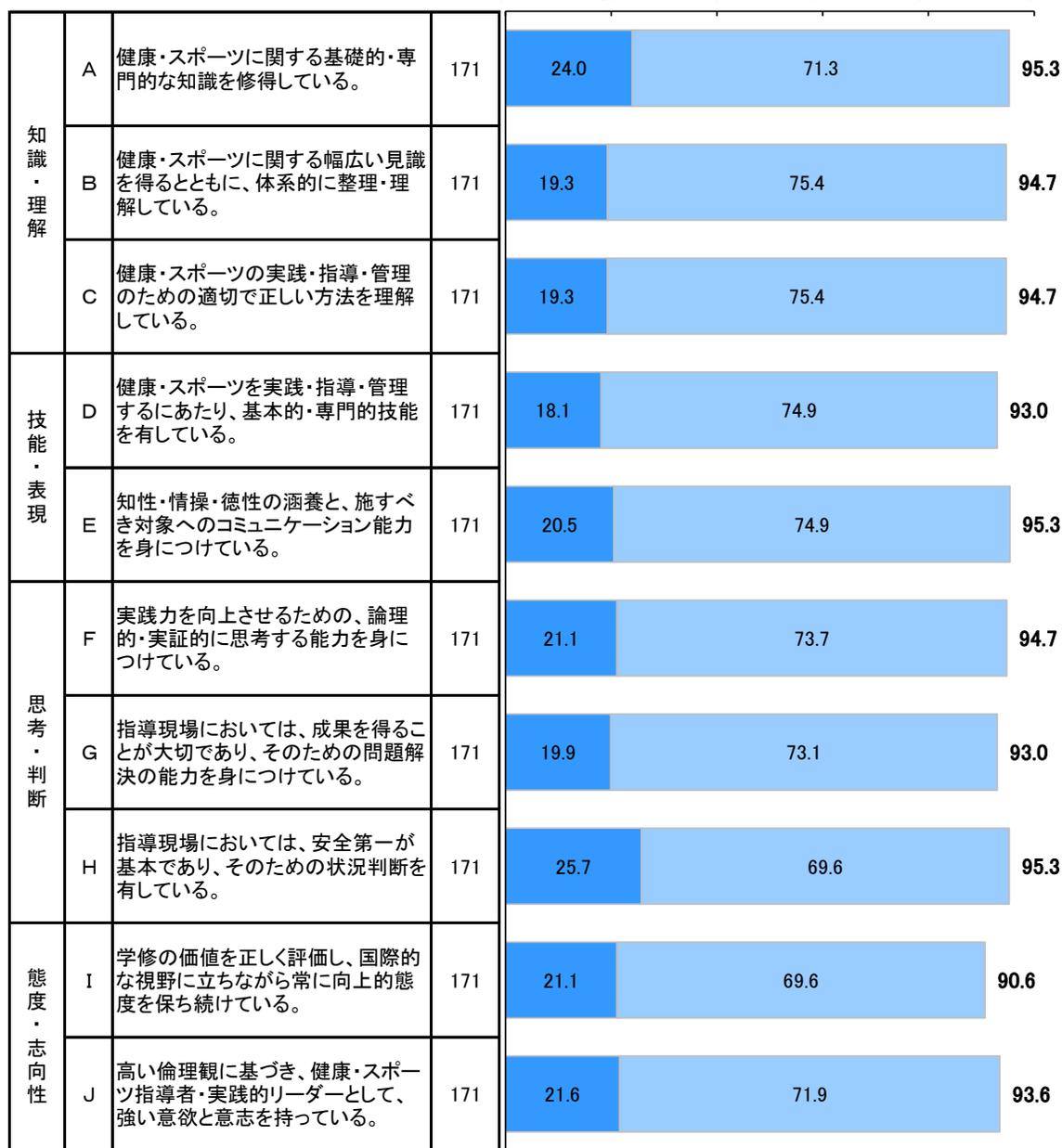
有効回答数



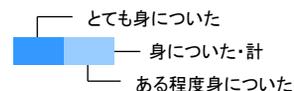
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



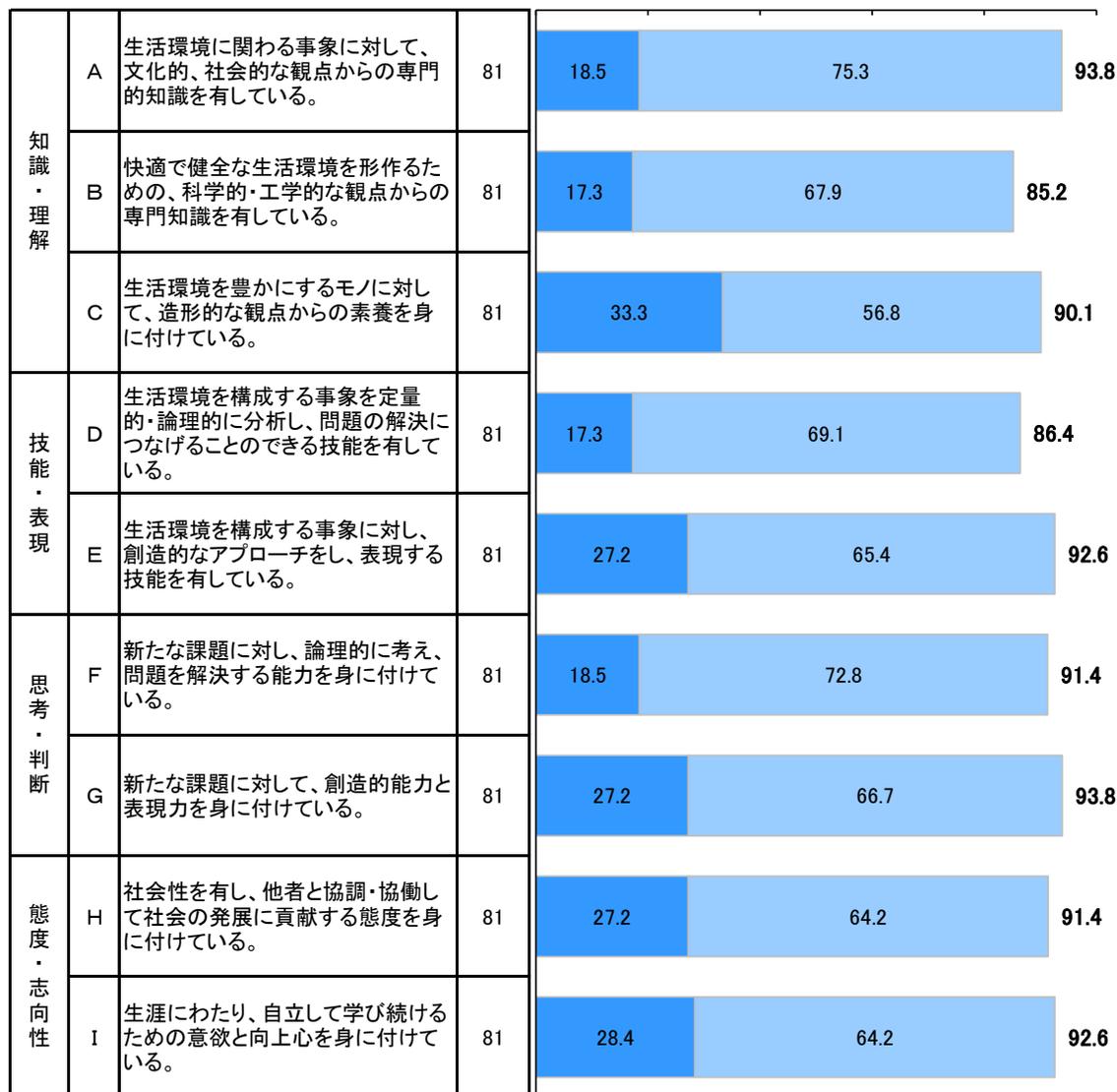
有効回答数



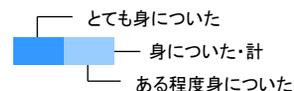
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



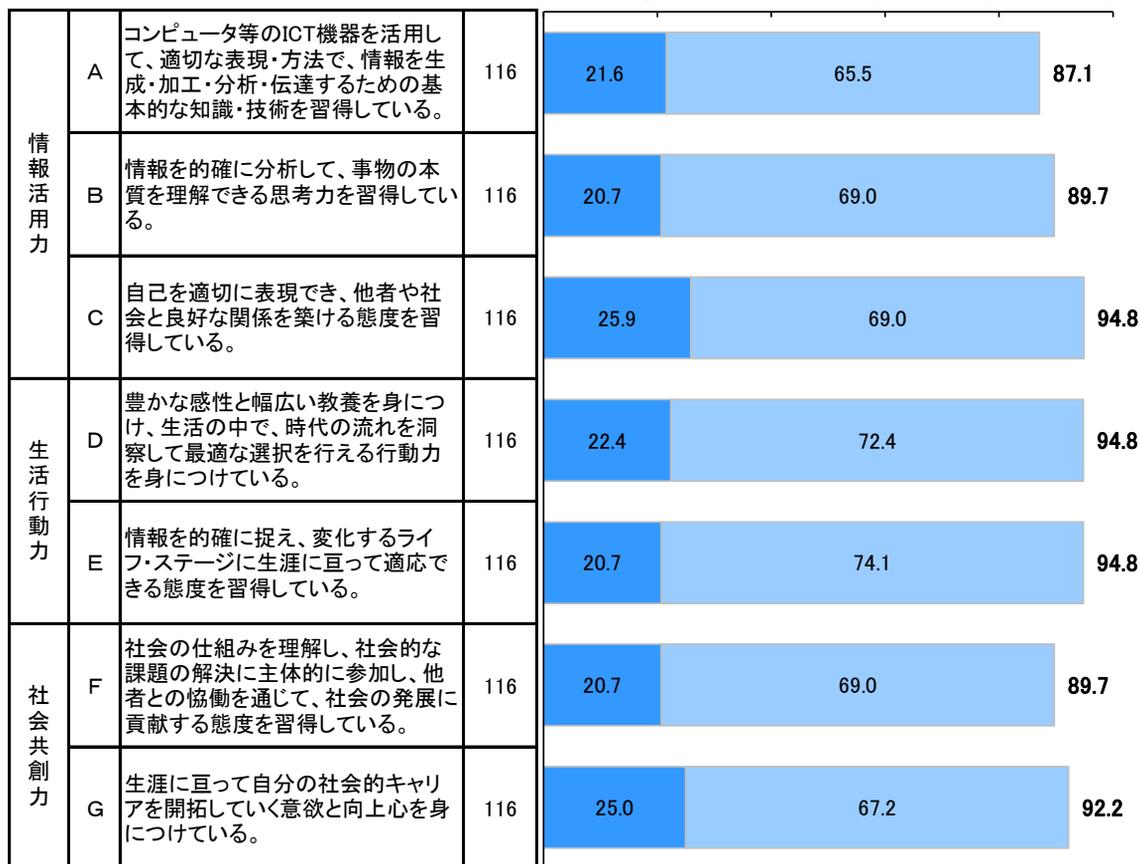
有効回答数



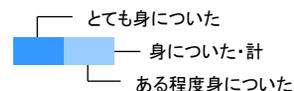
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



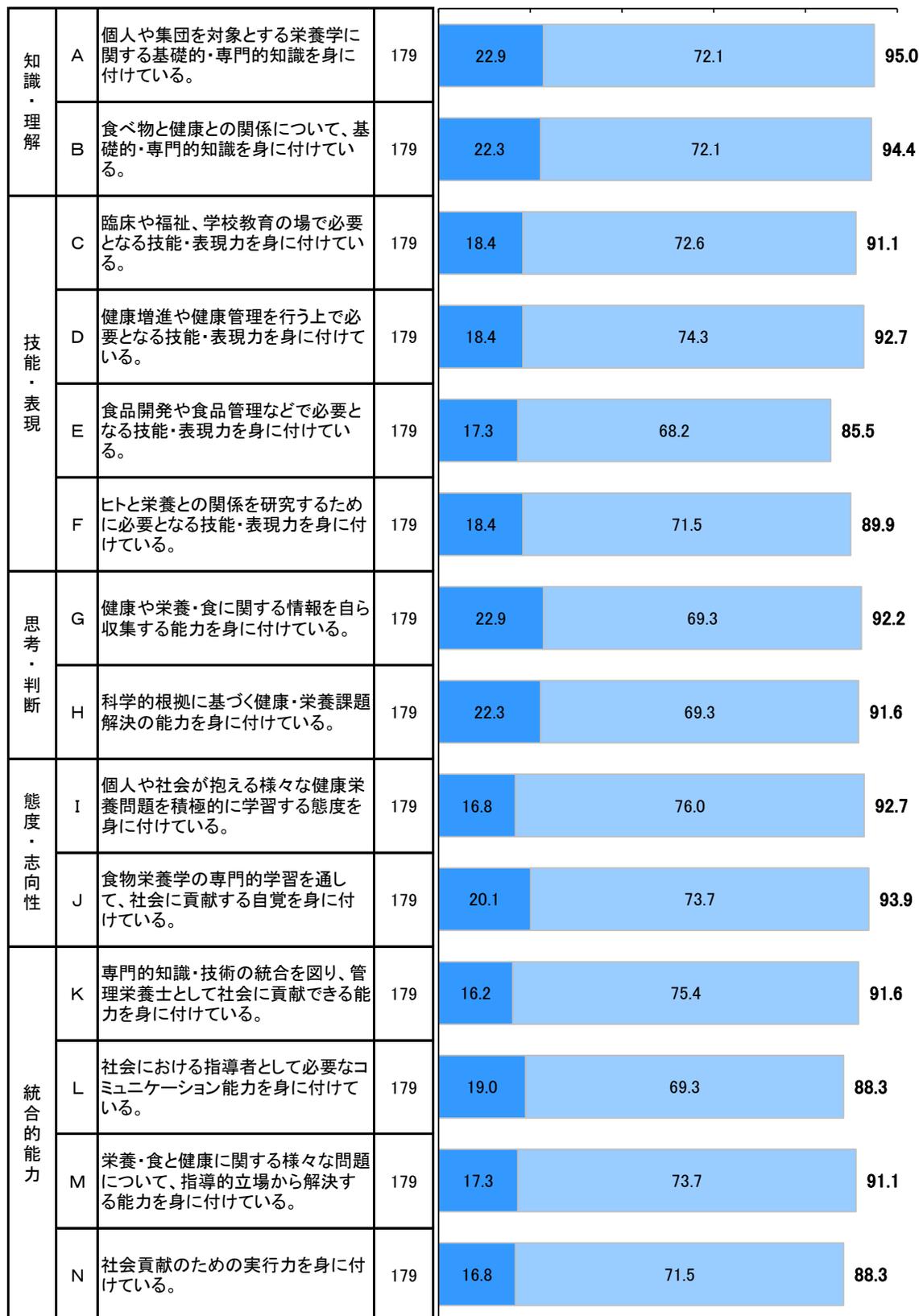
有効回答数



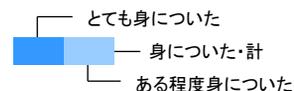
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



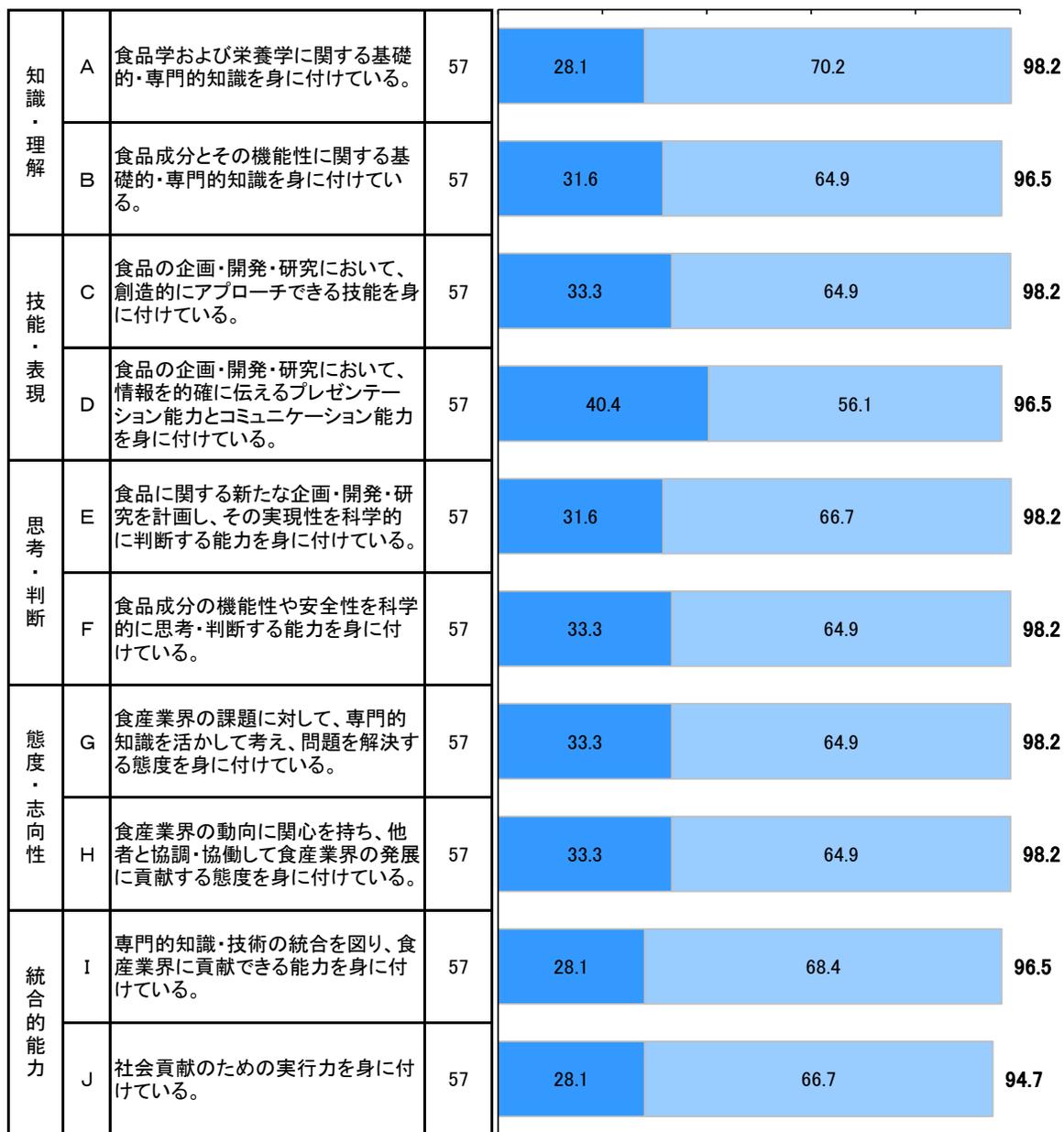
有効回答数



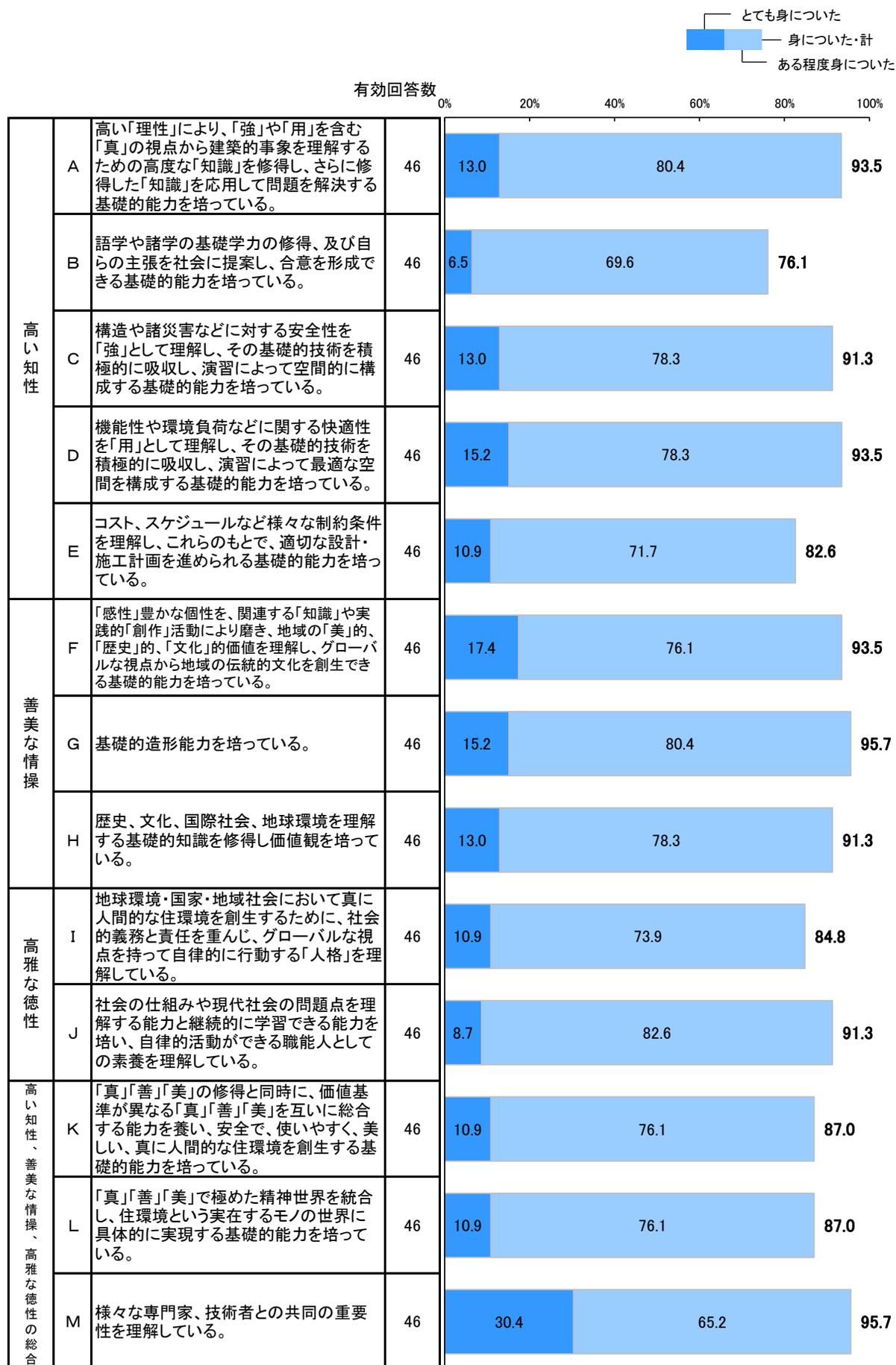
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



有効回答数

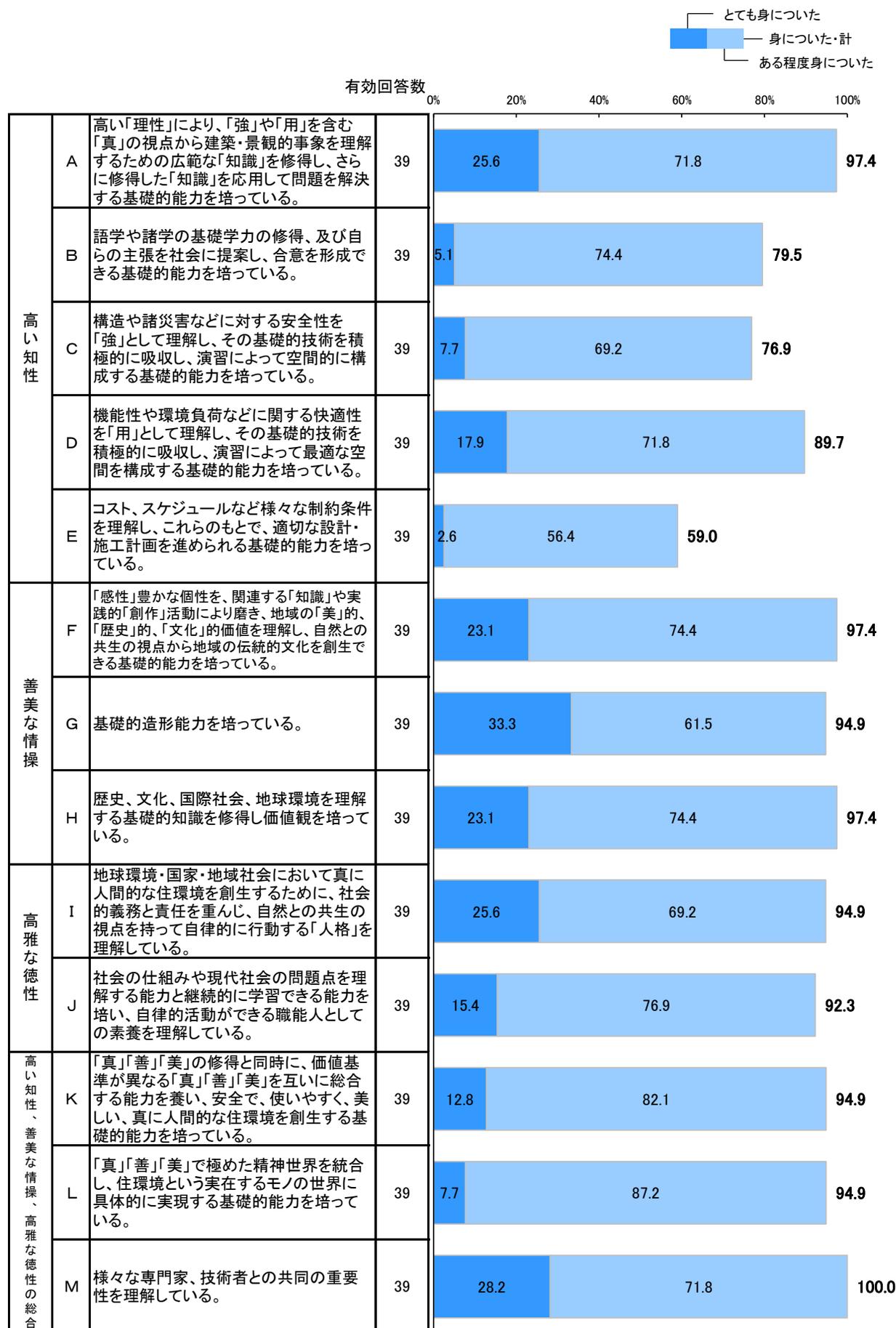


Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

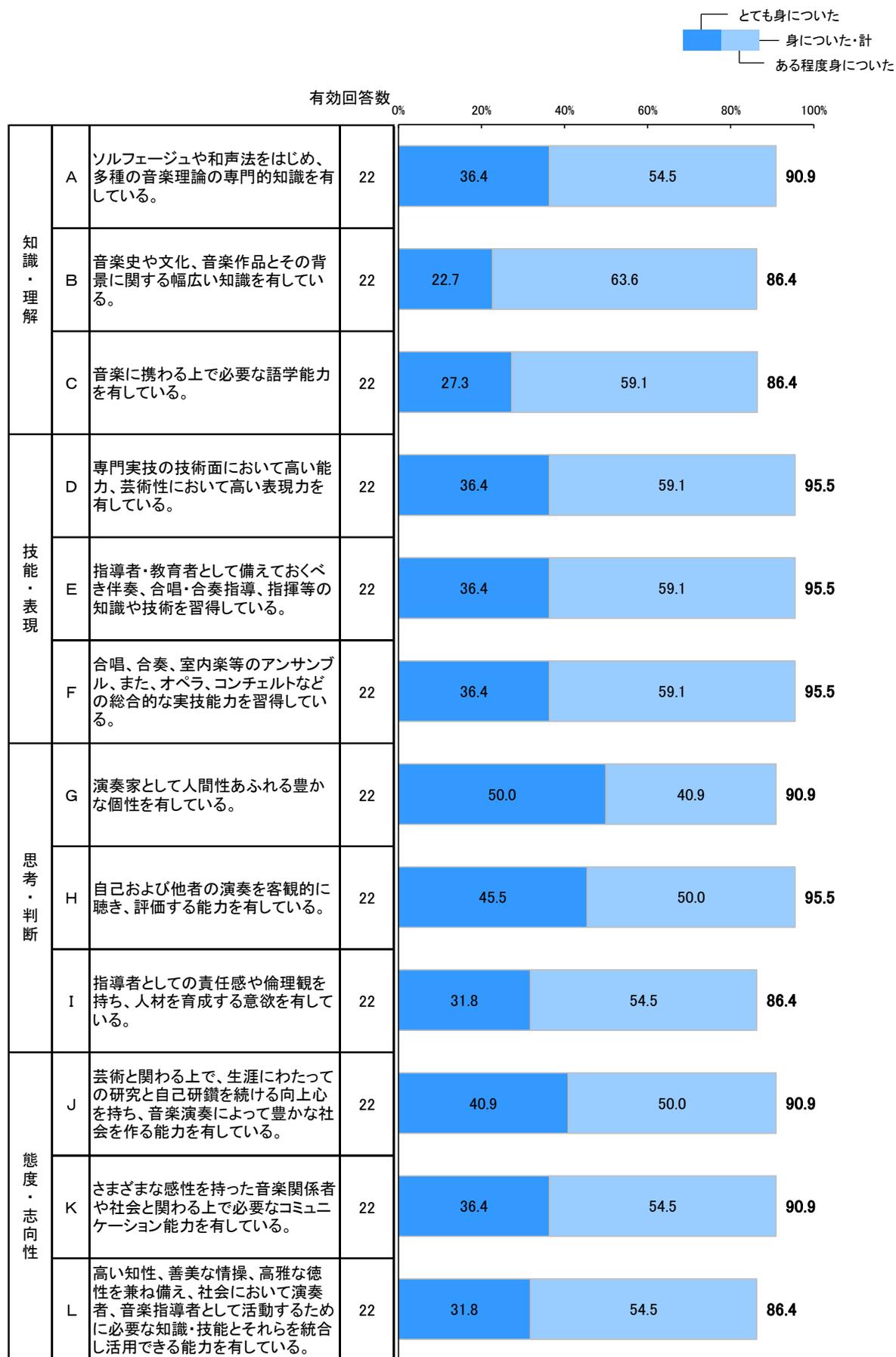


修得した能力【大学 建築学部 景観建築学科】

Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



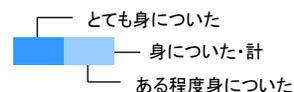
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



※ n = 30未満のため参考値

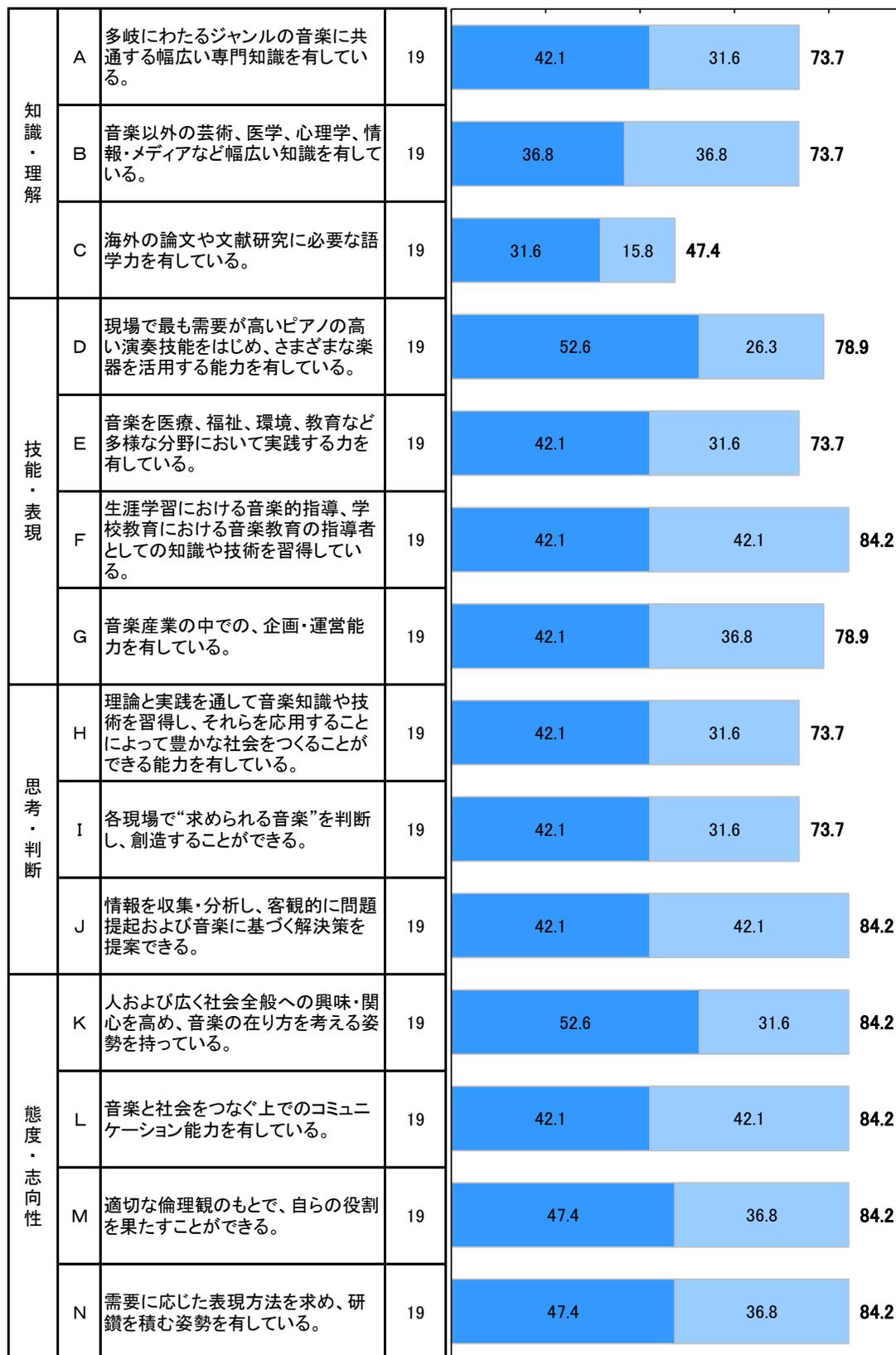
修得した能力【大学 音楽学部 応用音楽学科】

Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



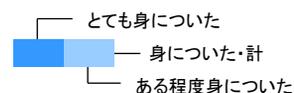
有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

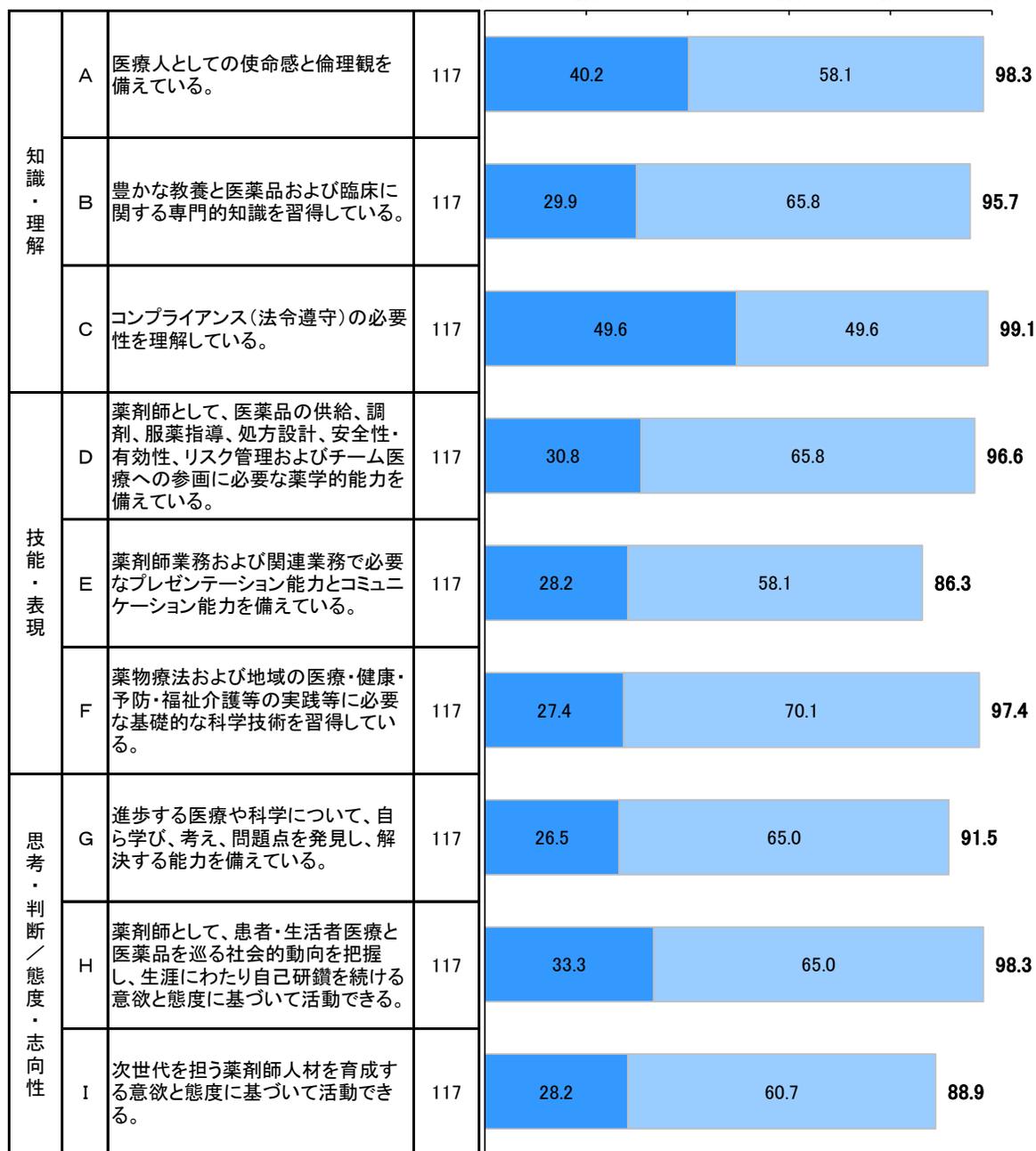


※ n = 30未満のため参考値

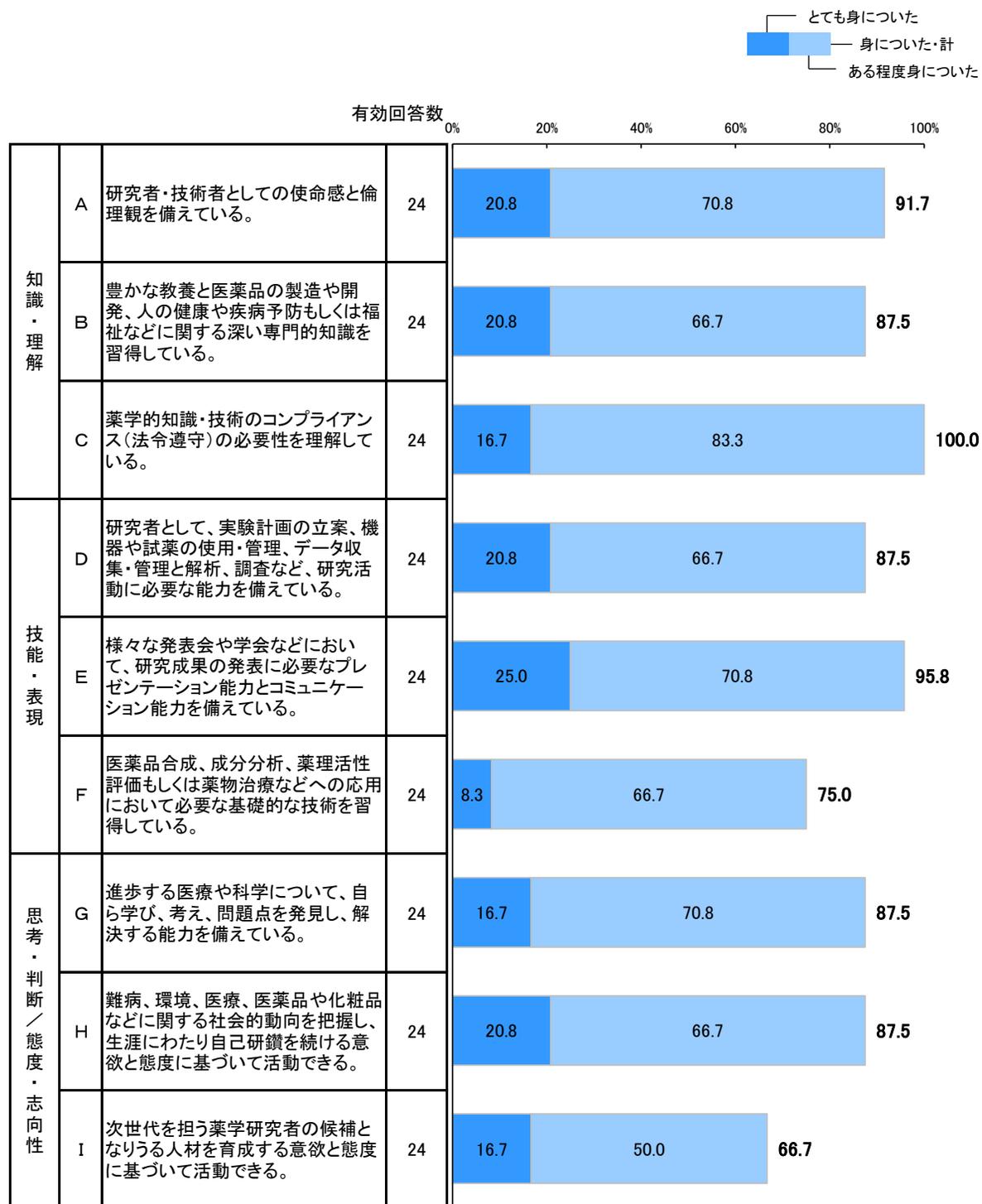
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



有効回答数

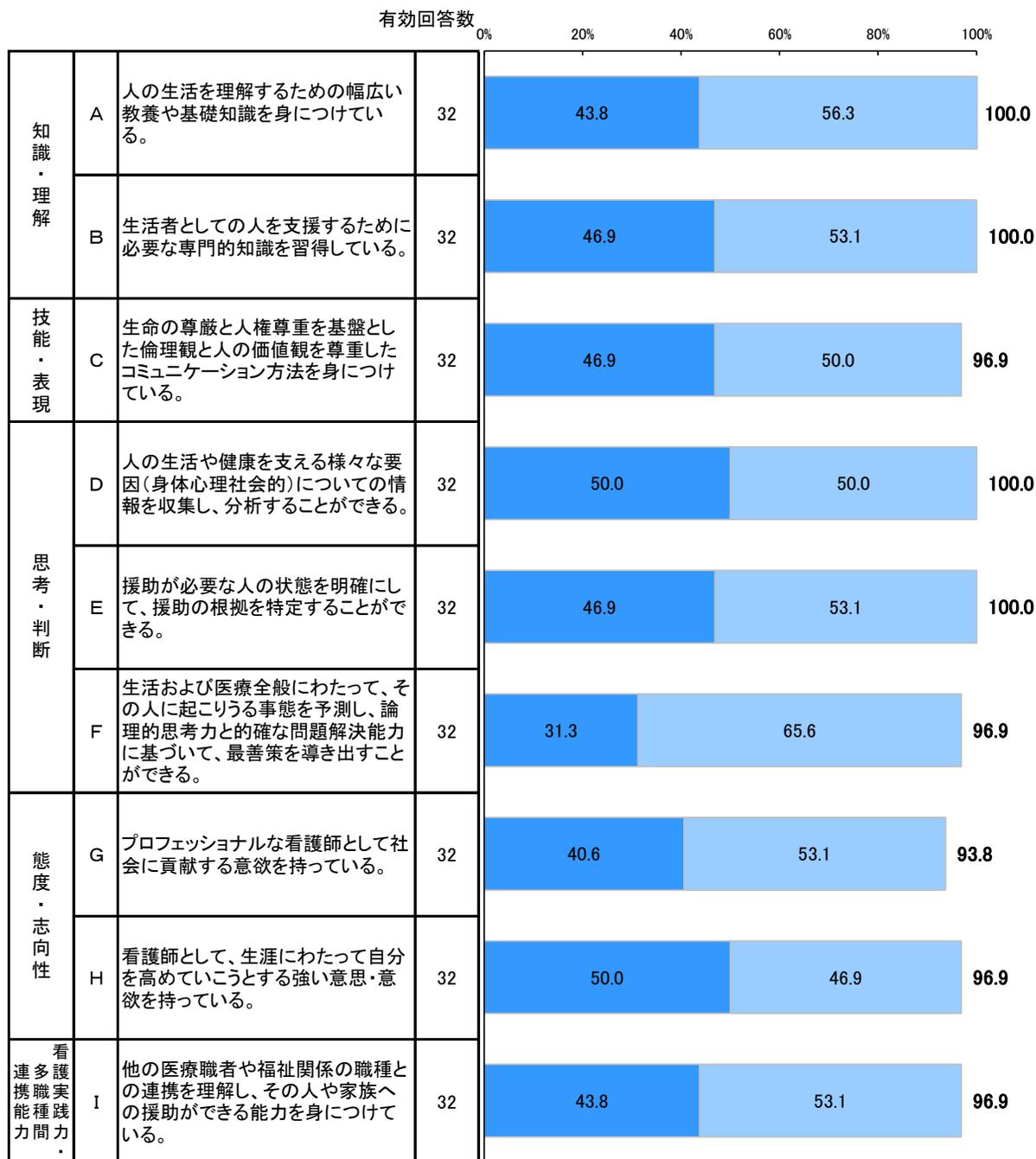
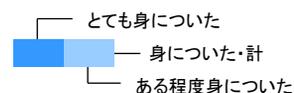


Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

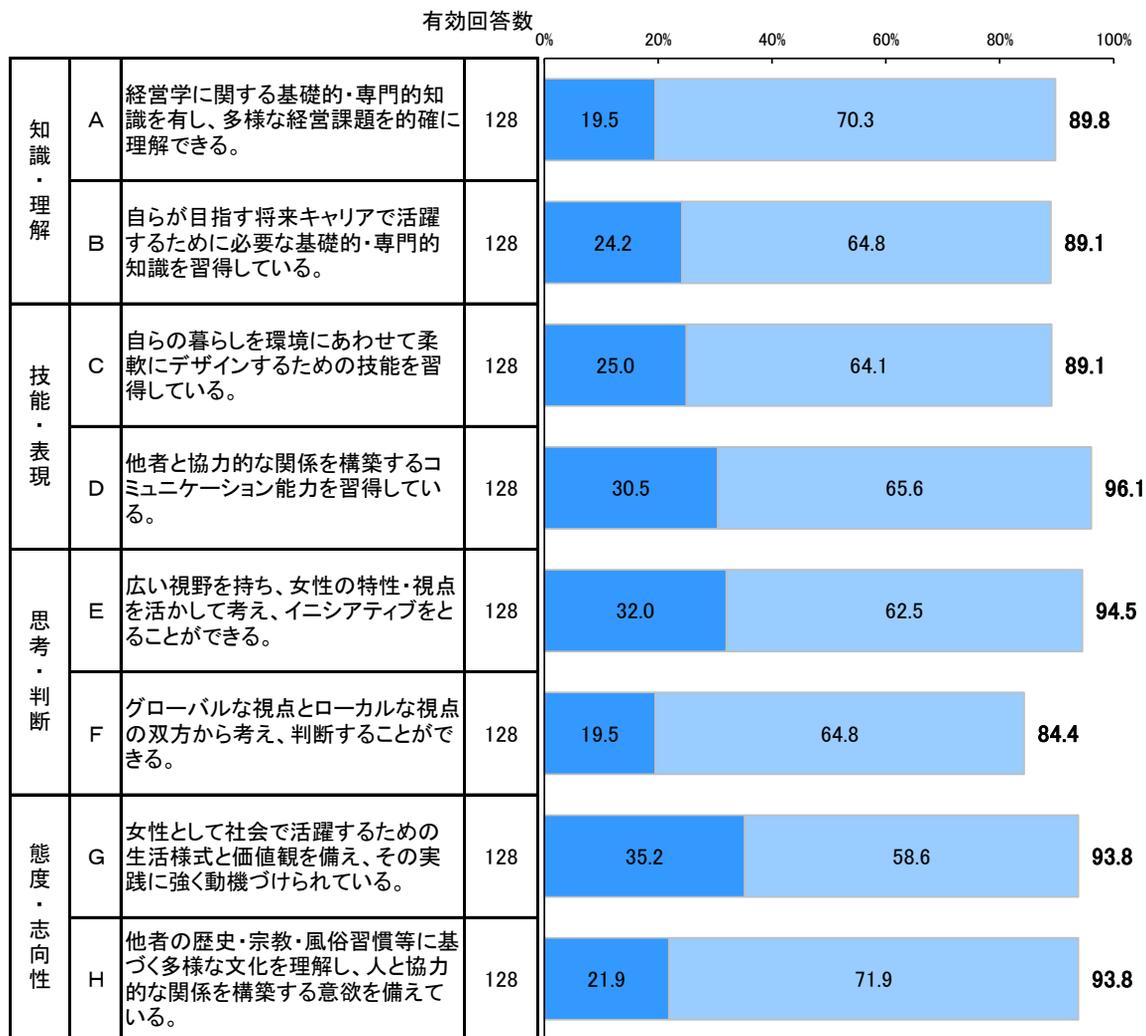
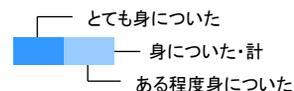


※ n = 30未満のため参考値

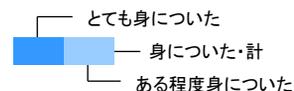
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



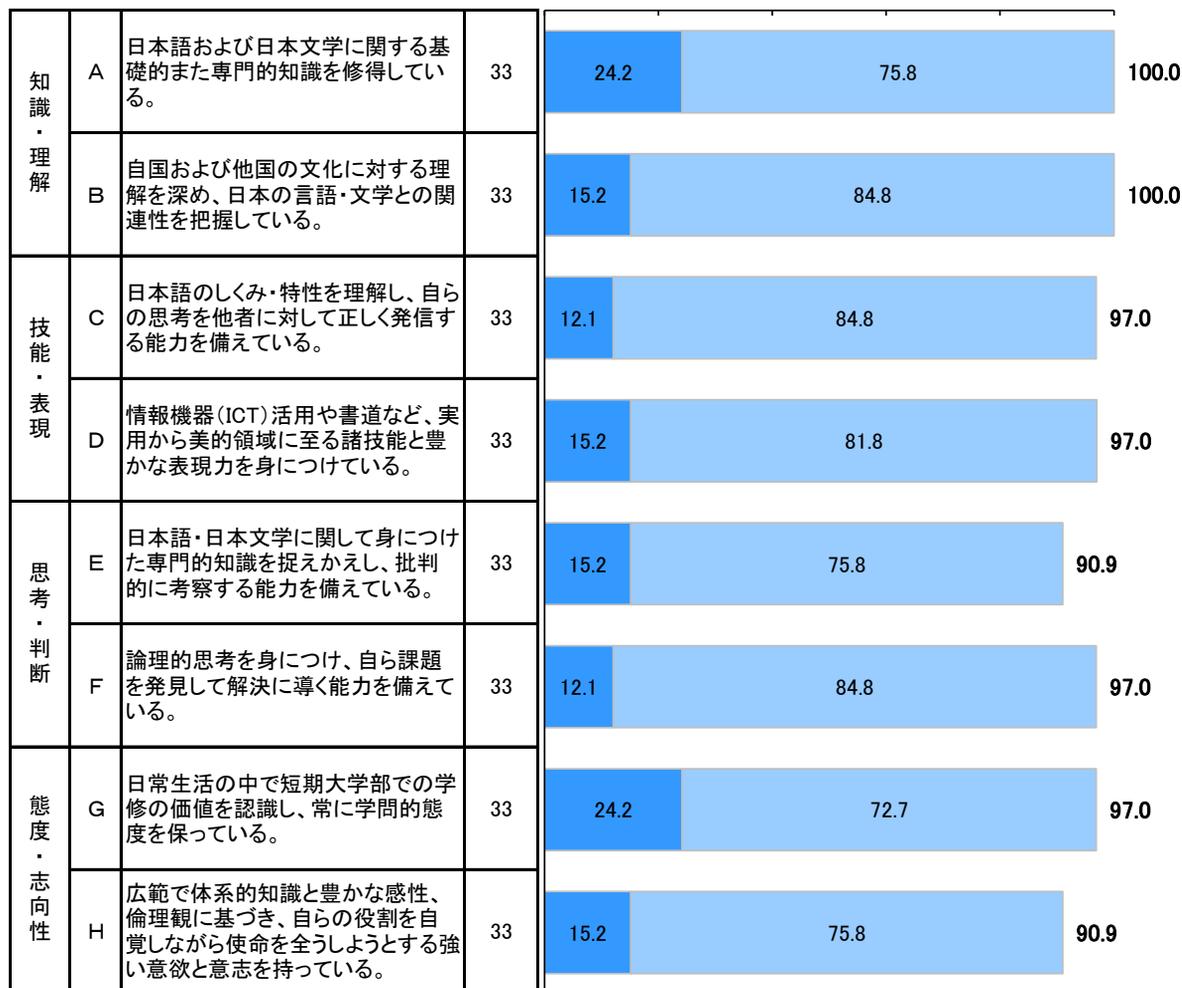
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



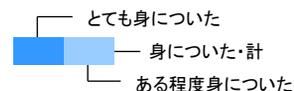
Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



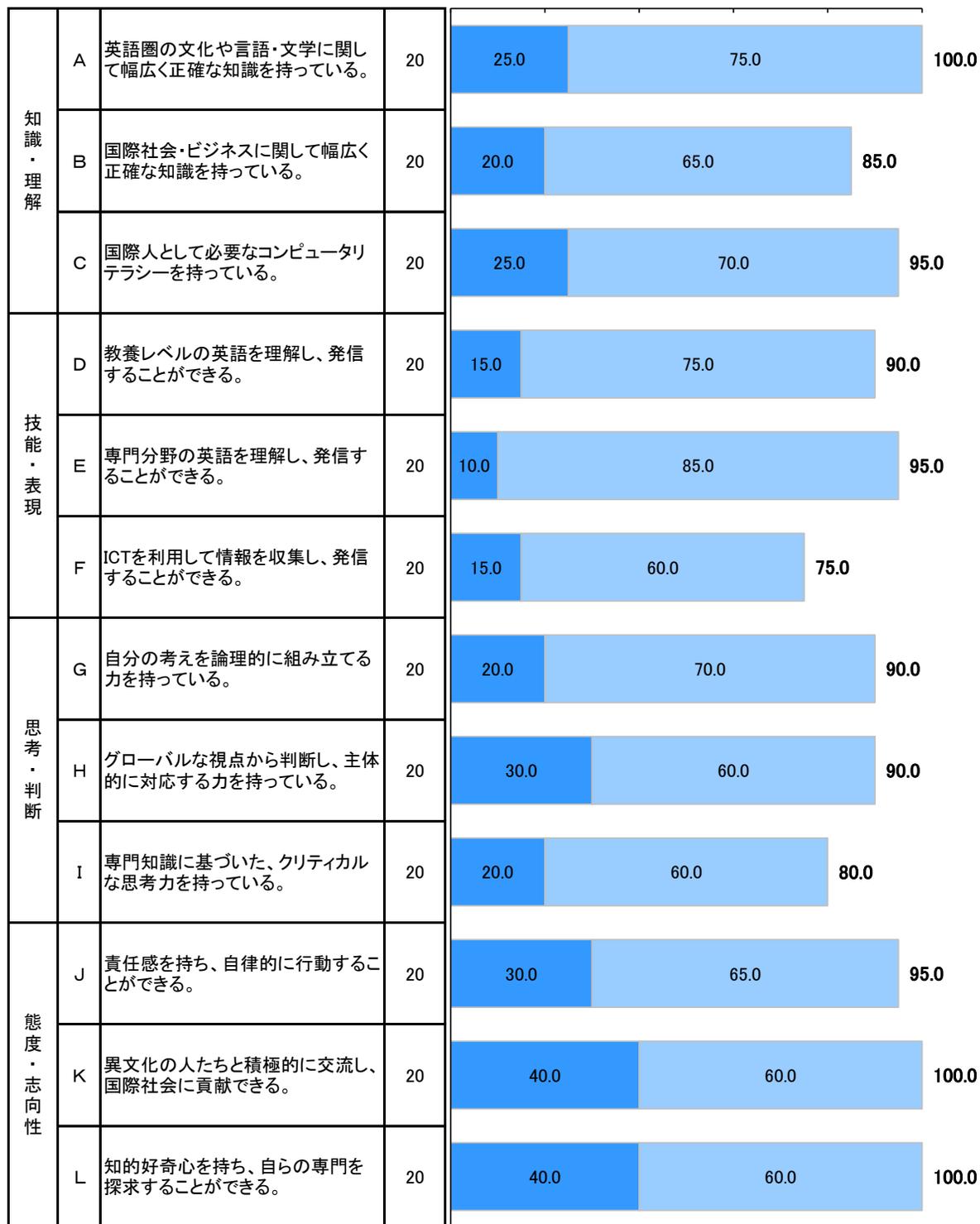
有効回答数



Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



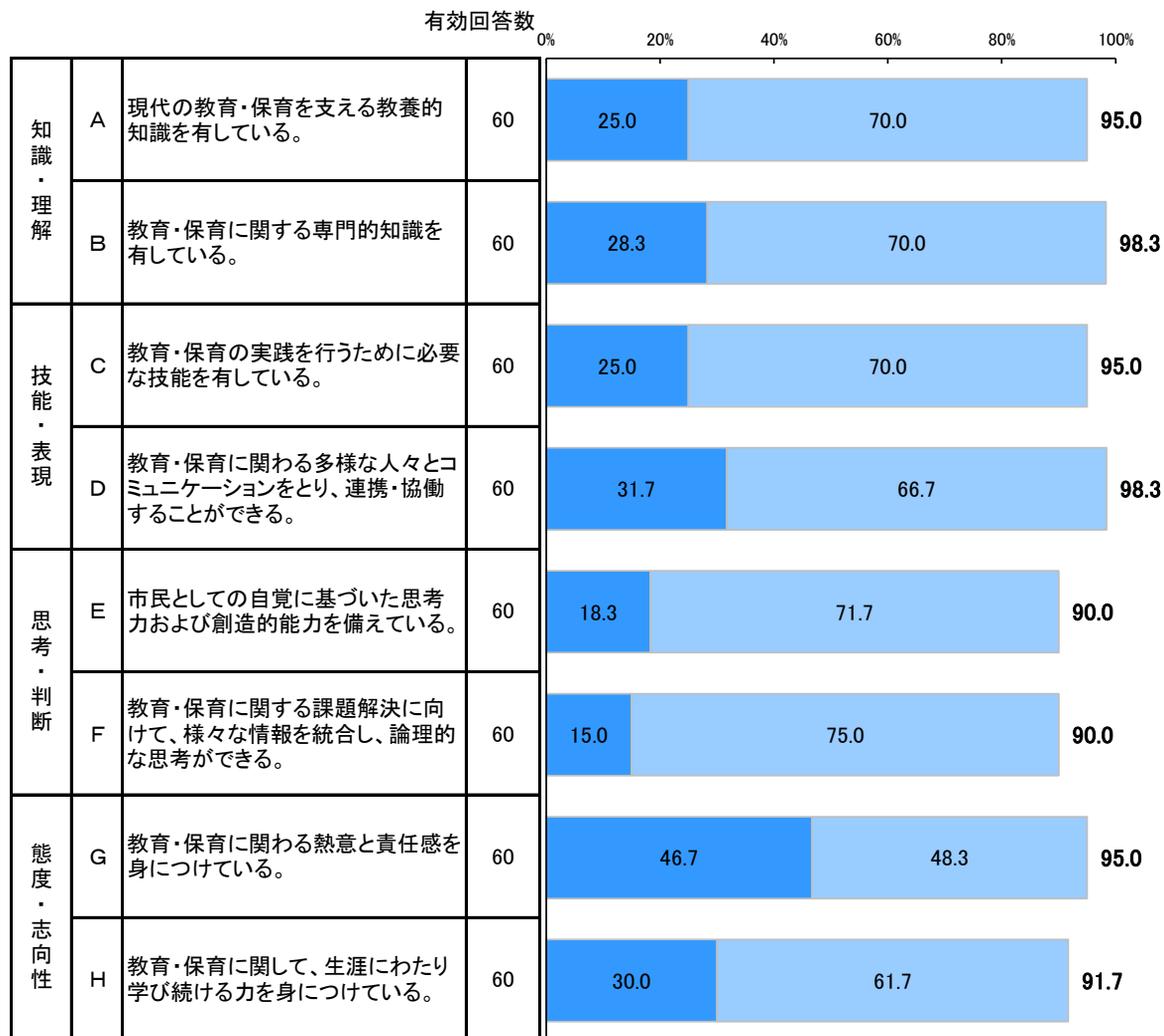
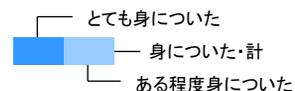
有効回答数



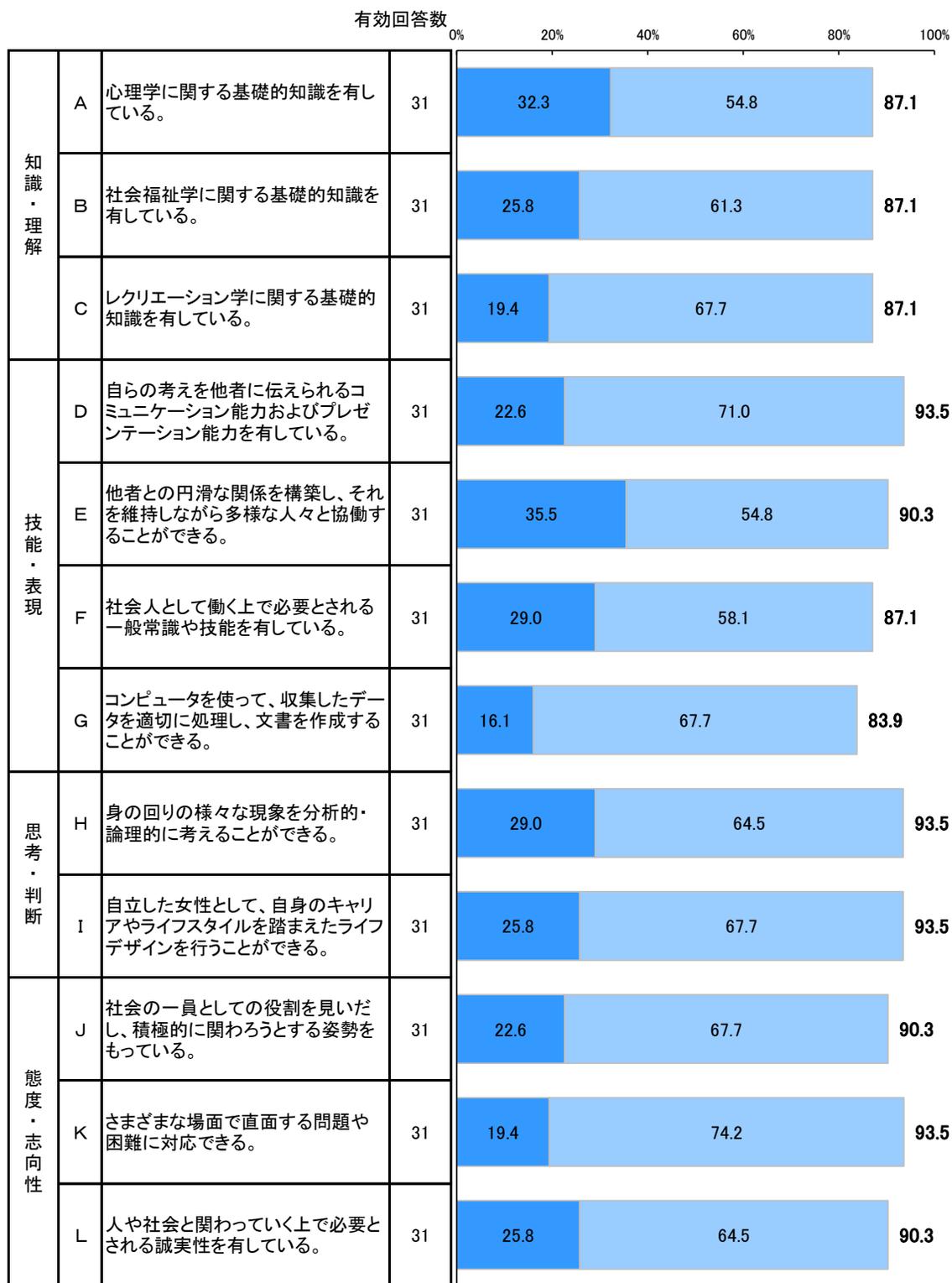
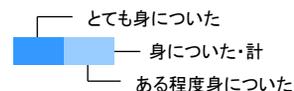
※ n = 30未満のため参考値

修得した能力【短期大学部 幼児教育学科】

Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

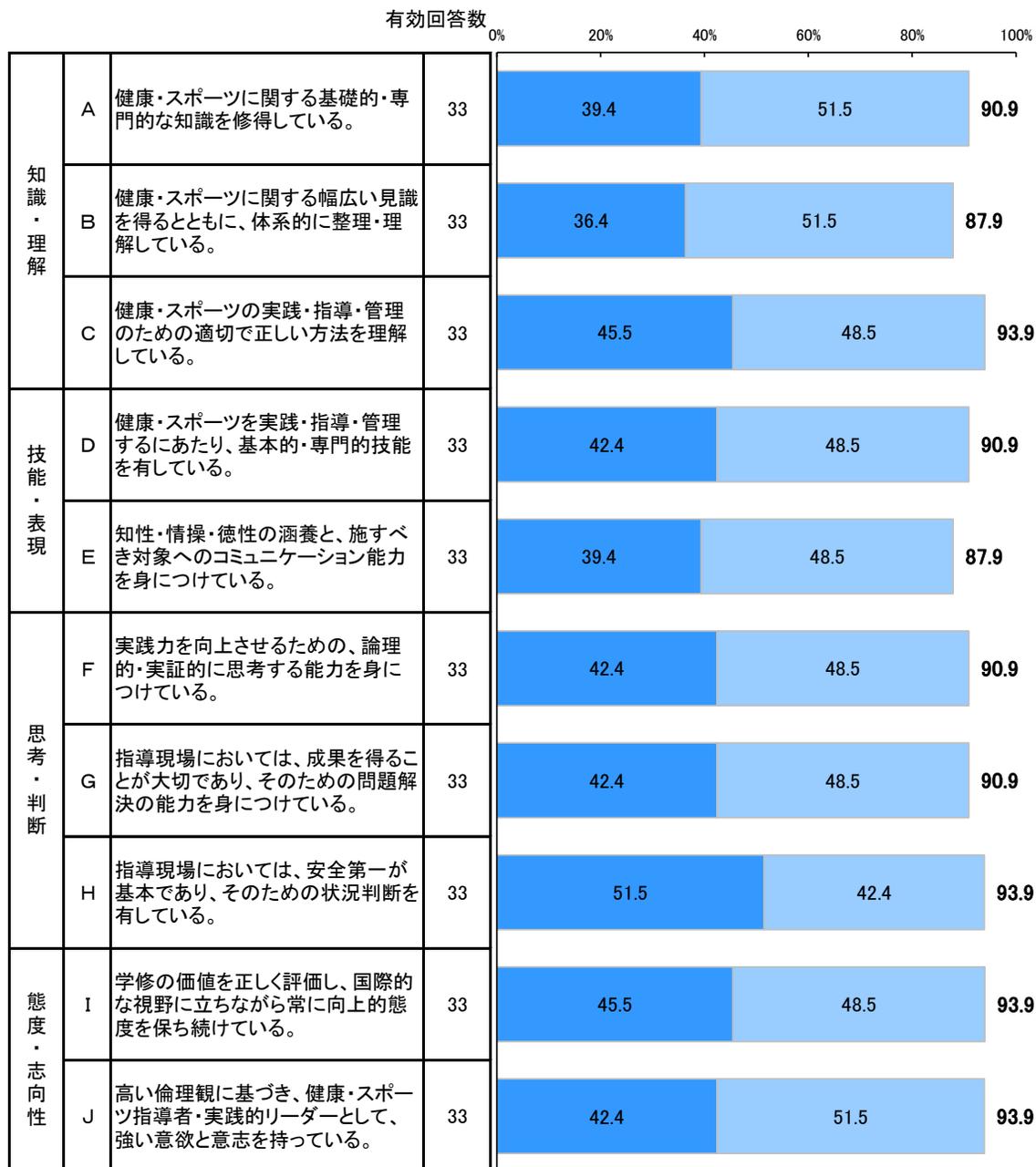
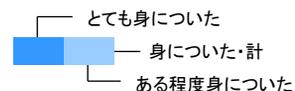


Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



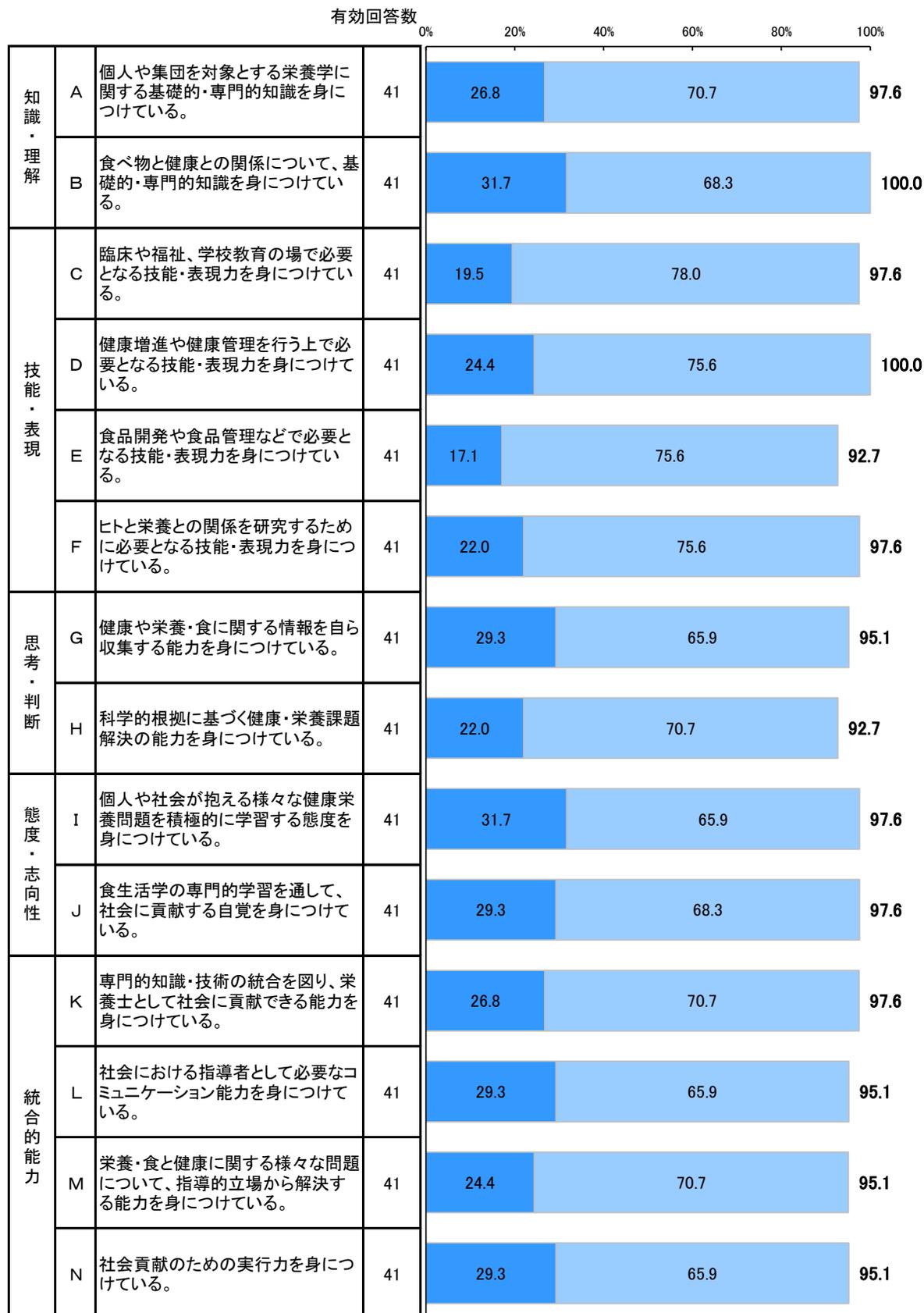
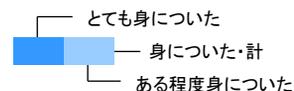
修得した能力【短期大学部 健康・スポーツ学科】

Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

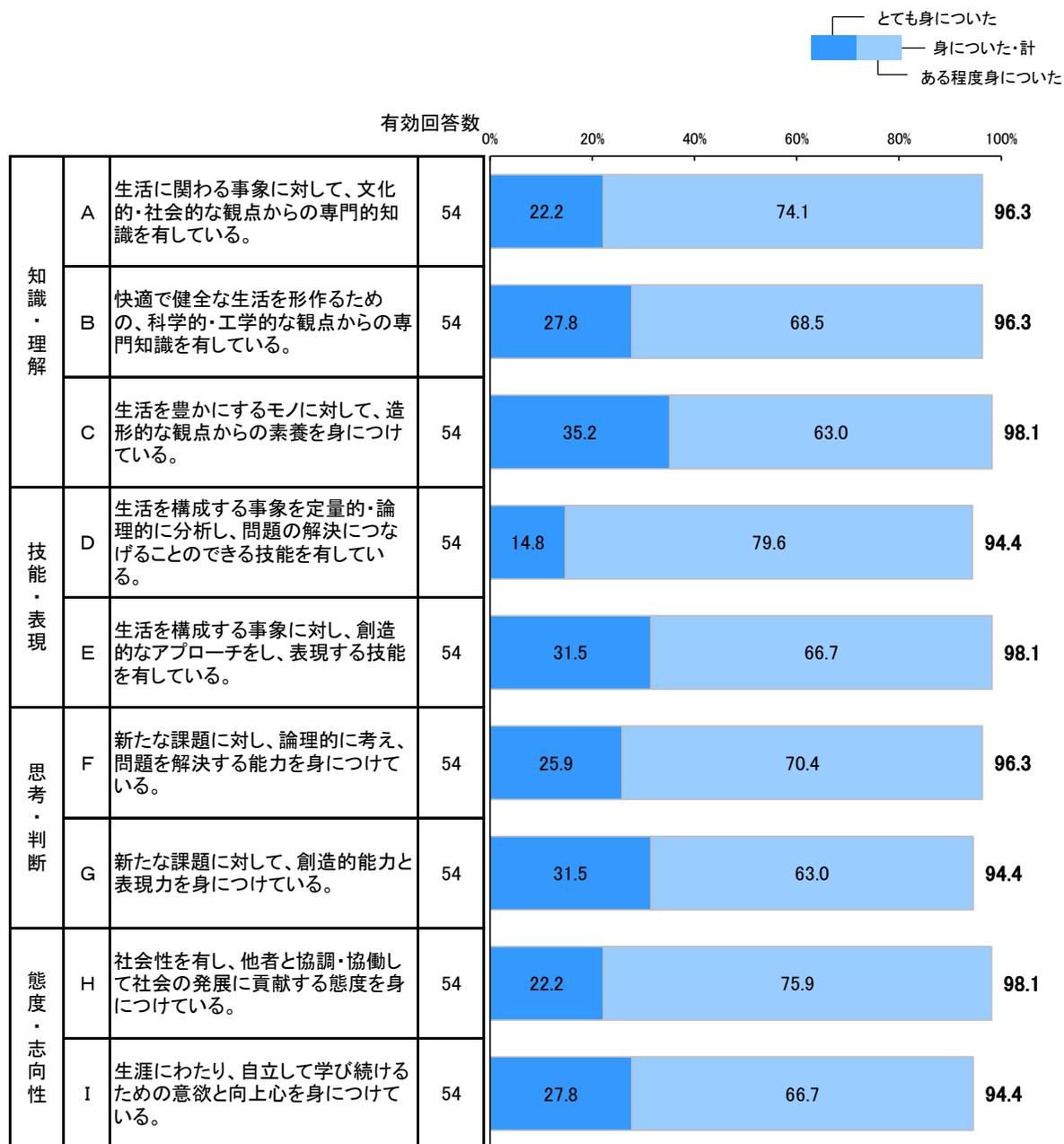


修得した能力【短期大学部 食生活学科】

Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



Q6 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



卷末資料
【調査票】

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期 大学部 令和5年度『卒業時アンケート』

このたび本学では、令和6年3月に卒業予定のみなさんを対象にアンケートを実施することになりました。

みなさんからは、本学に対する率直な意見をお伺いし、魅力ある大学・短大となるための改善・改革に取り組んでいく所存です。

みなさんのご意見を後輩たちのため、そして更なる大学改善のために活用させていただきます。

アンケートの結果は統計資料としてのみ活用いたしますのでご安心ください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

Q1. 本学はどの程度の志望順位でしたか。

1つだけマークしてください。

- 第一志望
- 第二志望
- 第三志望以下

Q2. 本学では、教育推進宣言において「主体性・論理性・実行力」を培う教育を目指しています。

あなたは、在学中の経験を通して、「自ら考え、動く」人になれたと思いますか。

1つだけマークしてください。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

Q3. あなたは、在学中に、下記に示す8つの力や姿勢がどの程度身についたと思いますか。自身が理想とするところを100%としたときに、現在の到達度を選択してください。

1. <多様化・複雑化する社会を理解する力>

グローバル化や価値観の多様化など、複雑に変化する現代社会で生きていくためには、基礎的な知識や汎用的な技能に加えて、デジタル社会における基盤的リテラシーを身につける必要があります。

あなたは、在学中に、このような力がどの程度身についたと思いますか。

1つだけマークしてください。

- 100%
- 90%
- 80%
- 70%
- 60%
- 50%
- 40%
- 30%
- 20%
- 10%
- 0%

2. <“生きること”につながる専門性>

さまざまな問題が山積する現代社会において、自分自身が心豊かに生きることができ、多様な人々がそれぞれの価値観を尊重して生きていく社会を築くためには、キャリアや社会貢献につながる専門的知識を修得する必要があります。

あなたは、在学中にこのような専門性がどの程度身についたと思いますか。

1つだけマークしてください。

- 100%
- 90%
- 80%
- 70%
- 60%
- 50%
- 40%
- 30%
- 20%
- 10%
- 0%

3. <自他を尊重する姿勢>

誰もが心豊かに生きていくためには、すべての人々が個人として尊重されるべき存在であることを理解する必要があります。

あなたは、在学中にこのような姿勢がどの程度身についたと思いますか。

1 つだけマークしてください。

- 100%
- 90%
- 80%
- 70%
- 60%
- 50%
- 40%
- 30%
- 20%
- 10%
- 0%

4. <失敗を恐れず挑戦する姿勢>

自分自身が成長し、社会に貢献するためには、失敗することへの恐怖心を克服し、新しいことに挑戦する姿勢が必要です。

あなたは、在学中にこのような姿勢がどの程度身についたと思いますか。

1 つだけマークしてください。

- 100%
- 90%
- 80%
- 70%
- 60%
- 50%
- 40%
- 30%
- 20%
- 10%
- 0%

5. <逆境や困難に対応するしなやかな姿勢>

生きていくことに伴うさまざまな困難に対応するためには、自身にとって適切な方向へ踏み出すしなやかな姿勢が必要です。

あなたは、在学中にこのような姿勢がどの程度身についたと思いますか。

1つだけマークしてください。

- 100%
- 90%
- 80%
- 70%
- 60%
- 50%
- 40%
- 30%
- 20%
- 10%
- 0%

6. <論理的に考え伝える力>

より良い行動決定や問題解決のためには、思い込みや偏見を排し、情報を多角的に収集し、客観的な根拠に基づく論理的・批判的な思考が必要です。さらに、導き出した考えを整理・構造化することを身につけ、多様な相手に対して自らの考えを明確に伝えることが求められます。

あなたは、在学中にこのような力がどの程度身についたと思いますか。

1つだけマークしてください。

- 100%
- 90%
- 80%
- 70%
- 60%
- 50%
- 40%
- 30%
- 20%
- 10%
- 0%

7. <新たな価値を創造する力>

より良い社会の実現に貢献するためには、柔軟な発想や視点の転換により、新たな価値を自ら生み出していく必要があります。

あなたは、在学中にこのような力がどの程度身についたと思いますか。

1つだけマークしてください。

- 100%
- 90%
- 80%
- 70%
- 60%
- 50%
- 40%
- 30%
- 20%
- 10%
- 0%

8. <多様な人々と協働する力>

複雑化する社会で生きていくためには、他者との垣根を越えてお互いの価値を認め、信頼関係を構築して助け合う必要があります。

あなたは、在学中にこのような力がどの程度身についたと思いますか。

1つだけマークしてください。

- 100%
- 90%
- 80%
- 70%
- 60%
- 50%
- 40%
- 30%
- 20%
- 10%
- 0%

Q4. あなたが所属する学科の教員に関して、以下の項目についてあてはまるものを選択してください。

1行につき1つだけマークしてください。

とてもあてはまる まああてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない

学問分野の専門家として優れた教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学習上の相談ができる教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
授業以外の学生生活について 相談できる教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
進路(就職、進学など)を相談 できる教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学生個々の興味やレベルに 合っている教育をする教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会で役立ちそうと感じられる、 実践的な授業をする教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教育に対するサポートや 個別対応が手厚い教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門分野以外のことも学び続け、 常にアップデートしている教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教えるだけでなく、自身の 学び方・調べ方まで伝えてくれる教員が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここからは、学科・専攻ごとの回答になります。所属を選択し、続けてアンケートへの回答をお願いいたします。

所属 *

1 つだけマークしてください。

- 大学
- 短期大学

学科（大学） *

1 つだけマークしてください。

- 大日
- 大英
- 大心
- 新教
- 新健
- 大環
- 大情
- 食栄
- 食創
- 建築
- 景観
- 大演
- 大応
- 新薬
- 大康
- 大護
- 経営

- 短日
- 短英新
- 短教
- 短心
- 短健
- 短食
- 短生

大日の方にお聞きします

本学では、学科ごとに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を設定しています。

<ディプロマ・ポリシー（大日）>

本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。

卒業が認定された者には、学士（日本語日本文学）の学位を授与します。

【知識・理解】

A 日本語および日本文学に関する基礎的また専門的知識を修得している。

B 自国および他国の文化に対する理解を深め、日本の言語・文学との関連性を体系的に把握している。

【技能・表現】

C 日本語のしくみ・特性を深く理解し、自らの思考を他者に対して的確に発信する能力を備えている。

D 情報機器（ICT）活用技能を含む諸技能と豊かな表現力を身につけている。

【思考・判断】

E 日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えかえし、批判的に考察する能力を備えている。

F 論理的思考を身につけ、自ら課題を発見して解決に導く能力を備えている。

【態度・志向性】

G 日常生活の中で大学での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保っている。

H 広範で体系的知識と豊かな感性、倫理観に基づき、自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意志を持っている。

Q5. あなたは上記のディプロマ・ポリシーの内容を知っていましたか。

1 つだけマークしてください。

- 知っていて、内容を理解していた
- 詳しくは知らないが、なんとなく聞いた（見た）ことがある
- ほとんど知らなかった

※Q5、Q6は調査対象学科・専攻のDPにあわせて調査を実施している

※個別のDPの内容については大学はP40～56、短期大学部はP57～63を参照

Q6. あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身についたと思いますか。対応するアルファベットのディプロマ・ポリシーに対してそれぞれ回答してください。

【知識・理解】

A 日本語および日本文学に関する基礎的また専門的知識を修得している。

B 自国および他国の文化に対する理解を深め、日本の言語・文学との関連性を体系的に把握している。

【技能・表現】

C 日本語のしくみ・特性を深く理解し、自らの思考を他者に対して的確に発信する能力を備えている。

D 情報機器（ICT）活用技能を含む諸技能と豊かな表現力を身につけている。

1行につき1つだけマークしてください。

	とても 身につ いた	ある程 度身に ついた	あまり 身につ いてい ない	ほとん ど身に ついて いない
A	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
D	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【思考・判断】

E 日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えかえし、批判的に考察する能力を備えている。

F 論理的思考を身につけ、自ら課題を発見して解決に導く能力を備えている。

【態度・志向性】

G 日常生活の中で大学での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保っている。

H 広範で体系的知識と豊かな感性、倫理観に基づき、自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意志を持っている。

1行につき1つだけマークしてください。

	とても 身につ いた	ある程 度身に ついた	あまり 身につ いてい ない	ほとん ど身に ついて いない
E	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
G	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
H	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※Q5、Q6は調査対象学科・専攻のDPにあわせて調査を実施している

※個別のDPの内容については大学はP40～56、短期大学部はP57～63を参照

Q 7. 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。

1 つだけマークしてください。

- 満足している
 やや満足している
 あまり満足していない
 満足していない

Q 8. 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。

1 つだけマークしてください。

- 満足している
 やや満足している
 あまり満足していない
 満足していない

Q 9. 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思えますか。

1 つだけマークしてください。

- そう思う
 ややそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない

Q 10. 最後に、本学について、以下2つの観点でご意見・感想などをご自由にお書きください。

①本学の教育の中で、特に「女子大学」だからこそ身についた力は何だったと思えますか。

身についた過程も含めてなるべく具体的に教えてください。

回答例：

●●という授業・活動等で■■な経験ができたので、▲▲力が身についた。

②その他、本学の良かった点や改善点などがあれば、ご自由にお書きください。
